

IJCAD Electrical 2025

基本マニュアル-マスタ作成



目次

1. はじめに	4
2. シンボル作成	5
2-1. 回路シンボル作成	5
2-1.1 回路用シンボル名について	14
2-1.2 シンボル名について	15
2-2. 機器（外形機器）シンボル作成	15
2-2.1 機器（外形機器）用シンボル名について	19
2-3. 名前付保存について	20
2-4. IJCAD Electrical 以外で作成のシンボル（ブロック）、図枠等について	21
3. 図枠、表題欄作成	22
3-1. 図枠作成	22
3-1.1 事前準備	22
3-1.2 新規で作成の場合	23
3-1.3 IJCAD Electrical 以外で作成された DWG ファイルを流用する場合	26
3-2. 表題欄作成	27
4. 帳票作成	32
4-1. 帳票テンプレートを新規作成する	32
4-2. 既存フォームを使って帳票テンプレートを作成する	37
4-3. 接続リスト用テンプレートの作成例	38
5. 接点表作成	41
5-1. 接点表（コイルの下側表示用、構成表タイプ）を新規作成する	42
5-2. 接点表（コイルと MS の組み合わせの接点表タイプ）を新規作成する	48
5-2.1 コイルと MS 用の一体型の構成表タイプ	48
5-3. 接点表（十字タイプ）を新規作成する	56
5-3.1 横母線で、コイルの下側に十字型でアドレスを表記するタイプ	56
5-3.2 縦母線で、コイルの右側に十字型でアドレスを表記するタイプ	58

6. カタログ	60
6-1. グループ -----	61
6-1.1 作成.....	61
6-1.2 削除.....	62
6-1.3 コピー.....	62
6-1.4 名前変更.....	63
6-1.5 インポート.....	64
6-1.6 エクスポート.....	64
6-1.7 「編集開始」ボタン.....	65
6-1.8 「製品」タイトルの操作.....	66
6-2. 登録済みのカタログ情報の編集 -----	67
6-2.1 新しく機器情報・付属品情報を登録する.....	68
6-2.2 登録済み機器情報・付属品情報の内容を変更する.....	68
6-2.3 登録済み機器情報を削除する.....	69
6-2.4 登録済みの付属品を削除する.....	70
6-3. 付属品について -----	71
6-4. アセンブリの作成 -----	74
6-5. 外部データのインポート -----	80
6-6. ダウンロードした機器のカタログデータ関連について -----	81
6-7. カタログ内各項目用途について -----	83
7. マスター	87
7-1. マスターの登録・編集 -----	87
7-2. グループの登録・編集 -----	89
7-3. 文字記号の登録・編集 -----	91
7-4. 図面種別の登録・編集 -----	93
7-5. コメントの登録・編集 -----	95
8. 属性	96

8-1. 属性> 基本属性 -----	96
8-2. 属性> プロジェクト設定 -----	100
9. ワイヤー種別	105
10. システム設定 マスタデータ登録先 (シンボル、DB、パターン等)	108
11. IJCAD Electrical 用システム使用テンプレート	111
12. IJCAD Electrical 用メニューと保存先	114

* * *

改訂履歴

2025.06.02	IJCAD Electrical 2025 基本マニュアル - マスタ作成	初版発行
2025.10.06	IJCAD Electrical 2025 基本マニュアル - マスタ作成	2 版発行

1. はじめに

IJCAD Electrical に標準で搭載されているテンプレート・マスタデータ以外にも、任意で各種テンプレート・マスタデータを作成し・登録することができます。

作成したテンプレートを実際に使用する際の設定方法は、「IJCAD Electrical_基本マニュアル」をご参照ください。

2. シンボル作成

IJCAD Electrical 用のシンボルマスタ (DWG) 作成を行います。

必要な図形を IJCAD や IJCAD Electrical 内の「ホーム」「挿入」タブなどの標準の作成、編集コマンドを使用し、作図します。その後に、IJCAD Electrical 専用の「IJEConfig」タブ→「作成」→「シンボル」コマンドで、必要な属性などを付加して専用の「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」で登録します。同時にシンボル配置画面で表示するイメージの作成を行います。

シンボルマスタの保存先は、[システム設定]で設定されている参照先に保存してください。

参照先は「IJEConfig」タブ→「環境設定」→「システム設定」→「パス設定」→シンボル参照パスの設定先をご確認ください。

既定値の保存先 : C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\シンボル

2-1. 回路シンボル作成

① 新しい図面ファイルを作成します

② シンボル図形を作図します

「ホーム」タブの各機能を使用し、回路図を描画します。

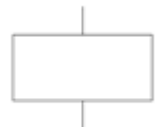
既存図形を使用する場合は DWG/DXF ファイルを利用します。

回路図に属性値のみを挿入したい (図形無し) 場合は、基点のみ設定してください。

グリッド機能を使用して、接続ポイント (配線が繋がる位置) を付ける予定の位置は、グリッド上になるように作成してください。

グリッド上に接続ポイントがないと、配線上にシンボルを配置したときに、配線が途切れてしまいます。

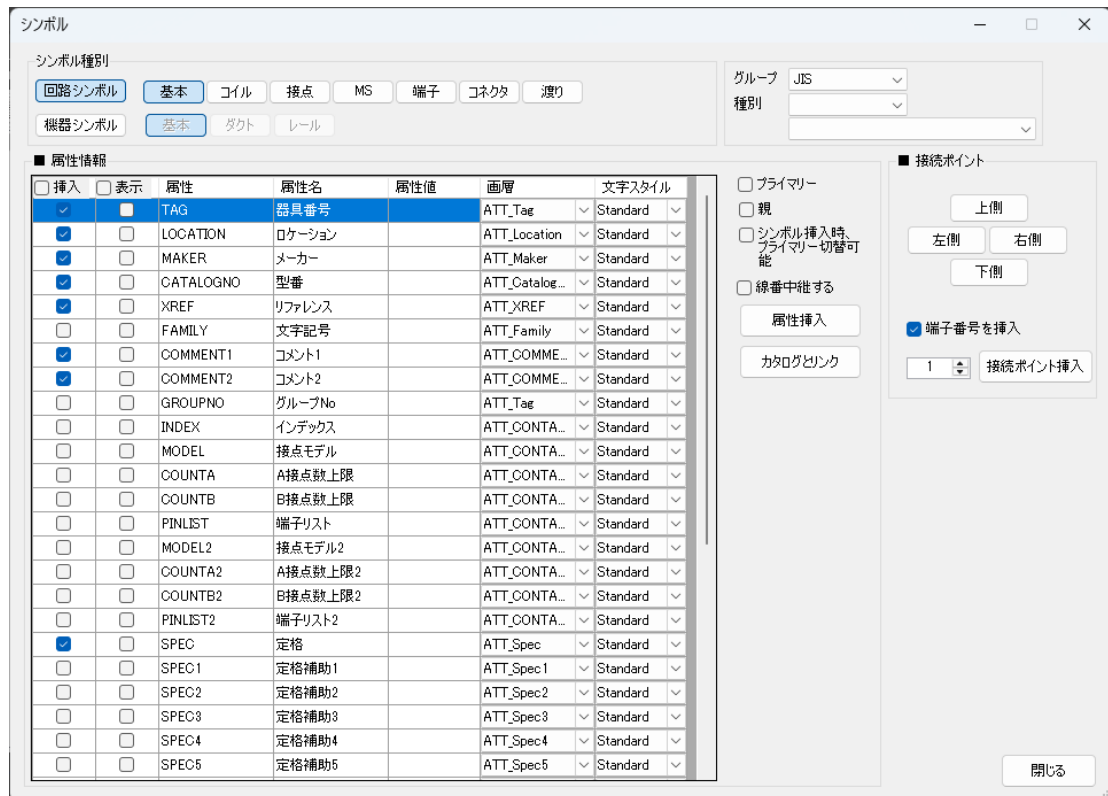
グリッドの間隔は「IJE」タブ→「グリッドスナップ」から設定してください。



③ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「シンボル」を選択します



「シンボル」ダイアログが表示されます。



④ 「シンボル種別」で「回路シンボル」を選択します



- 「基本」をはじめ、選択する項目により表示属性が変わり、必須項目（挿入項目がグレーになりチェックは外せません）もそれぞれ異なります。
- 図形に属性を付与せずにシンボルとして挿入したい場合は、一旦属性にチェックが入った状態で「属性挿入」をしてから、作画した図形付近に配置してください。その後、不要な属性は削除して構いません。

これは見えないシンボル種別用の属性情報を「属性挿入」で挿入する為に使用します。

- 各必須項目のある種別で、「挿入」のタイトル行をクリックするとすべてにチェックが付き、再度クリックすると全てのチェックが外れます。
- 必須項目があっても対象の属性が挿入されていない場合は、その用途としての処理対象外になりますので、ご注意ください。

⑤ 作成したいシンボルの種類を「基本」～「渡り」の中から選びます

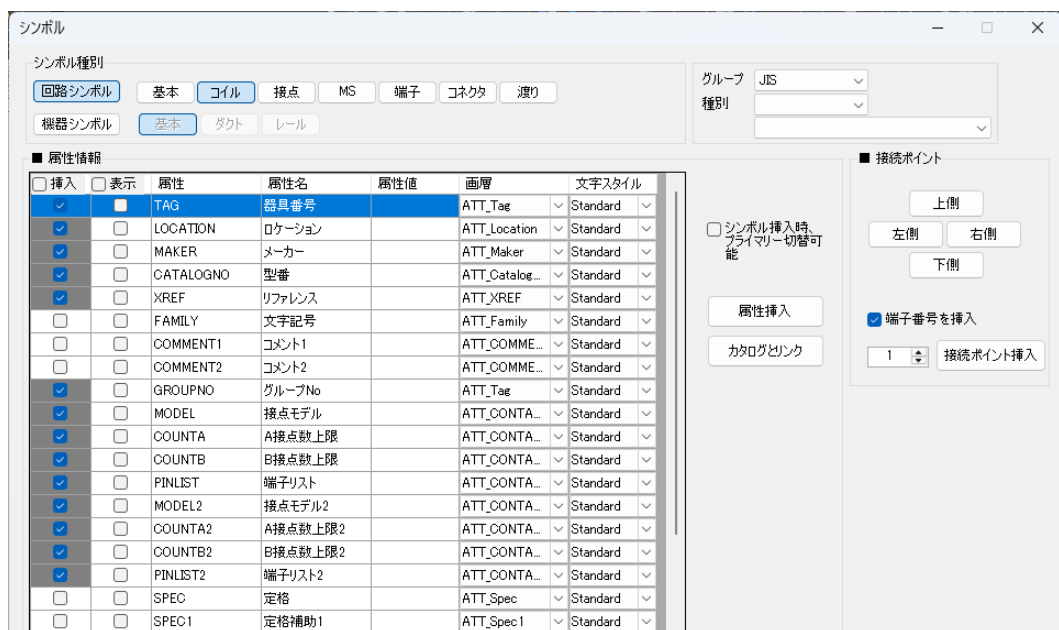
回路シンボル：

- 基本：基本シンボルとして全ての属性を付加することもできます。
- コイル：リファレンス処理の親シンボル（コイル用）

「シンボル挿入時、プライマリー切り替え可能」にチェックすると、シンボル配置時に帳票出力用（部品表、部品集計表等）の対象にするか否か選択することが可能になります。

サンプルは以下のパスに数点登録されています。

C:\Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥回路¥継電器



- 接点：リファレンス処理の子シンボル（接点 A、接点 B、補助接点 A、補助接点 B）

コイル用の接点として、接点種別で、「A 接点」又は「B 接点」を選択します。

MS 用の補助接点登録時にも使用します。その際には、「補助」項目にチェックを入れて「A 接点」又は「B 接点」を選択します。

サンプルは、以下のパスに数点登録されています。

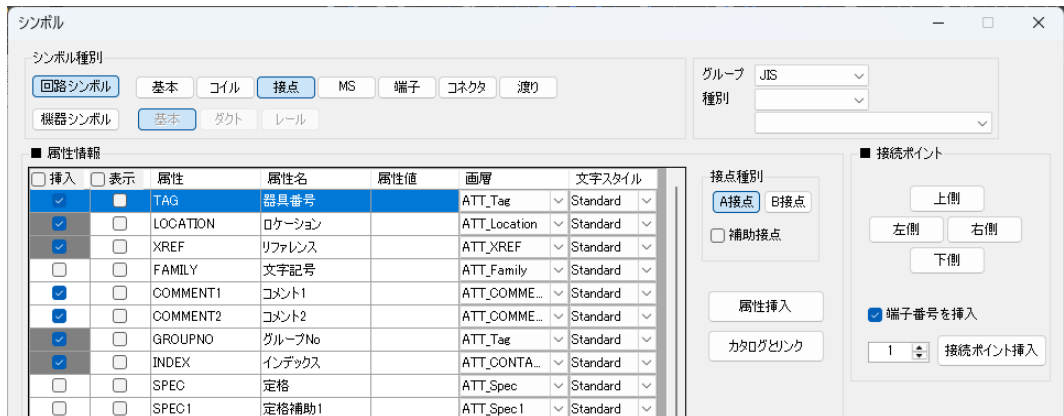
C:\Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥回路¥継電器 接点¥種別 A→Ry、種別 B→Ry

「種別 C→R」内のシンボルについては、B 接点として登録されています。
フォルダ内の「【注意】C 接点シンボルについて.txt」をご参照ください。

図形として配置のみでご利用ください。

補助接点のサンプルは以下に数点登録されています。

C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥回路¥継電器 接点

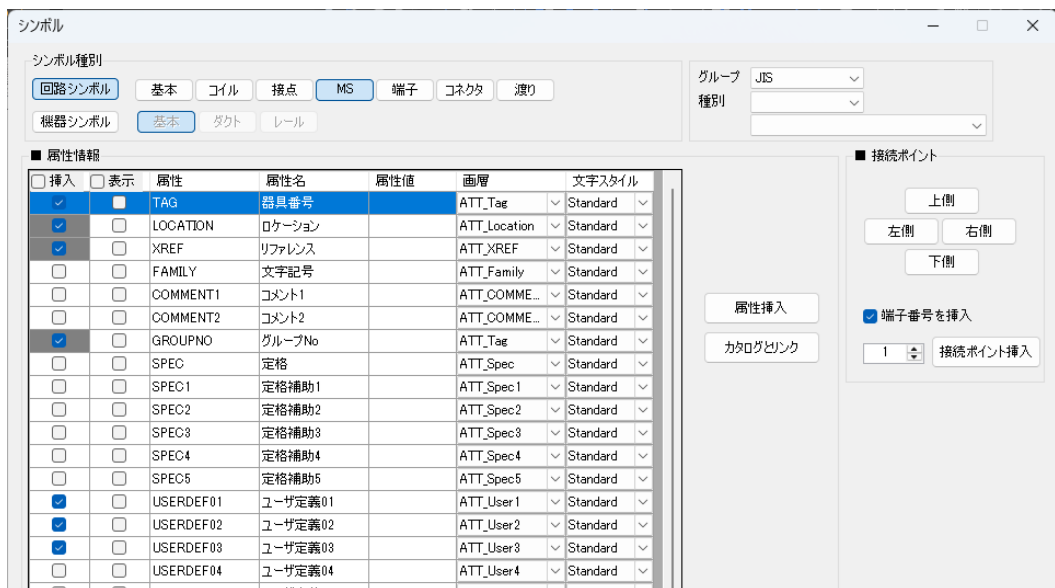


- MS : リファレンス処理を行う親シンボル (コイル) の MS シンボル

器具番号をコイルと合わせることで、離れた位置に配置する MS の主接点用として使用することができ、同じクロスリファレンスの対象になります。

サンプルは以下のパスに数点登録されています。

"C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥回路¥電磁接触器¥電磁接触器 MC_3P_H (_V) .dwg"



- 端子：端子用
- コネクタ：コネクタ用

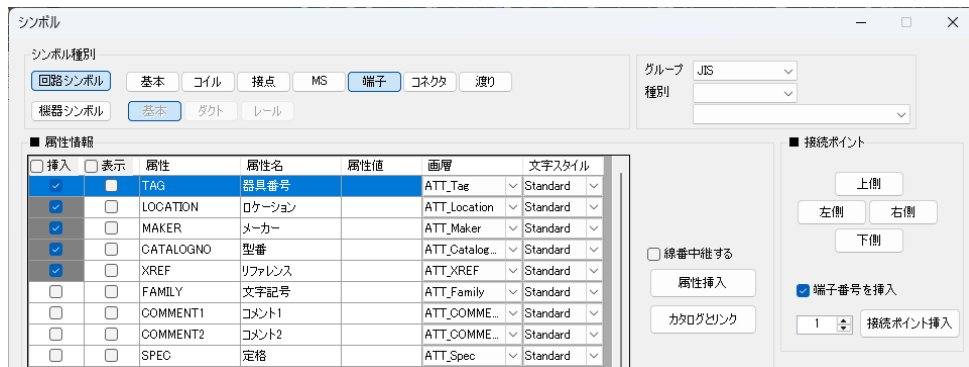
端子とコネクタの必須項目は同じになりますが、種別としては異なります。

登録時に「線番中継」にチェックを付けて登録すると、配線上に配置した際に線番を中継するシンボルとなります。このシンボルを配置した配線の上下、又は左右の線番は1つの配置で処理されます。

「線番中継」にチェックを付けずに登録すると、このシンボルを配置した配線の上下、又は左右に、それぞれの線番を配置可能な状態に処理をします。

サンプルは以下のパスに数点登録されています。

C:\¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥ロケーション端子

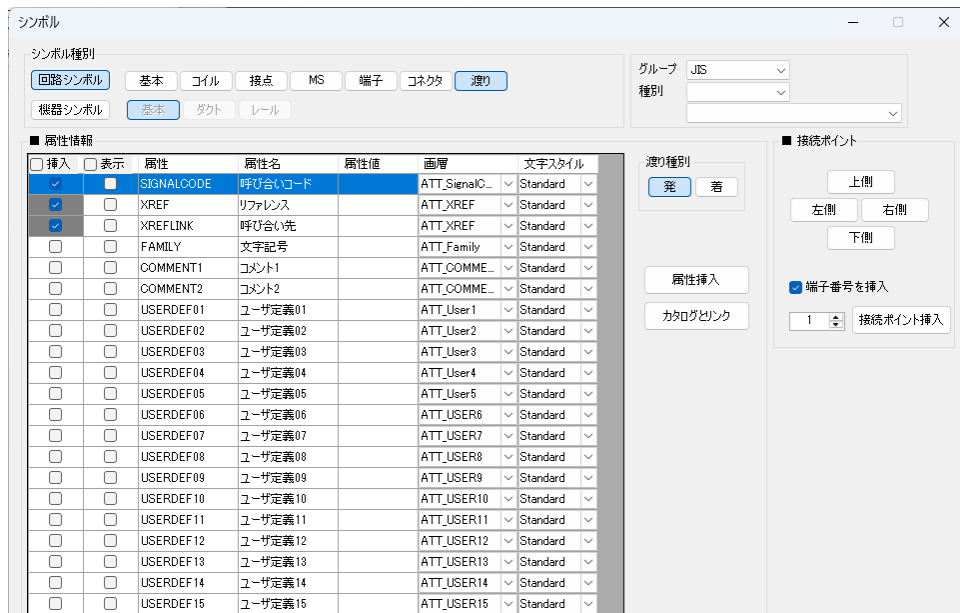


- 渡り：渡り線番号用（発側用、着側用）

渡り用に、発側用又は、着側用として使用するシンボルになります。

サンプルは以下のパスに数点登録されています。

C:\¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥渡り



⑥ データベースに登録したい属性・表示したい属性を指定し既定値を設定します

1. データベースに登録したい属性は「挿入」の部分のチェックボックスにチェックを入れます。
2. 図面に表示したい属性は「表示」の部分のチェックボックスにチェックを入れます。
3. 既定の属性値・画層・文字スタイルを設定します。

(この時、「カタログとリンク」をクリックすると、カタログに登録されている情報を属性値に入力することができます。)

⑦ 属性右横の使いたい機能のチェックボックスにチェックを入れます

- プライマリー
 - 部品表作成時に抽出します。また、「DB マネージャ」→「外形」→「中板」の下に機器名を表示します。
- 親
 - 接点表を作成できるようになります。
- シンボル挿入時、プライマリー切り替え可能
 - シンボルを図面に挿入するとき、部品表に抽出するかどうかを選択できるようにします。
- 線番中継する
 - シンボルを挿入するとき、線番を中継します。

⑧ グループ、種別を選択します

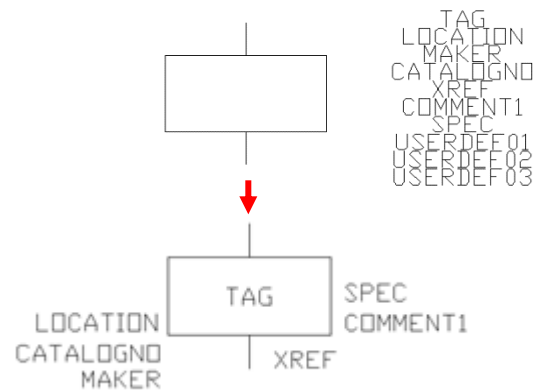
種別の選択は識別子 (CR…) と種類 (電流継電器…) のどちらからでも選択することができます。リストは、「IJEConfig」→「マスター」→「文字記号」で、登録した情報が表示されます。

グループ	JIS	▼
種別	CR	▼
	電流継電器	▼

⑨ 「属性挿入」で、属性を図面上に配置します

「属性挿入」をクリックし、図面上の任意の点をクリックすると、属性が作図画面上に配置されます。その後、属性文字の配置位置移動や文字高さ変更等、任意に編集を行ってください。

1. 「ホーム」タブ→「修正」→「移動」を選択します。
2. 移動させたい属性文字を選択します。
3. 移動したい位置を指定します。



この「属性挿入」で属性を挿入・配置していないと、回路シンボル「シンボル種別」としての設定条件が満たされません。

「TAG」等の属性が不要な場合でも、必ず「属性挿入」ボタンを選択してシンボルの図形近辺に挿入してください。

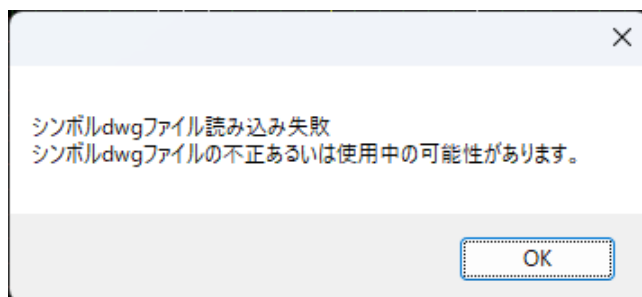
この操作を行わない場合や図形と接続ポイントの配置のみを行った場合は、シンボルとして登録できません。また、シンボル配置画面の表示イメージ用ファイルの作成も行われません。

「IJE」タブ→「シンボル」→「シンボル配置」のイメージ表示は、以下の黄色い☆マークになります。



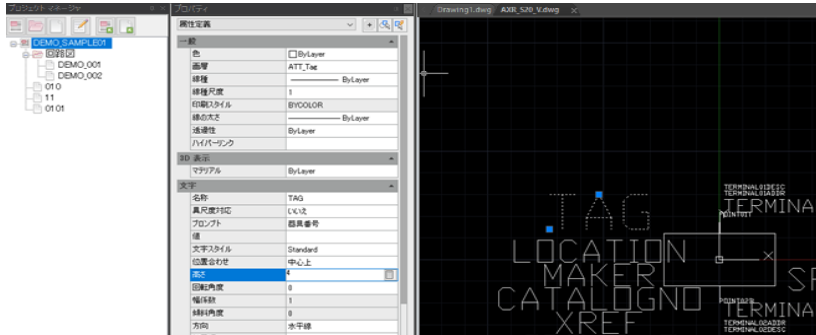
この状態のシンボルを挿入しようとするすると、以下のエラーメッセージが表示されます。その場合はシンボルを挿入できません。


「シンボル dwg ファイル読み込み失敗
シンボル dwg ファイルの不正あるいは使用中の可能性あります。」等



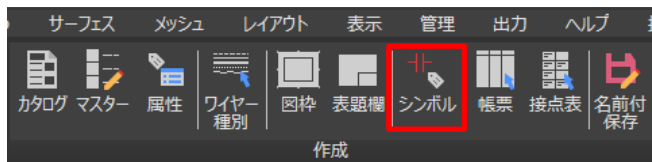
⑩ シンボル属性の文字サイズ、フォント等を任意に変更します

編集する場合はオブジェクトプロパティ ウィンドウから編集します。



※プロパティウィンドウが表示されていない場合は、「ホーム」タブ→「オブジェクトプロパティ管理」の右下のマーク をクリックしてください。

⑪ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「シンボル」を選択します



「シンボル」ダイアログが表示されます。

⑫ 接続ポイント設定を行います

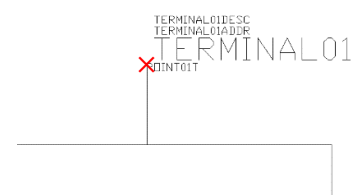
1. 接続ポイントを挿入する場所を指定します。
2. 接続ポイントに端子番号を付けたい場合は、「端子番号を挿入」にチェックを入れます。
3. 指定した配置箇所に入力する端子の数を指定します。



⑬ 接続ポイントを配置します

1. 「接続ポイント挿入」を選択します。
2. 配線が引かれる方向に接続ポイントを配置します。

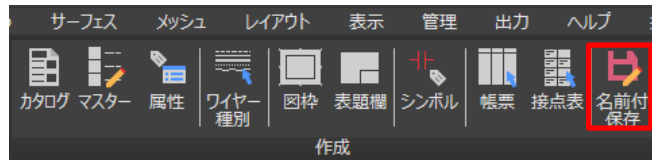
接続ポイント属性文字列の基点がシンボル配置時に強調表示される位置になります。



⑭ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「シンボル」を選択します

⑪～⑬を必要な回数繰り返します。

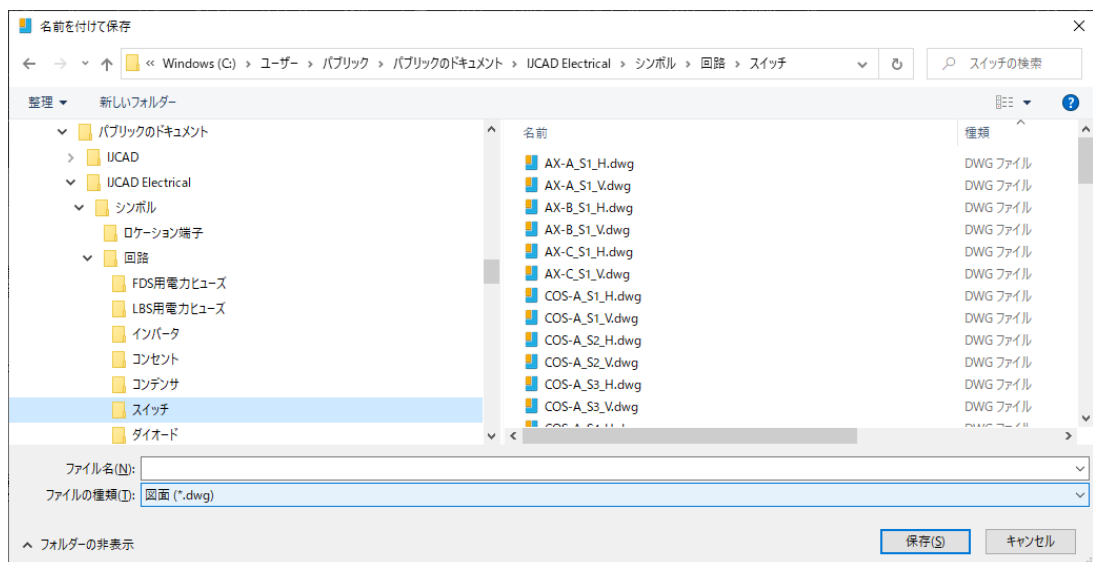
⑮ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します



「名前付保存」は、IJCAD Electrical 専用のシンボルや図枠などの保存コマンドです。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

シンボル参照パスの該当するフォルダへ保存してください。



シンボルデータは、以下のパスの配下のフォルダに保存してください。
既定値の保存先：C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\シンボル

<参照先の確認>

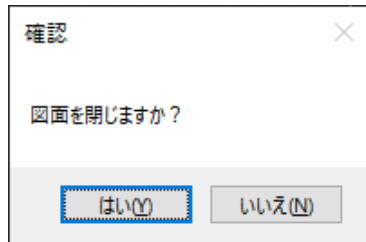
リボン「IJEConfig」タブ→「環境設定」→「システム設定」→「参照パス」→
「シンボル」からご確認いただけます。

※シンボルデータの命名規則については、「2-1.1 回路用シンボル名について」
「2-1.2 シンボル名について」をご参照ください。

シンボルをここで登録頂くと、登録したシンボル名と同名のイメージファイル
(png) が作成され、「IJEConfig」タブ→「シンボル」→「シンボル配置」内にイメー
ジ表示されます。

⑩ 「確認」の表示

シンボルデータの保存後、確認メッセージが表示されます。



図面を閉じる場合は「はい」をクリックします。

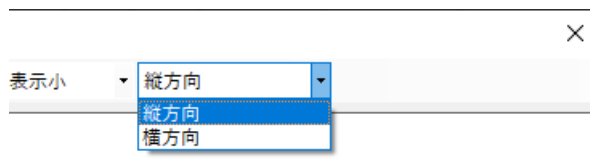
継続して編集する場合は「いいえ」をクリックし編集を続けてください。

その場合は、最終的に再度「名前付保存」で保存してください。

IJCAD Electrical 用の「IJEConfig」タブ→「作成」パネル内の「図枠」「表題欄」「帳票」「接点表」「シンボル」で作成するデータについては、すべて IJCAD Electrical 機能の「名前付保存」で保存してください。（**Electrical 機能が正常に動作しない原因となります。**）

2-1.1 回路用シンボル名について

シンボルの挿入時にシンボルの向きを縦方向/横方向で切り替える場合は、シンボル名の末尾を以下のルールで登録してください。



- 横配線用：ファイル名_H（「_」アンダーバー=半角、「H」=半角大文字）
- 縦配線用：ファイル名_V（「_」アンダーバー=半角、「V」=半角大文字）

末尾が上記以外の場合は、シンボル配置ダイアログ上で縦方向/横方向どちらの場合も配置が可能になります。

2-1.2 シンボル名について

シンボルのファイル名は、最長で「パスとファイル名の拡張子 (.dwg) までを含む 255 バイト」までです。登録先のフォルダが深い階層になる場合にはご注意ください。また、シンボル名に特殊文字や空白スペースのご使用は避けられることをお勧めします。

※既定のサンプルの登録先パスは、以下の 52 バイトとなります。
「C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥」

シンボルの名前は**半角**の文字、数字、空白スペース、オペレーティング システムとプログラムで、他の目的に使用されていない任意の特殊文字を使用できます。

※予期せぬエラーを防ぐため、シンボルのファイル名はフルパスで 240 バイトを超えないようにすることをお勧めします。一例として、ファイルのコピーを行った場合、「- コピー」がファイル名の末尾に自動的に付与されることで、システム上でエラーが発生する要因となるためです。

ファイル名を付ける場合に、末尾の「_H」、「_V」以外で、この組み合わせの文字を使用したい場合は注意が必要です。

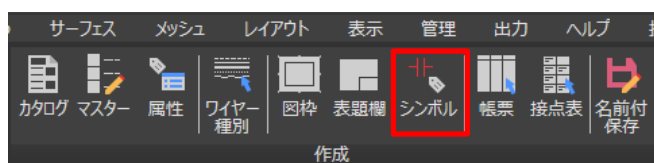
最初にある「_H」、「_V」をもって、縦用・横用と区別していることから、末尾のファイル名までにこの文字の組み合わせを入れる場合は、全角のアンダーバーをお使いください。

2-2. 機器（外形機器）シンボル作成

① 既存の DWG ファイルを開く、または新規図面作成します

② シンボル登録したい外形図面を作成します

③ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「シンボル」を選択します



「シンボル」ダイアログが表示されます。

④ シンボル種別で「機器シンボル」を選択します

「基本」以外、選択する項目により表示属性が変わり、必須項目も異なります。
(必須項目は、属性挿入時に項目がグレーになり、チェックは外せません)

※「挿入」のタイトル行をクリックするとすべてにチェックが付き、再度クリックすると全てのチェックが外れます。

図形に属性を付与せずにシンボルとして挿入したい場合は、一旦属性にチェックが入った状態で「属性挿入」をしてから、作画した図形付近に配置してください。
その後、不要な属性は削除して構いません。

機器シンボルにも接続ポイントの配置は可能で、その接続ポイントから配線の作図は出来ませんが、回路シンボルとして登録されません。上下又は左右に配置されて配線を通して接続ポイント間の配線のカットの処理は行いません。
回路シンボル対象外になります。

また、ページ設定内の尺度に応じてシンボル配置の際に縮尺変更を行い配置されます。

⑤ 作成したいシンボルの種類を「基本」～「ルール」の中から選びます

機器シンボル：

- 基本：基本シンボルとして全ての属性を付加することもできます。

これは見えないシンボル種別用属性情報を「属性挿入」で、挿入する為です

サンプルは、以下のパスに数点登録されています。

C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥機器



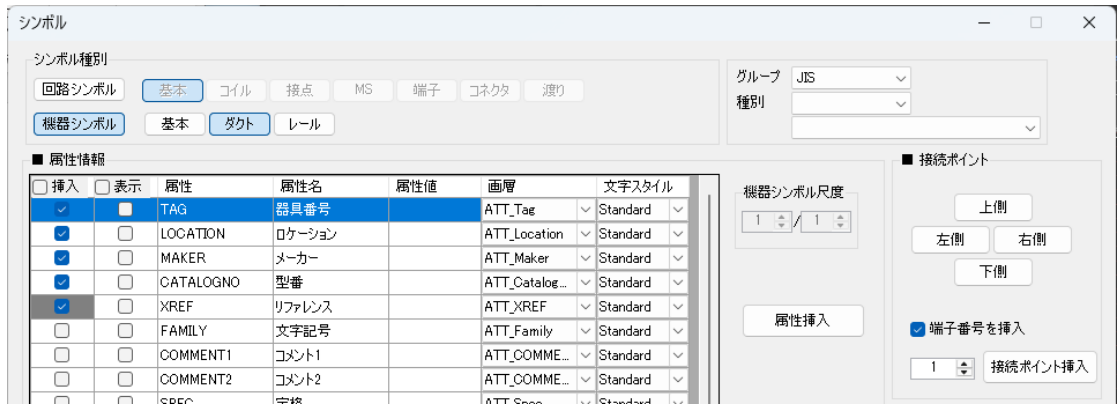
- ダクト：機器配置時のダクト用として、挿入後に長さを設定して配置できます。

図形の挿入基点から、マウスに合わせて、伸縮するシンボルになります。

サンプルは、以下のパスに数点登録されています。

C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥機器

¥ダクト.dwg、ダクト 2.dwg、ダクト 3.dwg



- レール：機器配置時のレール用として、挿入後に長さを設定して配置できます。

ダクト同様、図形の挿入基点から、マウスに合わせて、伸縮するシンボルサンプルは、以下のパスに数点登録されています。

C:\Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥シンボル¥機器
¥レール.dwg、レール 2.dwg

⑥ データベースに登録したい属性・表示したい属性を指定し、既定値を設定します

1. データベースに登録したい属性は、「挿入」の部分のチェックボックスにチェックします。
2. 図面に表示したい属性は「表示」の部分のチェックボックスにチェックします。
3. 既定の属性値・画層・文字スタイルを設定します。

⑦ 「属性挿入」で、属性を図面上に配置します

「属性挿入」をクリックし、図面上の任意の点をクリックすると、属性が作図画面上に配置されます。その後、属性文字の配置位置の移動や、文字高さの変更等、任意に編集を行ってください。

「属性挿入」で、属性を挿入、配置していないと機器シンボル「シンボル種別」としての設定条件が満たされません。

「TAG」等の属性が不要な場合でも、必ず「属性挿入」ボタンを選択してシンボルの図形近辺に挿入指示してください。

この操作を行わず、「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」を実行しても、シンボルとして登録できず、シンボル配置画面の表示イメージ用ファイルの作成も行われません。

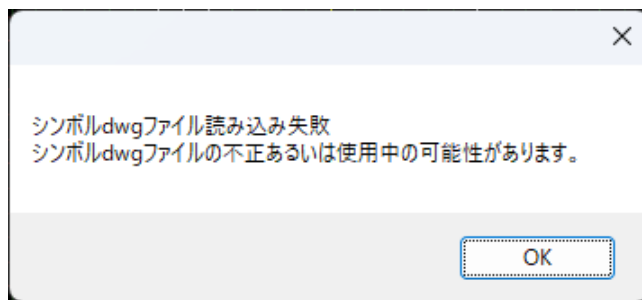
「IJE」タブ→「シンボル」→「シンボル配置」のイメージ表示は、以下の黄色い☆マークになります。



また、この状態のシンボルを挿入しようすると、以下のエラーメッセージが表示されます。その場合はシンボルを挿入できません。

「シンボル dwg ファイル読み込み失敗

シンボル dwg ファイルの不正あるいは使用中の可能性がります。」等



⑧ 属性文字の配置位置を任意の位置に移動します

1. 「ホーム」タブ→「修正」→「移動」を選択します。
2. 移動させたい属性文字を選択します。
3. 移動したい位置を指定します。



⑨ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
シンボル参照パスの該当するフォルダへ保存してください。

シンボルデータの保存先は、[システム設定]のシンボル参照パスで設定されている参照先の配下のフォルダに保存してください。

参照先は「IJEConfig」タブ→「環境設定」→「システム設定」→「パス設定」→「シンボル参照パス」をご確認ください。

既定値の保存先：C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\シンボル

※シンボルデータの命名規則については、「2-1.1 回路用シンボル名について」
「2-2.1 機器（外形機器）用シンボル名について」をご参照ください。

⑩ 「確認」の表示

シンボルデータの保存後、確認メッセージが表示されます。

図面を閉じる場合は「はい」をクリックします。

継続して編集する場合は「いいえ」をクリックし編集を続けてください。

その場合は、最終的に再度「名前付保存」で保存してください。

2-2.1 機器（外形機器）用シンボル名について

機器（外形機器：DB マネージャ>外形>機器シンボル挿入で参照）用のシンボル名については、機能上の制約はありません。

シンボル配置時には、縦方向/横方向どちらの場合も挿入が可能です。サンプルのシンボル名は以下のように登録されているものが有りますが、これらも任意です。

- 正面図用
 - ファイル名_F（「_」アンダーバー=半角、「F」=半角大文字）
- 右側面図用
 - ファイル名_S（「_」アンダーバー=半角、「S」=半角大文字）
- 左側面図用
 - ファイル名_L（「_」アンダーバー=半角、「L」=半角大文字）
- 上面図用
 - ファイル名_T（「_」アンダーバー=半角、「T」=半角大文字）
- 下面図用
 - ファイル名_B（「_」アンダーバー=半角、「B」=半角大文字）

シンボルのファイル名については、「2-1.2 シンボル名について」をご参照ください。

カタログ内では、下面図のフルパス設定項目は有りません。

また、機器シンボルのファイル名を付ける場合に、ファイル名内に「_H」、「_V」が含まれる場合は以下の点にご注意ください。

この組み合わせの文字がある場合は、回路用シンボルの横方向（_H）、縦方向（_V）の判断をしてしまい、各方向選択時にしか、表示しない場合があります。
この文字の組み合わせを使用する場合は、全角のアンダーバーをお使いください。

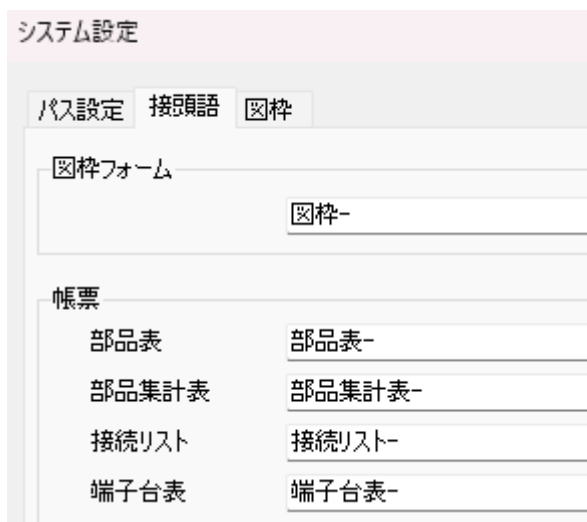
2-3. 名前付保存について

IJCAD Electrical 用の「IJEConfig」タブ→「作成」パネル内の「図枠」「表題欄」「帳票」「接点表」「シンボル」専用の保存コマンドです。

「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します。

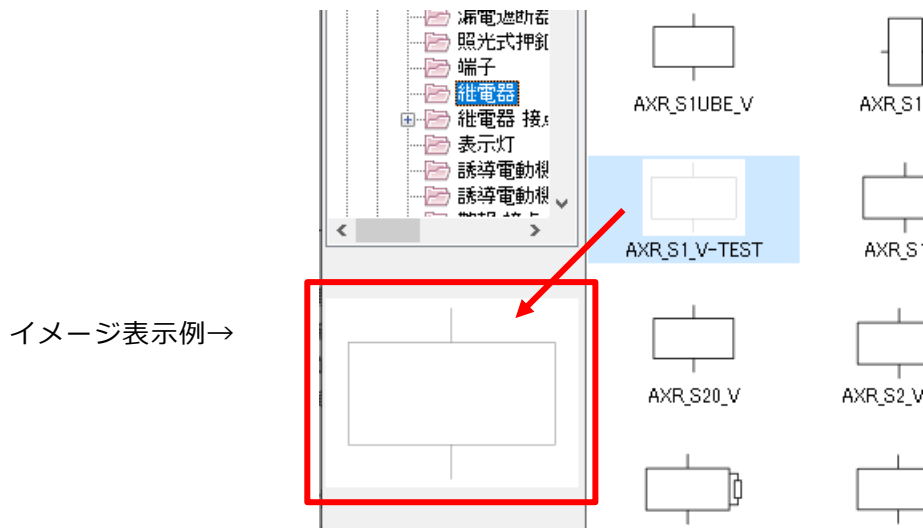
IJCAD Electrical 用に新規、または既存ファイルを編集した後に保存する時は、このコマンドで保存してください。

「図枠」「帳票」「接点表」においては、「IJEConfig」タブ→「環境設定」パネル内→「システム設定」→「接頭語」で設定した接頭語が付加された「名前を付けて保存」画面が表示されます。



「シンボル」の保存時は、同時に同名のイメージファイル（.PNG）を作成します。

イメージファイルはシンボルの配置時に表示されます。



2-4. IJCAD Electrical 以外で作成のシンボル（ブロック）、図枠等について

IJCAD Electrical 以外の CAD 等で作成されたブロック図形については、必要な用途別に専用のコマンドをお使い頂き、IJCAD Electrical 内で使用できるように更新を行ってください。それぞれ「IJEConfig」タブ→「作成」パネル内の以下のコマンドが専用コマンドです。

- 図枠
 - 「図枠」で、用紙サイズやアドレス設定
- 図枠に記入する属性
 - 「表題欄」用属性の配置
- 帳票
 - 「帳票」フォーム用の図形
- リファレンスの接点構成表又は、十字型のアドレス表記用
 - 「接点表」
- 回路、機器シンボル
 - 「シンボル」

必要な情報を設定、配置した後に、「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックして保存してください。

これらの操作を行わず dwg ファイルを対象の保存先フォルダに保存、又はコピーしただけでは、IJCAD Electrical 用としてお使い頂けませんのでご注意ください。

3. 図枠、表題欄作成

IJCAD Electrical 用の図枠と図枠用の表題欄のマスタ (DWG) 作成を行います。

IJCAD や IJCAD Electrical 内の「ホーム」「挿入」タブなどの標準の作成、編集コマンドを使用し、作図します。その後に、IJCAD Electrical 専用の「IJEConfig」タブ→「作成」→「図枠」「表題欄」登録コマンドで必要な属性などを配置し、IJCAD Electrical 専用の「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」で登録してください。

図枠データは、以下のパスの配下のフォルダに保存してください。

既定値の保存先 : C:\Users\¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥図枠

<参照先の確認>

リボン「IJEConfig」タブ→「環境設定」→「システム設定」→「参照パス」→「図枠」からご確認いただけます。

3-1. 図枠作成

図枠は以下の 2 通りの方法で作成します。

- ・ IJCAD Electrical を使用して新規作成する
- ・ IJCAD Electrical 以外で作成された DWG ファイルを、IJCAD Electrical の図枠用に再登録する

3-1.1 事前準備

① 作成する図枠のサイズやアドレスの間隔、配置する文字種類の選定等

既存図枠がある、又は無い場合でも、事前に以下をお確かめ頂き、準備をされてから開始してください。

- 図枠用の用紙サイズ、方向等、A3 横用や A4 縦用等
- 図枠に対するアドレスの有無、X 座標軸、Y 座標軸の文字種類と配置間隔
- 上下左右の余白有無、長さ

(用紙サイズは、A3、A4、B5、B5 ですので、それ以外の用紙サイズが必要な場合は、「IJEConfig」タブ→「作成」→「図枠」コマンド内で登録してください。A0 サイズの設定は、行えませんので、ご了承ください。)

配置される文字高さは、既定値のテンプレートを使用すると「2.5mm」です。配置後に、IJCAD 標準の編集コマンドで編集も可能です。

3-1.2 新規で作成の場合

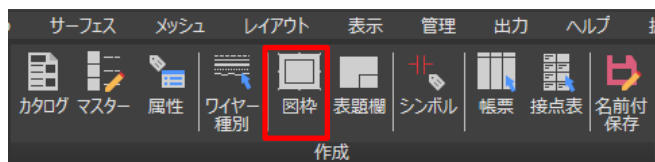
① IJCAD Electrical 起動後、新しい図面を使用して Electrical 用の図枠を作成します

以下のいずれかの状態から作業を開始します。

- ・起動直後の「drawing1.dwg」から作成する。
- ・新規作成からテンプレート（gcadiso.dwt=単位ミリ/gcad.dwt=単位インチ）を開き作成する。

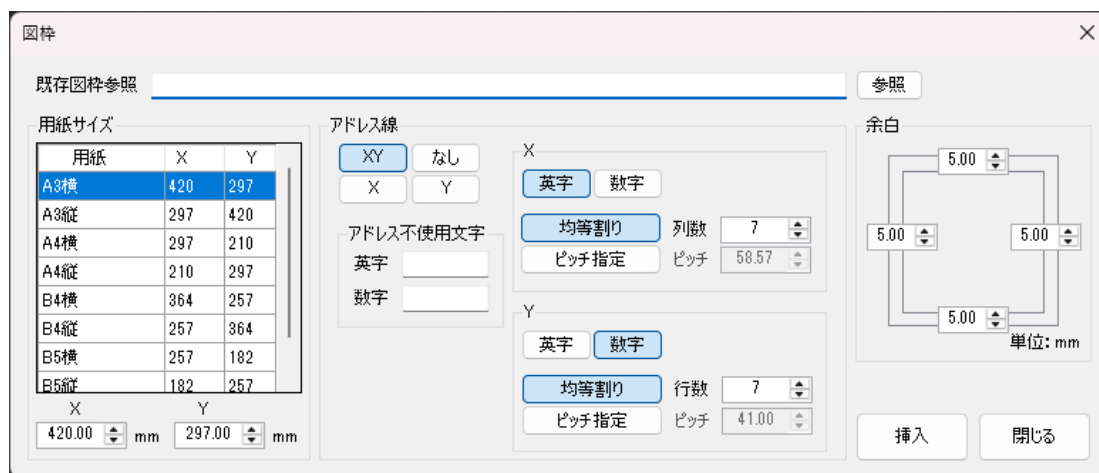
※文字スタイル設定などを独自に設定したテンプレートファイルを用意しておき、図枠作成時に流用することも可能です。

② 「IJEConfig」タブ→「作成」→「図枠」を選択します



「図枠」ダイアログが表示されます。

③ 図枠の各種設定を行います



1. 図枠の用紙サイズを指定します。

用紙サイズは、本コマンド内の用紙サイズに直接追加もできます。

「IJEConfig」→「システム設定」→「図枠」タブで登録した情報が表示され、使用できます。

- リファレンス用のアドレス線を指定します。
(XY 軸使用/なし/X 軸のみ使用/Y 軸のみ使用)
- 2.でアドレス線を設定した場合は、X,Y 軸に対してそれぞれのアドレス文字の種類や間隔を設定します。
- 図枠の余白サイズを指定します。

図枠に設定される「アドレス線」枠内の設定内容が、クロスリファレンスで表示されるアドレス情報となります。

コイル、接点などのクロスリファレンス処理（属性名称：XREF（リファレンス））でのアドレスや、渡り線番のリファレンス（属性名称：XREFLINK（呼び合い先））でのアドレス情報になります。

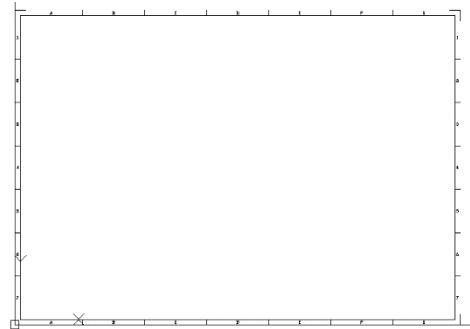
※既存の IJCAD Electrical 用の図枠の設定内容を流用する場合は「参照」をクリックし、既存の IJCAD Electrical 用図枠ファイルを選択します。
ここでは、参照した図枠を表示するための図枠参照ではありません。
IJCAD Electrical 用以外でご登録の図枠を参照しても、設定などを取り込むことはできません。

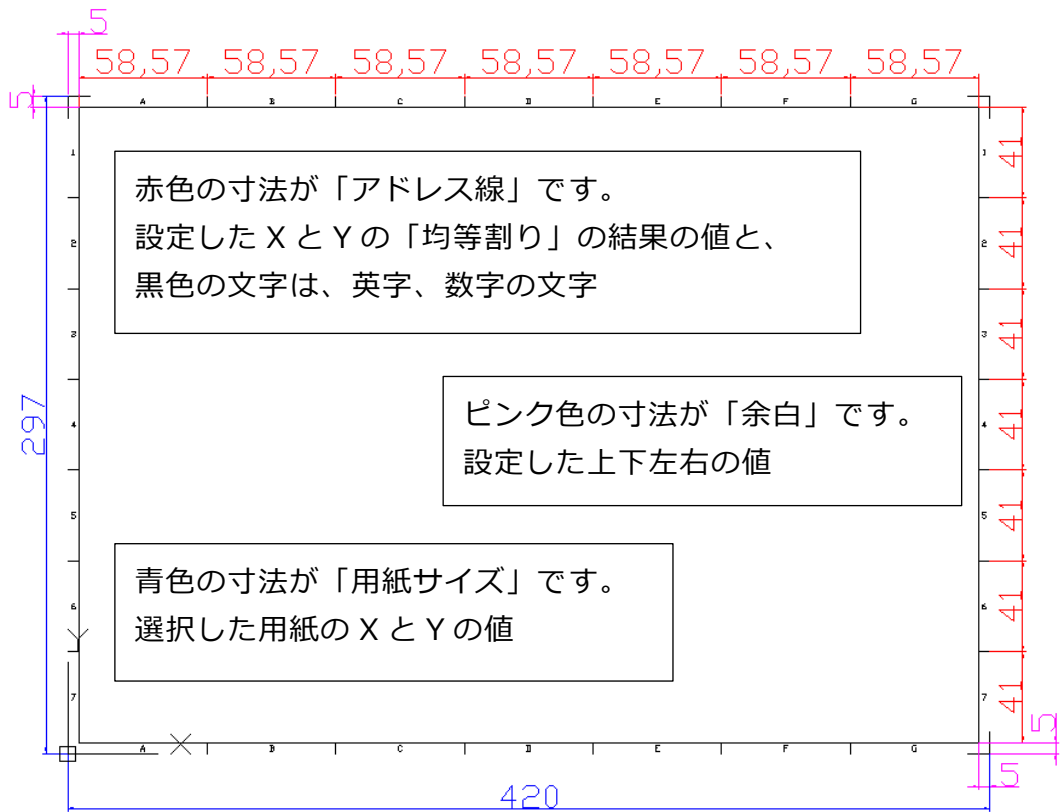
④ 「挿入」をクリックします

図面枠が挿入されます。 →

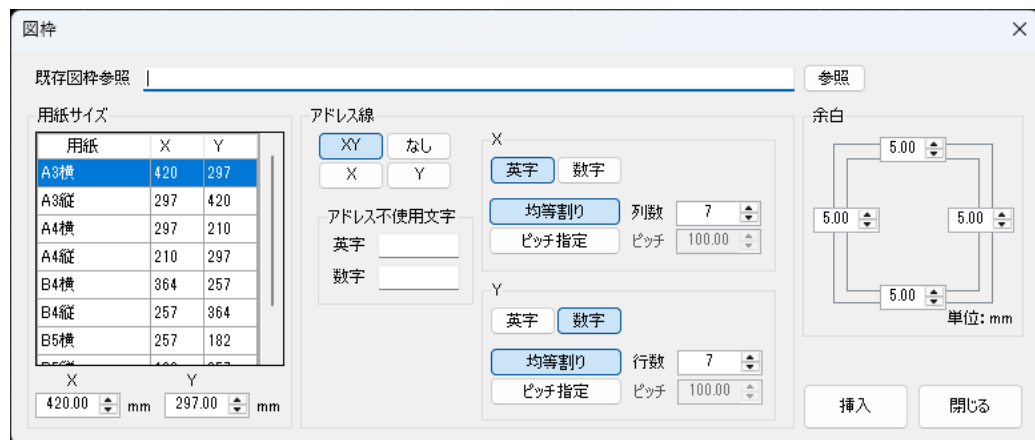
図形は、図枠専用の「ZUWAKU」画層で作成されます。

設定箇所の詳細は、下図をご参照ください。





参考の設定画面イメージを比較の為、配置しています。



※アドレス文字の配置を行うと、設定した数値で内部的にリファレンス（アドレス）の参照位置が決定されます。

図面上で実際に参照されるリファレンス（アドレス）の位置は、この設定によります。配置したアドレス文字を移動/削除することは可能ですが、実際に参照されるリファレンス（アドレス）の位置が変わるわけではありませんので、ご注意ください。

⑤ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

図枠参照パスの該当するフォルダへ保存してください。

⑥ 「確認」の表示

図枠の保存後、確認メッセージが表示されます。

図面を閉じる場合は「はい」をクリックします。

継続して編集する場合は「いいえ」をクリックし編集を続けてください。

その場合は、最終的に再度「名前付保存」で保存してください。

3-1.3 IJCAD Electrical 以外で作成された DWG ファイルを流用する場合

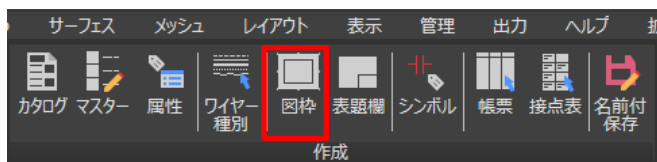
① IJCAD Electrical 起動後、図枠用 DWG を開き、Electrical 用の図枠を作成します

起動直後に既存の図枠用 DWG を開き作成します。

② 既存 DWG 内の図形の作図画層が「ZUWAKU」である場合、それ以外に変更する

既存オブジェクトの画層を確認し、「0」と「ZUWAKU」以外に変更します。

③ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「図枠」を選択します



「図枠」ダイアログが表示されます。

④ 以降は、3-1.2 新規で作成の場合の ③～ と同様に作成します

「図枠」ダイアログの[挿入]をクリックして自動的に作画される図枠図形は、不要であれば削除してください。元々の DWG ファイルで作成されていた図枠図形を利用することも可能です。

その際は既存の図枠図形の画層を「ZUWAKU」画層に変更してから、「名前付保存」を行ってください。

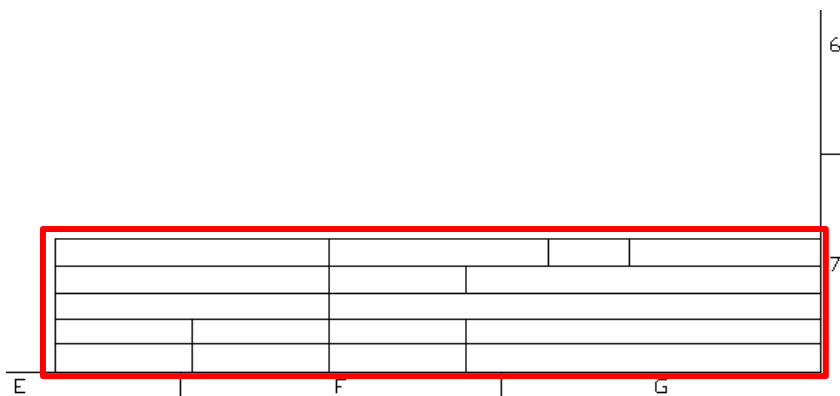
3-2. 表題欄作成

IJCAD Electrical で使用する図面枠に、専用の図枠用表題欄属性を配置します。

新規で作業を行う場合は、前項で作成した IJCAD Electrical 用の図面枠に表題欄の記入用の枠を作画した後に作業を行ってください。

また、表題欄で使用する基本属性を事前に「IJEConfig」タブ→「作成」→「属性」で作成・登録しておくこと、表題欄作成時に利用することも可能です。

(以下は、サンプル「A3 横.dwg」の表題欄です)



既存図枠を利用する場合は、IJCAD Electrical 用図枠を開くか、他の CAD で作成された図枠用の dwg を開きご利用いただくこともできます。

この際の図枠用の図形は、「ZUWAKU」画層にしてください。

① 前項の図枠作成の続き、または既存の図枠 DWG ファイルを開きます

② 「IJEConfig」タブ→「作成」→「表題欄」を選択します



「表題欄」ダイアログが表示されます。

「IJEConfig」タブ→「作成」→「属性」で、プロジェクト用、ページ用として設定した種類の属性が表示されます。

表題欄

<input type="checkbox"/> 挿入	<input type="checkbox"/> 表示	Type	属性	属性名	属性値	文字スタイル
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	プロジェクト	IJPROJ_NAME	プロジェクト名称		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プロジェクト	IJPROJ_STANDARD	グループ		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プロジェクト	IJPROJ_DESC	プロジェクト説明		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_NAME	ページ名		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_SCALE1	尺度分子		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_SCALE2	尺度分母		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_NO	ページ番号		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_DESC	ページ説明		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_LOCATION	ロケーション		Standard

基本属性 花丸電機

<input type="checkbox"/> 挿入	<input type="checkbox"/> 表示	Type	属性	属性名	属性値	文字スタイル
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	属性	ProjectKind	プロジェクト種別		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	DesignDate	設計日		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	Designer	設計者		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	DrawDate	製図日		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	Drawer	製図者		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	InspectDate	検図日		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	Inspector	検図者		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	UpdateDate1	修正日1		Standard

挿入 閉じる

表題欄：図枠の基本属性

挿入、表示のタイトル欄の□にチェックを付けると、両方の全ての□にチェックが入ります。その際に、表示のタイトル行のチェックを外すと表示項目のみチェックが外れます。

挿入：チェックが入ると挿入と表示の両方対象になります。

表示：チェックが入ると挿入された属性の表示特性が ON になります

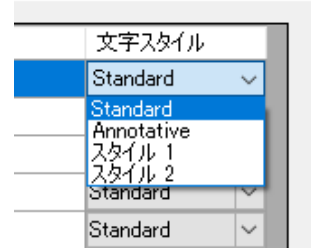
Type：プロジェクト用とページ（ファイル）用の種類

属性：属性種類

属性名：属性種類の属性名称

属性値：既定値の属性文字

文字スタイル：属性文字の文字スタイル（図枠内で、設定されている文字スタイルが、選択可能）



基本属性：画面中央辺りにある「基本属性」のリストは、「IJEConfig>作成>属性」コマンドで登録した基本属性名称が表示されます。

追加登録や既存の登録内容を編集などした場合は、こちらで該当の属性名称をリストから選択すると、「属性名」などが変更した内容で表示されます。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_DESC	ページ説明		Standard	▼
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_LOCATION	ロケーション		Standard	▼
基本属性		花丸電機 ▼					
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	挿入	花丸電機	属性名	属性値	文字スタイル	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	挿入	三角電機	属性名	属性値	文字スタイル	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	挿入	社名-A	属性名	属性値	文字スタイル	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	ProjectKind	プロジェクト種別		Standard	▼
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	DesignDate	設計日		Standard	▼

③ 挿入、表示したい属性にチェックを入れます

表題欄

<input checked="" type="checkbox"/> 挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 表示	Type	属性	属性名	属性値	文字スタイル
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	プロジェクト	IJPROJ_NAME	プロジェクト名称		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プロジェクト	IJPROJ_STANDARD	グループ		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	プロジェクト	IJPROJ_DESC	プロジェクト説明		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_NAME	ページ名		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_SCALE1	尺度分子		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_SCALE2	尺度分母		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_NO	ページ番号		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_DESC	ページ説明		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ページ	IJPAGE_LOCATION	ロケーション		Standard

基本属性 花丸電機 ▼

<input type="checkbox"/> 挿入	<input type="checkbox"/> 表示	Type	属性	属性名	属性値	文字スタイル
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	ProjectKind	プロジェクト種別		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	属性	DesignDate	設計日		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	属性	Designer	設計者	設計者の規定値	Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	DrawDate	製図日		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	Drawer	製図者		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	属性	InspectDate	検図日		Standard
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	属性	Inspector	検図者		Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	属性	UpdateDate1	修正日 1		Standard

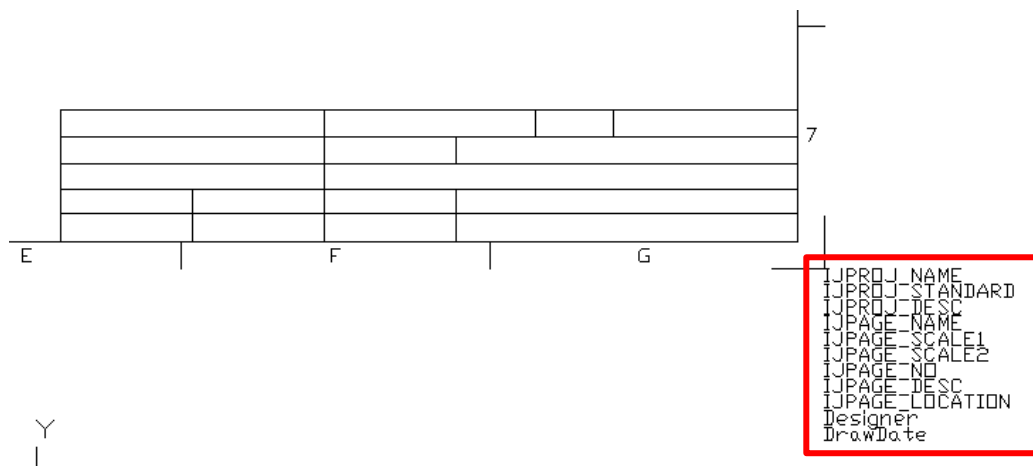
挿入 閉じる

1. 画面中央にある基本属性のリストから、使用する基本属性名称を選択します。
2. 挿入する属性の「挿入」の部分のチェックボックスにチェックを入れます
3. 図面に表示したい属性は「表示」の部分のチェックボックスにチェックを入れます。挿入しても非表示にする属性の「表示」のチェックを外します。
4. 既定の属性値・画層・文字スタイルを設定します。

「属性値」を入力し、対象の図枠を選択して新規ページ設定または図面置換を行うと、入力した文字列が既定値となり表示されます。

図枠に既定値が入力されていても、新規ページ設定で情報を入力しプロジェクト管理のデータベースに登録して起動すると、図枠挿入時に既定値は書き変わります。

④ 「挿入」ボタンをクリックします



挿入にチェックを付けて、下側の「挿入」ボタンをクリックすると、表題欄属性が自動的に作図領域に配置されます。

表題欄属性は、図枠専用の「ZUWAKU」画層で作成されます。



⑤ 配置後の属性文字を図枠内の表題欄の任意の位置に移動します

1. 「ホーム」タブ→「修正」→「移動」を選択します。
2. 移動させたい属性文字を選択します。
3. 移動したい位置を指定します。
4. その他、属性文字の高さなど変更する場合は、IJCAD 標準コマンド「オブジェクトプロパティ管理」等を利用して属性のプロパティ情報を変更します。

配置する属性を追加する場合は、再度「表題欄」コマンドをクリックして、追加する属性にチェックを入れて再度挿入し、配置を行ってください。

IJPROJ_NAME	IJPAGE_NAME	IJPAGE_IN	IJPAGE_LOCATION
IJPROJ_STANDARD	IJPAGE_DESC	IJPAGE_DESC	IJPAGE_DESC
IJPROJ_DESC	ProjectKind		
InspectDate	Inspector	DesignDate	Designer
		DrawDate	Drawer

⑥ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します

表題欄用属性を配置した IJCAD Electrical 用の図枠を保存します。



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

図枠参照パスの該当するフォルダへ保存してください。

⑦ 「確認」の表示

図枠ファイルの保存後、確認メッセージが表示されます。

図面を閉じる場合は「はい」をクリックします。

継続して編集する場合は「いいえ」をクリックし編集を続けてください。

その場合は、最終的に再度「名前付保存」で保存してください。

4. 帳票作成

IJCAD Electrical 用の帳票用マスタテンプレート（DWG）作成を行います。

各帳票データは、[システム設定]で設定されている各帳票の参照先の配下のフォルダに保存してください。

参照先は「IJEConfig」タブ→「環境設定」→「システム設定」→「パス設定」→各帳票種類の参照パスをご確認ください。

既定値の保存先：C:\Users\¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥帳票

※LT版では「部品表」「部品集計表」のみ作成することができます。

4-1. 帳票テンプレートを新規作成する

① 新しい図面ファイルを作成します

② 「IJEConfig」タブ→「作成」→「帳票」を選択します



「帳票」ダイアログが表示されます。

③ 「フォーム種別」で作成する帳票種類を7種類から選択します

各選択項目により左側の表示リストの内容も必要に応じた一覧になります。

- 部品表（器具番号+ロケーション）
- 部品集計表（メーカー+型番）

以下は、PRO 製品で登録可能です。

- 接続リスト
- 端子台表
- 目次
- 機器リスト
- ケーブルリスト

④ 帳票に必要な属性（複数選択可）を選択します

⑤ ダイアログ中央の「追加>>」をクリックします

ダイアログ右の欄に選択された属性が表示されます。

帳票

フォーム種別: 部品表(器具番号+ロケーション) | 基本属性: 花丸電機 | データ行の作成方向: タイトルの下方向

属性

種別	属性	属性名	列幅
共通	NO	No	20
共通	COUNT	数	
シンボル	Tag	器具番号	20
シンボル	Location	ロケーション	
シンボル	Maker	メーカー	
シンボル	CatalogNo	型番	
シンボル	CatalogSeqNumber	カタログ番号	
シンボル	SignalCode	呼び合いコード	
シンボル	Xref	リファレンス	
シンボル	XrefLink	呼び合い先	
シンボル	Family	文字記号	
シンボル	Comment1	コメント1	
シンボル	Comment2	コメント2	
シンボル	GroupNo	グループNo	
シンボル	Index	インデックス	

出力イメージ

No	器具

※再挿入する際は、挿入済みの表を削除後、挿入して下さい。

挿入 閉じる

- 「<<削除」：右側一覧の対象項目から不要な項目を選択してボタンを選択すると削除される。
- 「<<すべて削除」：全ての項目が不要の場合に選択すると、右側の一覧内全てが削除される。
- ▲/▼：選択した属性項目の位置を▲上へ、▼下へ移動します。

⑥ データ行の作成方向

- タイトルの下方向：タイトル行の下に、帳票（各属性の配置行）が作成されます。（既定値）
- タイトルの上方向：タイトル行の下に、帳票（各属性の配置行）が作成されます。

⑦ 必要な属性すべてが右欄に表示されたことを確認します

帳票

フォーム種別: 部品表(器具番号+ロケーション) | 基本属性: 花丸電機 | データ行の作成方向: タイトルの下方向

属性

種別	属性	属性名	列幅
共通	NO	No	
共通	COUNT	数	20
シンボル	Tag	器具番号	20
シンボル	Location	ロケーション	20
シンボル	Maker	メーカー	20
シンボル	CatalogNo	型番	20
シンボル	CatalogSeqNumber	カタログ番号	20
シンボル	SignalCode	呼び合いコード	
シンボル	Xref	リファレンス	
シンボル	XrefLink	呼び合い先	
シンボル	Family	文字記号	
シンボル	Comment1	コメント1	
シンボル	Comment2	コメント2	
シンボル	GroupNo	グループNo	
シンボル	Index	インデックス	

出力イメージ

器具	数	メーカ	型番
Tag_1	COUNT_1	Maker_1	CatalogNo_1

※再挿入する際は、挿入済みの表を削除後、挿入して下さい。

帳票の属性名、列幅(mm)は変更することができます。

カタログ番号も選択可能です。

⑧ 図面に帳票フォームを挿入します

「挿入」を選択すると、作図画面に選択した属性の帳票フォームが表示されます。

Y

器具番号	数	メーカー	型番
Tag_1	COUNT_1	Maker_1	CatalogNo_1

下側の出力イメージでも確認できます。

器具番号の列幅を 50 に変更すると下図のようなイメージになります。

出力イメージ

器具番号	数	メーカ	型番

Y	50	20	20	20
X	器具番号	数	メーカー	型番
	Tag_1	COUNT_1	Maker_1	CatalogNo_1

上図のサンプルの例で、緑色の「器具番号」「数」等のタイトル行の枠と文字は、現在層に作成されます。「Tag_1」「COUNT_1」等のデータ行の枠と属性文字は0画面層に作成されます。

(寸法、タイトル行の色など、確認用に作図しています。)

配置されたフォームでは、タイトル文字以外の編集は行わないでください。

⑨ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

デフォルトで表示されるディレクトリの中の、該当するフォルダへ保存してください。

⑩ 「確認」の表示

保存後に、確認のメッセージが表示されます。

メッセージの通り図面を閉じる場合は、「はい」をクリックします。

継続して編集する場合は「いいえ」をクリックして編集を続けてください。

最終的に改めて「名前付保存」を行い、保存してください。

4-2. 既存フォームを使って帳票テンプレートを作成する

すでに作成済みの帳票フォーム（DWG/DXF ファイル）がある場合は、個別で帳票属性を挿入します。

① 作成済みの帳票フォーム（DWG/DXF ファイル）を開きます

② 「IJEConfig」タブ→「作成」→「帳票」を選択します



③ 作成する帳票種類を選択します

④ 帳票に必要な属性を選択します

⑤ ダイアログ下の「個別挿入」を指定します

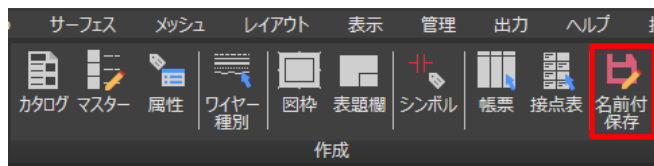


左側の属性一覧内で選択した属性を、個別で配置します。

⑥ 図面上の任意の位置をクリックして配置します

機器番号	型式	メーカー
Tag	CatalogNo	
	属性名 色 ByLayer 高さ 0 線種 ByLayer	

⑦ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

各帳票の参照パスの該当するフォルダへ保存してください。

⑧ 「確認」の表示

帳票データの保存後、確認メッセージが表示されます。

図面を閉じる場合は「はい」をクリックします。

継続して編集する場合は「いいえ」をクリックし編集を続けてください。

その場合は、最終的に再度「名前付保存」で保存してください。

4-3. 接続リスト用テンプレートの作成例

接続リストは、配線上に配置されている器具番号と器具番号を配線をつないだ際のシンボルの端子番号属性間の配線の接続状態をリストにします。

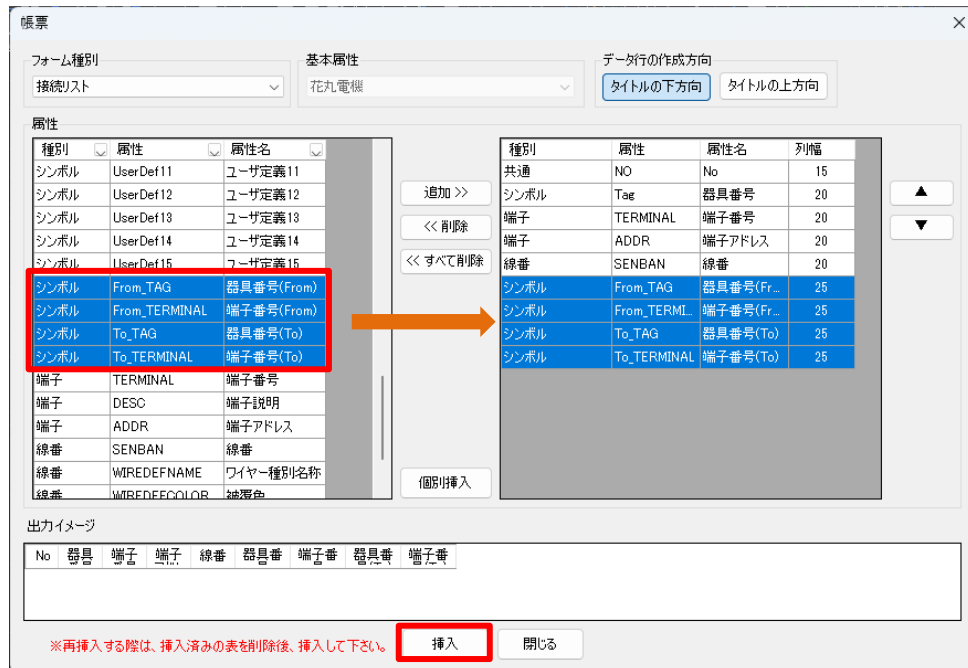
情報として、1つの器具番号シンボルに行先 (To) と来先 (From) の端子番号属性がある場合は、書き出される行は2行になります。1行目は、行先 (To) しかなければ来先 (From) なしで、行先 (To) 分の器具番号と端子番号になります。

2行目は、1行目からの器具番号と来先 (From) の情報と、配線先で、接続されている行先の器具番号と入り先の端子番号となります。

以降、順次接続されている情報を、リストにして行きます。

1. 新規図面「Drawing○.dwg」を開いた状態で、「IJEConfig」タブ→「作成」→「帳票」を選択します。

- 「帳票」ダイアログ内で、「フォーム種別」から「接続リスト」を選択。
列幅などを整えて、「挿入」を選択します。



- リボン「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」
任意の名前を付けて「帳票」保存先に保存します。
- 接続リスト作成可能な図面を開きます。
- プロジェクトマネージャ内の対象ページをマウスで右クリックして、「帳票出力」を選択します。
- 出力項目から「フォーム使用」を選択し、出力先で、「カレントページに挿入」を選択します。
PRO 製品の場合は、整合性チェック（結果の確認は終了している。）にチェック後、「作成」ボタンを選択します。
- 現在の図面に戻り、挿入位置を指定します。

この際にコマンドラインを確認頂くと、

コマンド：

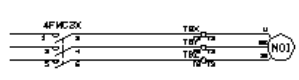
配置先を指定 または

基点変更[左下(LB)/左上(LT)/右下(RB)/右上(RT)]<LB>:

上記の4種類の選択肢が表示されます。

既定値は、左下(LB)です。そのままであれば配置先を指示してください。

基点を変更される場合は、ご希望の基点用の英文字をキーボードから記入して、改行後に配置位置を指示してください。

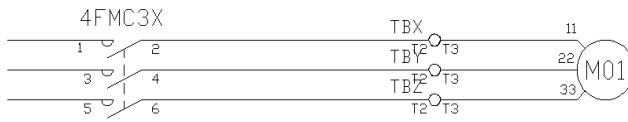


No	器具番号	端子番号	端子アドレス	線番	器具番号<From>	端子番号<From>	器具番号<To>	端子番号<To>
1	4FMC3X	1					4FMC3X	1
2	4FMC3X	2			4FMC3X	2	TBX	T2
3	4FMC3X	3					4FMC3X	3
4	4FMC3X	4			4FMC3X	4	TBY	T2
5	4FMC3X	5					4FMC3X	5
6	4FMC3X	6			4FMC3X	6	TBZ	T2
7	M01	11			TBX	T3	M01	11
8	M01	22			TBY	T3	M01	22
9	M01	33			TBZ	T3	M01	33
10	TBX				TBX		TBX	T2
11	TBX				TBX		TBX	T3
12	TBX				TBX		TBX	
13	TBX	T2			4FMC3X	2	TBX	T2
14	TBX	T3			TBX	T3	M01	11
15	TBY				TBY		TBY	T2
16	TBY				TBY		TBY	T3
17	TBY				TBY		TBY	
18	TBY	T2			4FMC3X	4	TBY	T2
19	TBY	T3			TBY	T3	M01	22
20	TBZ				TBZ		TBZ	T2
21	TBZ				TBZ		TBZ	T3
22	TBZ				TBZ		TBZ	
23	TBZ	T2			4FMC3X	6	TBZ	T2
24	TBZ	T3			TBZ	T3	M01	33

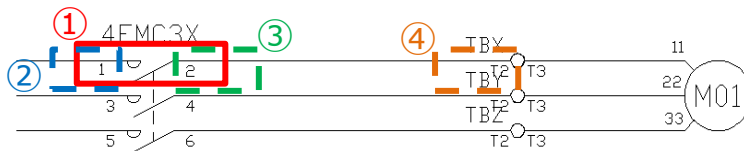
✗

配置先を指定: 170.80

8. 出力結果の例：「4FMC3X」の左には接続している器具、端子はなしです。



接続リストの1行は「シンボルの1つの端子」に該当します。



No	器具番号	端子番号	端子アドレス	線番	器具番号<From>	端子番号<From>	器具番号<To>	端子番号<To>
1	4FMC3X	1					4FMC3X	1
2	4FMC3X	2			4FMC3X	2	TBX	T2
3	4FMC3X	3					4FMC3X	3
4	4FMC3X	4			4FMC3X	4	TBY	T2
5	4FMC3X	5					4FMC3X	5
6	4FMC3X	6			4FMC3X	6	TBZ	T2
7	M01	11			TBX	T3	M01	11
8	M01	22			TBY	T3	M01	22
9	M01	33			TBZ	T3	M01	33
10	TBX				TBX		TBX	T2
11	TBX				TBX		TBX	T3
12	TBX				TBX		TBX	
13	TBX	T2			4FMC3X	2	TBX	T2
14	TBX	T3			TBX	T3	M01	11
15	TBY				TBY		TBY	T2

情報として「器具番号+端子番号」と接続リストの項目選択での From または To の「器具番号+端子番号」は一致することになります。

5. 接点表作成

IJCAD Electrical 用のクロスリファレンス処理で、接点表（構成表タイプ、十字タイプ）マスタ（シンボル DWG）作成を行います。

必要な図形を IJCAD や IJCAD Electrical 内の「ホーム」「挿入」タブなどの標準の作成、編集コマンドを使用し、作図します。その後に、IJCAD Electrical 専用の「IJEConfig」タブ→「作成」→「接点表」登録コマンドで、必要な属性などを付加して専用の「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」で、登録してください。

接点表データは、[システム設定]の接点表参照パスで設定されている参照先の配下のフォルダに保存してください。

参照先は「IJEConfig」タブ→「環境設定」→「システム設定」→「パス設定」→「接点表参照パス」をご確認ください。

既定値の保存先：C:\Users\¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥接点表

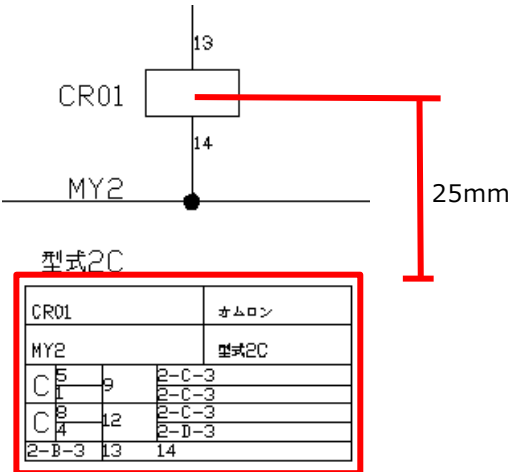
シンボル属性のコイル用は「接続モデル」、MS 用は「接続モデル 2」で、使用する接点表のファイル名（.拡張子除く）を指定します。

属性編集		
<input type="checkbox"/> 表示	属性名	属性値
<input checked="" type="checkbox"/>	器具番号	CR001
<input type="checkbox"/>	ロケーション	MT
<input type="checkbox"/>	メーカー	オムロン
<input checked="" type="checkbox"/>	型番	MY2
<input type="checkbox"/>	リファレンス	
<input type="checkbox"/>	A接点数上限	2
<input type="checkbox"/>	A接点数上限2	0
<input type="checkbox"/>	B接点数上限	2
<input type="checkbox"/>	B接点数上限2	0
<input type="checkbox"/>	文字記号	AXR
<input type="checkbox"/>	グループNo	Coil1
<input type="checkbox"/>	接続モデル	型式2C
<input type="checkbox"/>	接続モデル2	
<input type="checkbox"/>	端子リスト	P,13,14;C,9,1,5;C,12,4,8;
<input type="checkbox"/>	端子リスト2	

5-1. 接点表（コイルの下側表示用、構成表タイプ）を新規作成する

以下は、横母線の回路図で、コイルの下側に表示する構成表タイプの作成例です。

コイル用の接点表は、コイル用シンボルの挿入基点に、プロジェクト設定またはページ設定の「接点表」内の設定に基づいた位置に入力されます。



型式2C

CR01		オムロン
MY2		型式2C
C ₁	9	2-C-3
C ₂		2-C-3
C ₃	12	2-C-3
C ₄		2-C-3
2-B-3	13	14

プロジェクト設定

プロジェクト設定 線番 形式 接点表 シンボル

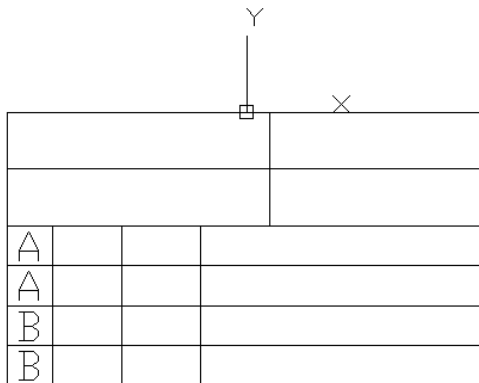
接点表既定フォーム

※接点表既定フォーム = 該当する型式の接点表フォームが

コイル ~ 接点表 挿入基点間 の距離 X Y アドレス表記

① 新しい図面ファイルを作成します

新しく図面を開き、表図形などを作図します。または、事前に表などの図形を作図した図面を開きます。



表内の属性以外で、配置しておきたい文字「A」や「B」などは、文字やマルチテキストで記入しておきます。

② 「IJEConfig」タブ→「作成」→「接点表」を選択します



「接点表」ダイアログが表示されます。

アクティブな図面が IJE のページ図面の場合、接点表マスタデータ作成は行えません。通常の dwg 図面をアクティブにした状態でコマンドを起動します。

③ 接点表に挿入する属性や、接点数を設定する

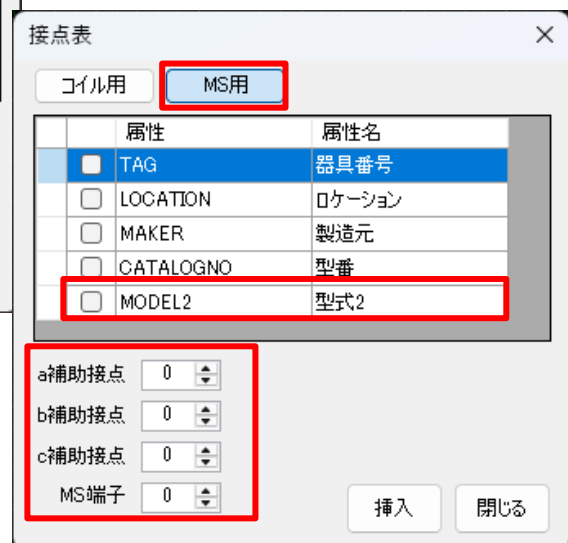
表示されたダイアログから、接点表に転記する属性や、接点数を設定します。

- ① 作成する接点表の種類を「コイル用」から選択します。
- ② 接点表に転記する接点属性を選択します。
- ③ 接点表に転記する接点、端子の数を設定します。

[挿入]ボタンをクリックして、任意の位置に仮置きします。



接点表にコイル端子と、MS 端子の両方の端子を設定して使用する形式もあります。その場合、1つの接点表で、コイル用と MS 用のボタン毎に設定を行い保存してください。



(5-2. 接点表 (コイルと MS の組み合わせの接点表のタイプ) を新規作成する をご参照ください。)

右図は、MS 用選択時のダイアログです。赤い矩形部分がコイル用とは異なります。

④ 接点表マスターデータを作成する

接点表の形状を作図し、挿入された接点表用の属性文字を配置します。挿入される属性文字については、以下の通りです。

- ① TAG : 機器番号
- ② LOCATION : ロケーション
- ③ MAKER : 製造元
- ④ CATALOGNO : 型番
- ⑤ MODEL / MODEL2 : 型式 (コイル用) / 型式 2 (MS 用)
- ⑥ XREF : 親シンボルのリファレンス
MS_XREF : MS シンボル用のリファレンス
- ⑦ COIL_TERM## : 親シンボル、コイル用の端子番号用
MS_TERM## : 親シンボル、MS 用の端子番号
(##は、01、02…と番号が入ります)
- ⑧ 各接点の属性文字は、以下の組み合わせで決定されます。
 - 1 文字目
「S」 : コイル用 「X」 : MS 用
 - 2 文字目
「A」 : a 接点 「B」 : b 接点 「C」 : c 接点
 - 3、4 文字目
接点の順番 (01 から始まる)
 - 5 文字目
「T」 : 端子番号 1 「C」 : 端子番号 2 「XREF」 : 接点のリファレンス属性例) コイル用の 1 つ目の A 接点の場合 : SA01XREF
属性例) MS 用の 3 つ目の B 補助接点の場合 : XB03XREF

TAG ①機器番号		MAKER ③製造元	
CATALOGNO ④型番		MODEL ⑤型式	
A	SA01T	SA01C	SA01XREF
A	SA02T	SA02C	SA02XREF
B	SB03T	SB03C	SB03XREF
B	SB04T	SB04C	SB04XREF

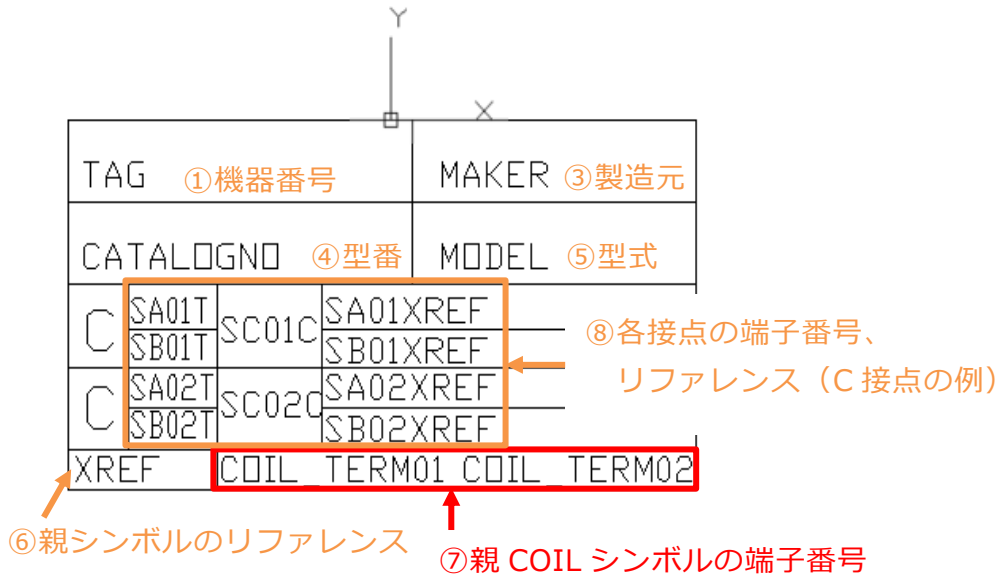
文字 →

⑧各接点の端子番号、リファレンス (A,B 接点の例)

CR00			TEST
2A2B			型式2A2B
A	1	2	1-A-3
A	3	4	1-A-4
B	5	6	1-B-5
B	7	8	1-D-3

✗ 挿入基点

(例) 型式 2A2B の接点表の一例 (上: 属性配置の DWG/下: 接点表作成コマンドでの挿入時)

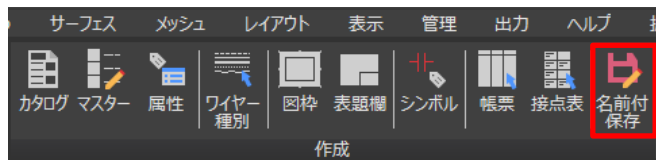


CR001	オムロン		
MY2	型式2C		
C	1	9	1-C-3
	5		1-C-3
C	4	12	1-E-4
	8		1-E-5
1-C-5	13	14	

(例) 型式 2C の接点表の一例 (上: 属性配置の DWG/下: 接点表作成コマンドでの挿入時で、コイル端子を配置した例)

既存の親シンボルの端子番号「TERMINAL##」で、登録されている接点表もそのままお使いいただけます。ただし、コイルと MS 用一体型の接点表の場合は、コイル用の端子番号は、「COIL_TERM##」の属性をお使いください。

⑤ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

接点表参照パスの該当するフォルダへ保存してください。

⑥ 「確認」の表示

接点表データの保存後、確認メッセージが表示されます。

図面を閉じる場合は「はい」をクリックします。

継続して編集する場合は「いいえ」をクリックし編集を続けてください。

その場合は、最終的に再度「名前付保存」で保存してください。

以降、5-2～5-4 での「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」

↓

「確認の表示」については、簡略表記といたします。

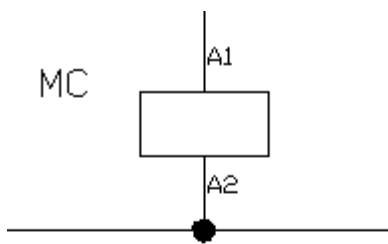
5-2. 接点表（コイルと MS の組み合わせの接点表タイプ）を新規作成する

以下は、コイルと MS の組み合わせのリファレンス処理を行う場合の接点表の作成例です。コイル用の端子番号属性と MS 用の端子番号、補助接点属性を一つの接点表（.DWG）として作成します。

シンボル属性の「接点モデル」（コイル用）、「接点モデル 2」（MS 用）に作成した接点表名を設定します。そのとき、それぞれコイル、MS シンボルの挿入基点に、プロジェクト設定またはページ設定の「接点表」内の設定に基づいた位置に入力されます。

また、対象のコイルや MS シンボルを削除すると一緒に削除されます。

5-2.1 コイル用と MS 用の一体型の構成表タイプ



型式M-AB+COIL-AB

MC	M+COIL-TEST		
MA	1	2	
MA	3	4	1-A-3
MA	5	6	
Xa	13	14	1-D-2
Xb	21	22	1-D-2
Xa			
Xb			
COIL	A1	A2	

型式M-2A2B (ABAB) +COIL

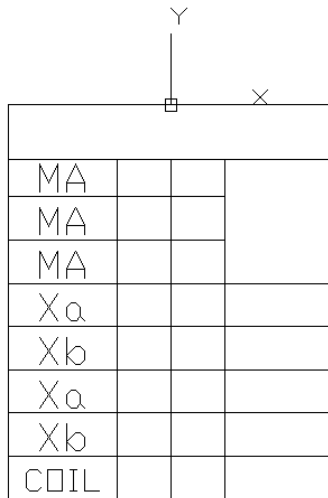
MS 用の端子番号と補助接点の端子番号用属性

コイル用の端子番号属性

このタイプの接点表は、どちらから配置しても構いません。ここでは、属性数が多い MS 用の属性から配置します。

① 新しい図面ファイルを作成します

新しく図面を開き、表図形などを作図します。または、事前に表などの図形を作図した図面を開きます。



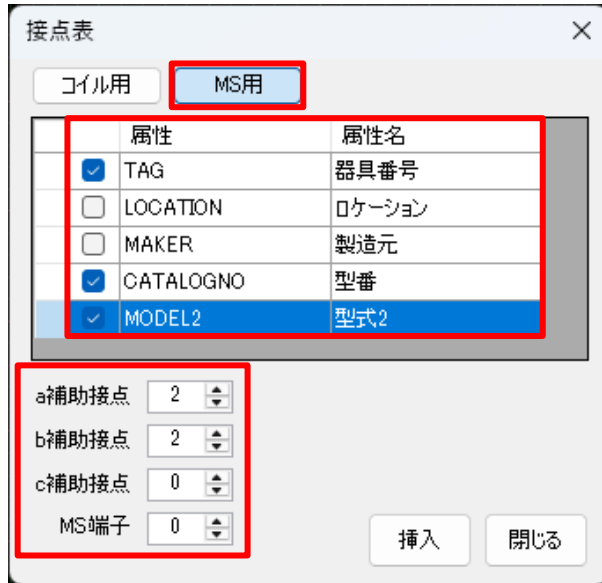
表内の属性以外で、配置しておきたい文字「MA」や「Xa」、「COIL」などは、文字やマルチテキストで記入しておきます。

② 「IJEConfig」タブ→「作成」→「接点表」を選択します



③ コイルと MS 用一体型タイプの MS 用に挿入する属性や、接点数を設定する

表示されたダイアログから作成する接点表の種類は、「MS 用」を選択して接点表に転記する属性や接点数を設定し、[挿入]ボタンをクリックして配置します。項目の詳細については 5-1 をご参照ください。



表内に接点、補助接点を A、A、B、B とする場合は、上記のように数量を必要な数だけ設定して、挿入してください。

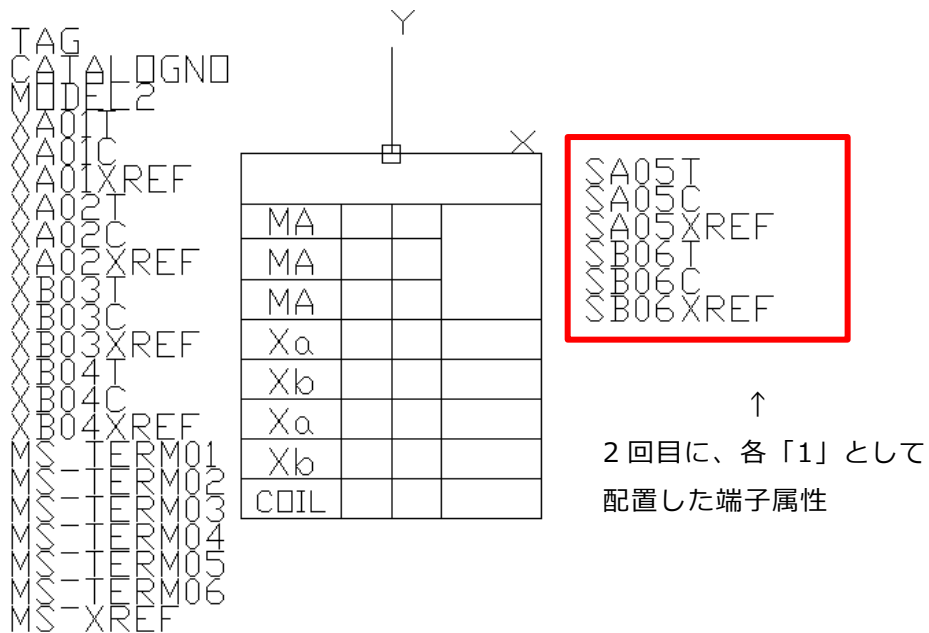
④ コイルと MS 用一体型タイプの接点表マスタデータを作成する

挿入する属性文字について、5-1④項の⑧の1文字目は、「X」：MS用 を使用してください。

A、B、A、B と並べる場合は、それぞれ数量を「1」として挿入し、必要数、数量「1」を繰り返し挿入していただくと、下図のような属性として配置することができます。

任意の位置に配置した後、位置調整して配置してください。

初期配置の例)



初期配置された各属性を以下のように移動して配置します。

(以下の例では、属性文字が分かりやすいように拡大し、ずらして配置しています。登録時には、重なるように表内に取めてください。)

MODEL2 ✗ 挿入基点

TAG	①機器番号 CATALOGNO		
MA	MS_TERM01	MS_TERM02	
MA	MS_TERM03	MS_TERM04	⑥MS_XREF
MA	MS_TERM05	MS_TERM06	
Xa	XA01T	XA01C	XA01XREF
Xb	XB02T	XB02C	XB02XREF
Xa	XA03T	XA03C	XA03XREF
Xb	XB04T	XB04C	XB04XREF
COIL			

⑥MSシンボルのリファレンス用属性の挿入基点が1か所なので表内の配置を1つにしていますが、各行に記入する場合は、MS用の「MS_XREF」属性をコピーして配置してください。

⑦MS用の親シンボルの端子番号 (MS_TERM##)
複数配線用であれば、必要数を配置してください。

⑧MS用の接点表では、⑧A,B接点の端子番号、リファレンスの1文字目を「X」としてください。

⑤ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「接点表」を選択します

MS用の各属性の配置が、完了したらコイル用のコイル端子属性を挿入します。

接点表

コイル用 MS用

	属性	属性名
<input checked="" type="checkbox"/>	TAG	器具番号
<input type="checkbox"/>	LOCATION	ロケーション
<input type="checkbox"/>	MAKER	製造元
<input checked="" type="checkbox"/>	CATALOGNO	型番
<input checked="" type="checkbox"/>	MODEL	型式

a接点

b接点

c接点

コイル端子

挿入 閉じる

⑥ コイルと MS 用一体型タイプのコイル用に挿入するコイル端子番号属性を挿入します

各属性を任意の位置に配置します。

初期配置の例)

MODEL2

TAG	CATALOGNO		
MA	MS_TERM01	MS_TERM02	
MA	MS_TERM03	MS_TERM04	MS_XREF
MA	MS_TERM05	MS_TERM06	
Xa	XA01T	XA01C	XA01XREF
Xb	XB02T	XB02C	XB02XREF
Xa	XA03T	XA03C	XA03XREF
Xb	XB04T	XB04C	XB04XREF
COIL			

COIL_TERM02
COIL_TERM01
MODEL

⑦ 作成した接点表にコイル用の端子番号属性を配置します。

任意の位置に、挿入した各属性を移動して配置してください。

MODEL2

TAG	CATALOGNO		
MA	MS_TERM01	MS_TERM02	
MA	MS_TERM03	MS_TERM04	MS_XREF
MA	MS_TERM05	MS_TERM06	
Xa	XA01T	XA01C	XA01XREF
Xb	XB02T	XB02C	XB02XREF
Xa	XA03T	XA03C	XA03XREF
Xb	XB04T	XB04C	XB04XREF
COIL	COIL_TERM01		

MODEL COIL_TERM02

Y

X

⑧ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

接点表参照パスの該当するフォルダへ保存してください。

⑨ 「確認」の表示

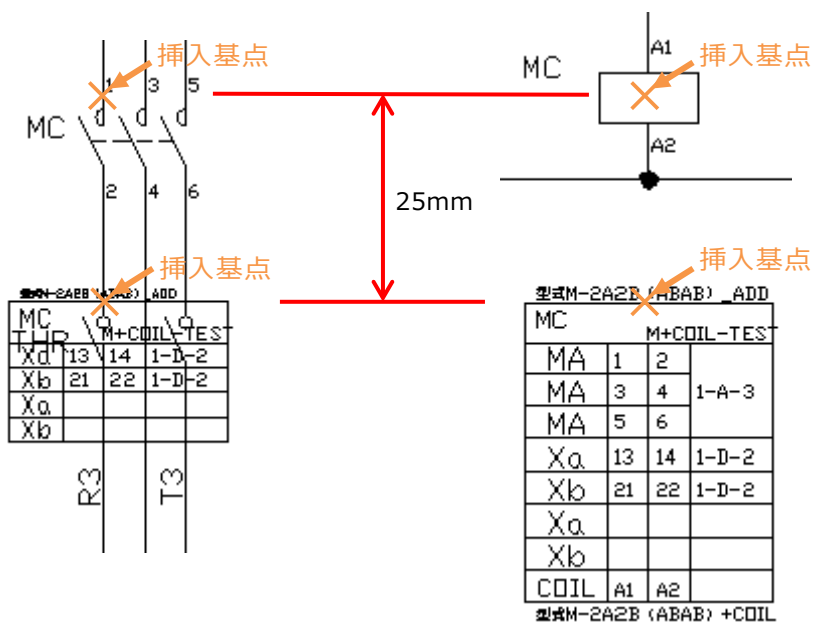
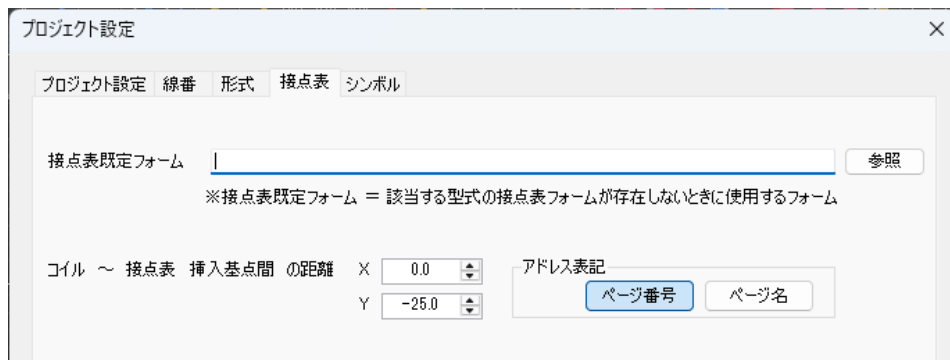
接点表データの保存後、確認メッセージが表示されます。

図面を閉じる場合は「はい」をクリックします。

継続して編集する場合は「いいえ」をクリックし編集を続けてください。

その場合は、最終的に再度「名前付保存」で保存してください。

(例) サンプルの接点表の「コイル～接点表の挿入基点の間隔完の距離」の設定の通りに挿入された配置例です。



属性の「接点モデル 2 (=「型式 2」)」を空にしても「接点表既定フォーム」で指定された接点表、または既定の接点表が入ります。

また仕様上、属性の「接点モデル 2」で指定する接点表は、上図左のように MS 側のシンボルに配置されます。

MS 用の「接点モデル 2」に割り当てる接点表が不要（表示したくない）な場合は、小さくする、接点表作成後の配置位置より印刷範囲外（図面枠の外）に移動する、又は、インストールサンプル「型式非表示.dwg」を使用してください。

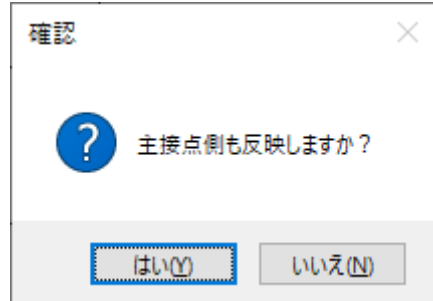
接点表図形は、移動先で更新が行われます。削除すると、「接点表作成」コマンドの実行で挿入し直されます。

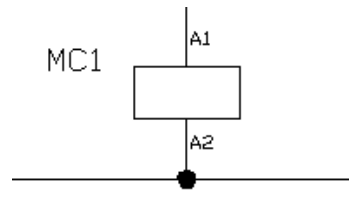
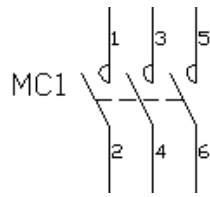
インストールサンプル「型式非表示.dwg」は、非表示画層に「非表示」で配置してあります。ご利用の際は、属性は削除せずにご使用ください。

また「型式非表示.dwg」も、対象の MS シンボルが削除されると一緒に削除されます。

なお、このコイルと MS の主接点の組み合わせで、コイル側の器具番号を変更すると以下のメッセージが表示されます。

反映する場合は、「はい」を選択します。





型式M-2A2B (ABAB) +COIL

MC	M+COIL-TEST		
MA	1	2	1-A-3
MA	3	4	
MA	5	6	
Xa	13	14	1-D-2
Xb	21	22	1-D-2
Xa	43	44	2-D-2
Xb	31	32	2-D-2
COIL	A1	A2	

型式M-2A2B (ABAB) +COIL

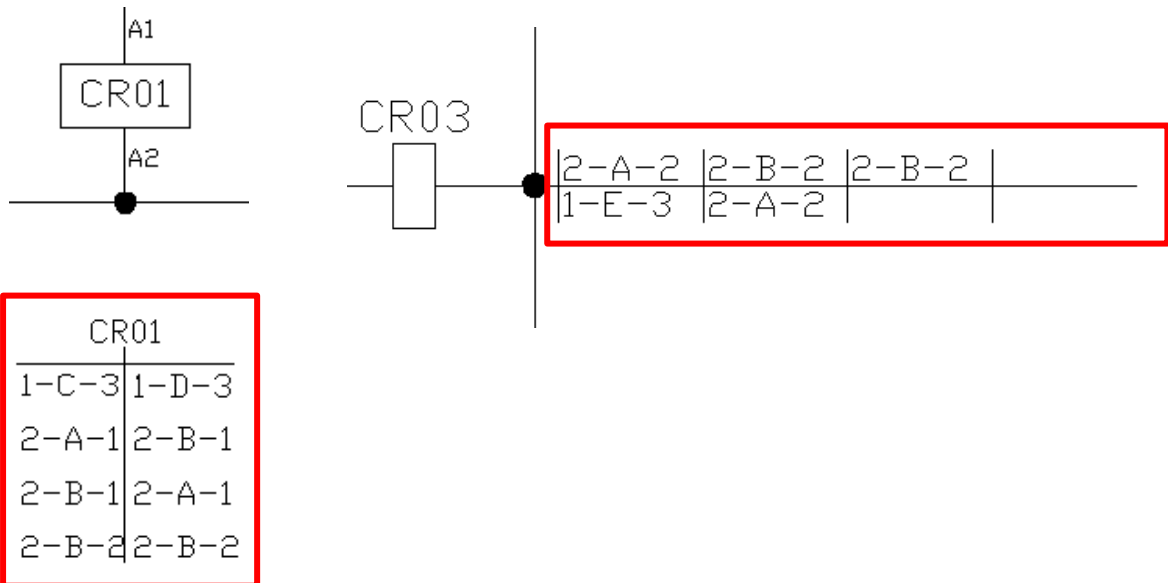
接点表内の器具番号は、自動的に反映されませんので、メニュー内またはツリー側の「接点表作成」を行ってください。

5-3. 接点表（十字タイプ）を新規作成する

以下は、回路図で、十字タイプのアドレス表示タイプの作成例です。

横母線用でコイルの下、縦母線用でコイルの右側に接点表を作成します。

コイル用の接点表は、コイル用シンボルの挿入基点に、プロジェクト設定またはページ設定の「接点表」内の設定に基づいた位置に入力されます。



5-3.1 横母線で、コイルの下側に十字型でアドレスを表記するタイプ

① 新しい図面ファイルを作成します

② 「IJEConfig」タブ→「作成」→「接点表」を選択します



「接点表」ダイアログが表示されます。

※アクティブな図面が IJE のページ図面の場合、接点表マスタデータ作成は行えません。通常の dwg 図面をアクティブにした状態でコマンドを起動します。

③ 十字型で、挿入するアドレスと他必要な属性を設定する

前項の 5-1 と基本的には同じですが、表示されたダイアログから作成する接点表の種類は「コイル用」を選択し十字図形に転記する属性や、接点数を設定し、[挿入]ボタンをクリックします。項目の詳細については 5-1 をご参照ください。

④ 十字型のマスタデータを作成する

十字型の形状を作図し、挿入された属性文字を配置します。

このタイプの挿入する属性文字については、5-1④項の⑧の1文字目は、「S」：コイル用 を使用してください。

(属性文字が分かりやすいように、拡大し、ずらして配置しています。配置時には整えて配置してください。)



⑧各接点のリファレンス (このタイプの場合、接点用のアドレスは、不要。必要であれば、配置後の接点の端子番号も)

CR01	
1-C-3	1-D-3
2-A-1	2-B-1
2-B-1	2-A-1
2-B-2	2-B-2

(例) 横母線用十字 Sample_4A4B 十字タイプの接点表の一例

⑤ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

接点表参照パスの該当するフォルダへ保存してください。

⑥ 「確認」の表示

接点表データの保存後、確認メッセージが表示されます。

図面を閉じる場合は「はい」をクリックします。

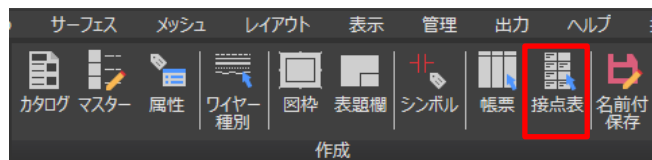
継続して編集する場合は「いいえ」をクリックし編集を続けてください。

その場合は、最終的に再度「名前付保存」で保存してください。

5-3.2 縦母線で、コイルの右側に十字型でアドレスを表記するタイプ

① 新しい図面ファイルを作成します

② 「IJEConfig」タブ→「作成」→「接点表」を選択します



③ 十字型で、挿入するアドレスと他必要な属性を設定する

前項の 5-1 と基本的には同じですが、表示されたダイアログから作成する接点表の種類は「コイル用」を選択し十字図形に転記する属性や、接点数を設定し、[挿入]ボタンをクリックします。項目の詳細については 5-1 をご参照ください。

④ 十字型のマスタデータを作成する

十字型の形状を作図し、挿入された属性文字を配置します。

このタイプの挿入する属性文字については、5-1④項の⑧の1文字目は、「S」：コイル用 を使用してください。

(属性文字が分かりやすいように、拡大・ずらして配置しています。配置時には整えて配置してください。)

挿入基点



SA01XREF	SA02XREF	SA03XREF	SA04XREF
SB05XREF	SB06XREF	SB07XREF	SB08XREF

⑧各接点のリファレンス（このタイプの場合、接点用のアドレスは、不要。必要であれば、配置後の接点の端子番号も）

2-A-2	2-B-2	2-B-2	
1-E-3	2-A-2		

（例）縦母線用十字 Sample_4A4B 十字タイプの接点表の一例

⑤ 「IJEConfig」タブ→「作成」→「名前付保存」をクリックし保存します

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

接点表参照パスの該当するフォルダへ保存してください。

⑥ 「確認」の表示

保存後、確認メッセージが表示されます。

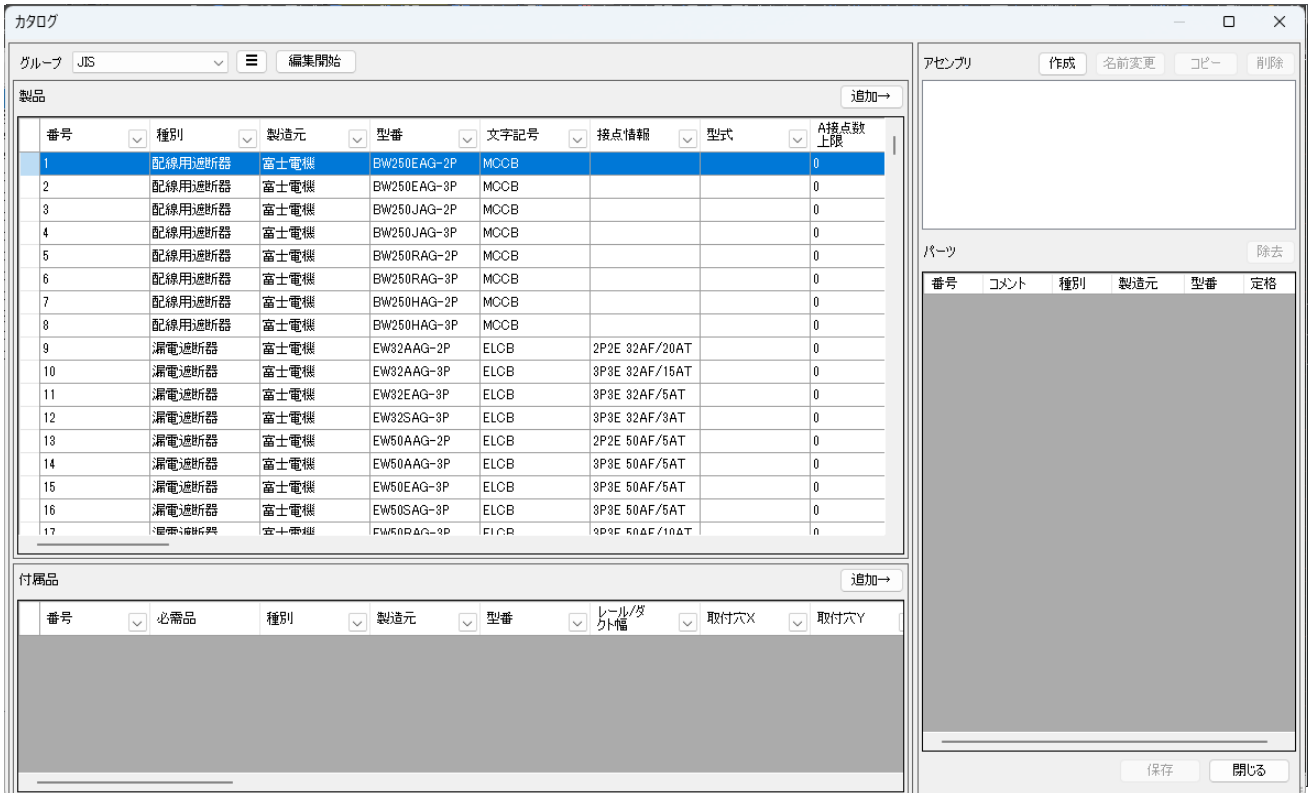
図面を閉じる場合は「はい」をクリックします。

継続して編集する場合は「いいえ」をクリックし編集を続けてください。

その場合は、最終的に再度「名前付保存」で保存してください。

6. カタログ

メーカーや型番、寸法など機器の情報をカタログ（データベース）に登録しておき、適宜そのカタログから情報を呼び出して使用することができます。



カタログ（データベース）は、IJCAD Electrical の機能を使用するためには必ず必要なデータベースファイルです。

絶対に削除しないでください。

既定の保存先は以下になります。更新作業前に必ずバックアップを作成してください。

C:\¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥IJE_Catalog.sqlite3


また、データベース内での登録名称について、大文字小文字を同一判定で同じ名称として判断します。登録時は、どちらかに統一されてのご登録をお奨めいたします。

なお、「グループ名称」で、大文字を登録後に、小文字に名称を変更の際には、一旦異なる名称に変更後、改めて小文字の名称に変更を行ってください。

小文字から、大文字の場合も同様となります。

6-1. グループ

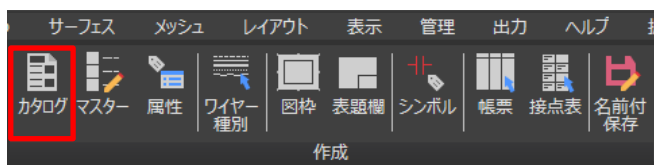
カタログの規格グループを登録してリストから選択可能にできます。

グループ用の  ボタンから「作成」「削除」「コピー」「名前変更」等のメニューで、グループの作成やコピー、その他に外部から IJCAD Electrical 用のカタログのインポートと外部へのエクスポートが行えます。それぞれの操作は、同様となります。

6-1.1 作成

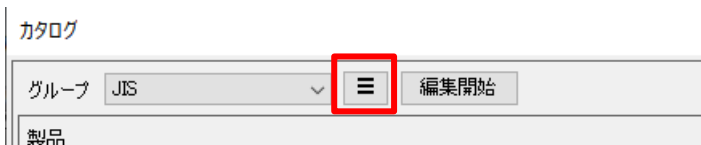
カタログ内のグループを作成します。

① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「カタログ」を選択します



「カタログ」ダイアログが表示されます。

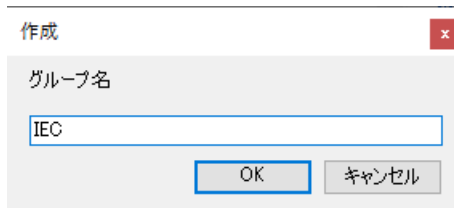
② グループのメニューボタンをクリックし「作成」をクリックします



「作成」ダイアログが表示されます。

③ グループ名を入力します

グループ名を入力後、「OK」をクリックします。

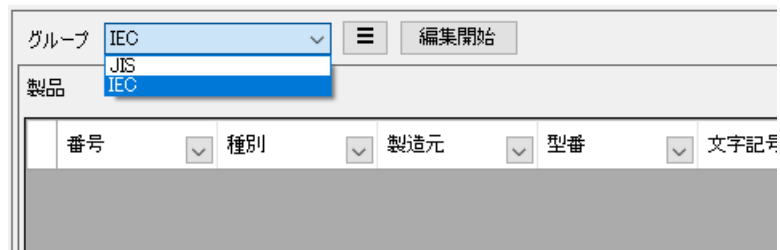


グループの作成を行いカタログデータベースに登録します。

④ グループリストに追加されます

グループのリストに追加され、新しいカタロググループが作成されます。

カタログ



6-1.2 削除

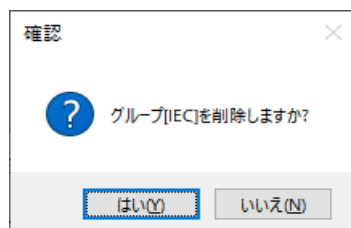
グループの削除を行いカタログデータベースからも削除します。

① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「カタログ」を選択します

「カタログ」ダイアログが表示されます。

② 「削除」します

削除するグループを選択しておき、メニューから「削除」をクリックします。



「はい」で、グループ自体が削除されカタログデータベースからも削除されます。

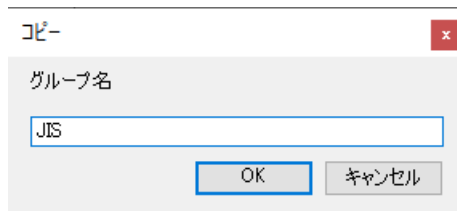
6-1.3 コピー

グループのコピーを行いカタログデータベースに登録します。

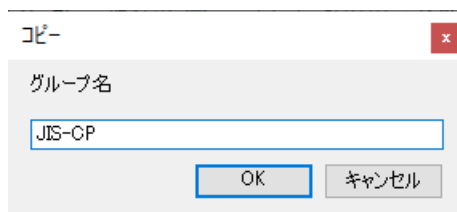
① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「カタログ」を選択します

「カタログ」ダイアログが表示されます。

② コピー元のグループを選択しておきメニューから「コピー」をクリックします

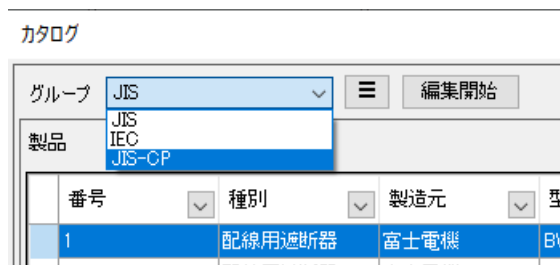


③ コピー先のグループ名入力し「OK」します



④ グループリストに追加されます

グループのリストにコピーされたグループが追加され、カタログデータベースに登録します



6-1.4 名前変更

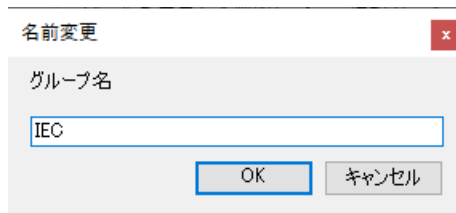
カタログ内のグループの名前を変更しカタログデータベースも変更します。

① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「カタログ」を選択します

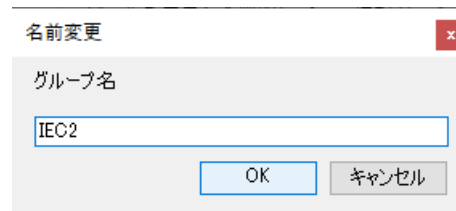
「カタログ」ダイアログが表示されます。

② グループの「名前変更」をします

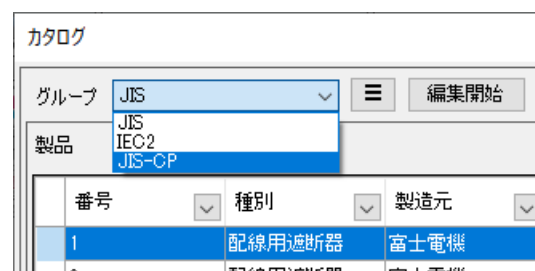
変更元のグループを選択しておき、メニューから「名前変更」をクリックします。



③ 入力されている名前を変更し「OK」します



④ グループの名前が変更されカタログデータベースも変更します



6-1.5 インポート

IJCAD Electrical 用に外部で作成したデータをインポートしてカタログデータを上書き、または追加します。

詳しくは、「6-5.外部データのインポート」をご参照ください。

6-1.6 エクスポート

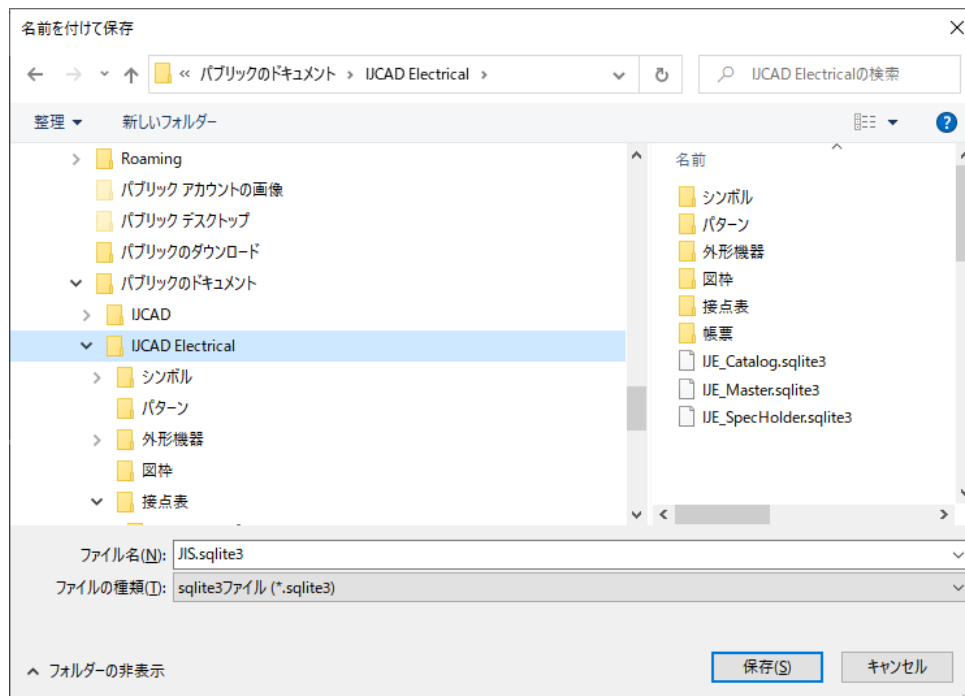
IJCAD Electrical 用カタログデータベースを外部に書き出します。

① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「カタログ」を選択します

「カタログ」ダイアログが表示されます。

② グループのメニューボタンをクリックし「エクスポート」をクリックします

エクスポートするグループを選択しておき、メニューから「エクスポート」をクリックします。



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

ファイル名は、選択した「グループ名.拡張子」が、既定値で表示され、

ファイルの種類は「sqlite3 ファイル」と「EXCEL ファイル」となります。

③ ファイルの種類を選択して「保存」をクリックします

ファイルの種類を選択して、既定値の保存先または任意の場所に「保存」ボタンをクリックし保存してください。

6-1.7 「編集開始」ボタン

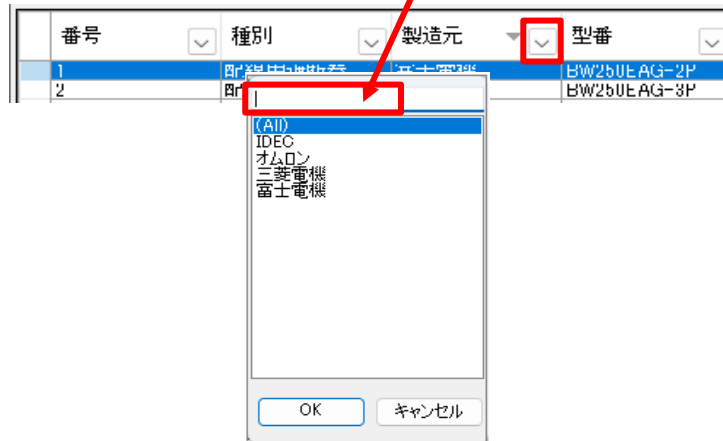
グループ登録された情報への情報の新規登録や、登録済み内容の編集、削除を開始します。

対象は、製品・付属品エリアになります。「新規情報の登録」「既存情報の編集」「情報行の削除」等は、両エリア共に同様の操作になります。

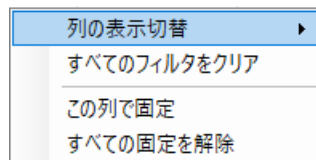
6-1.8 「製品」タイトルの操作

タイトル行の操作については、以下が行えます。

- 昇順・降順：タイトル行の各項目上でマウスでクリックすると、昇順・降順のソートが行えます。
- フィルタ：タイトル行の下向き▽をクリックすると表示された対象に対してフィルタを設定することができます。表示された項目を選択するか、文字入力フィールドに、絞り込みたい文字を入力することでフォルダ設定が可能です。



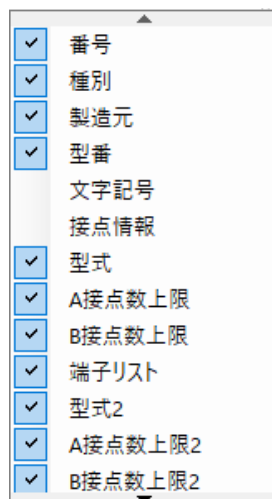
- メニュー：タイトル行の「番号」～「回路図」までのタイトル行部分をマウスで右クリックすると、以下のようなメニューが表示されます。



- 列の表示切替：カタログ内で項目を表示するか否かの設定を行います。

チェック無：非表示にする。

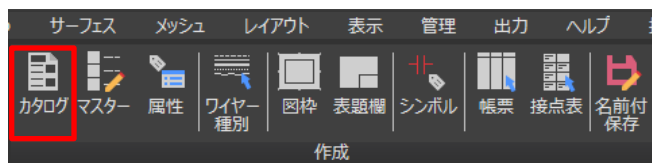
チェックあり：表示する。



- すべてのフィルタをクリア：
設定したフィルタ設定されている設定を全て解除します。
- この列で固定：
選択している項目までが固定表示され、以降はスクロール表示となります。（画面表示時のみ、閉じると解除）
- すべての固定を解除：
固定設定解除します。

6-2. 登録済みのカタログ情報の編集

① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「カタログ」を選択します



「カタログ」ダイアログが表示されます。

② 編集したい機器を探します

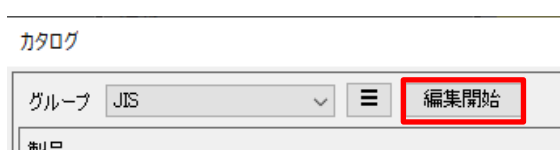
製品のタイトル行の で表示される商品を絞り込むことができます。

また、[Ctrl] と [F] を同時に押すことで、「型番検索」ダイアログが表示され、該当する型番の機器を探することができます。

③ 編集したい機器が見つかったら、機器情報を選択します

選択している行が青く表示されます。

④ 「編集開始」をクリックします



以下、編集したい内容の操作手順へ進んでください。

6-2.1 新しく機器情報・付属品情報を登録する

- ① 「編集開始」をクリックし、各エリアの一番下の空白行にタイトル行に沿った内容の情報を入力して下さい。番号は、自動発番されます

番号	種別	製造元	型番	文字記号	接点情報	型式
2918	インバータ	三菱電機	FR-A846-30K	INV		
2919	インバータ	三菱電機	FR-A846-37K	INV		
2920	インバータ	三菱電機	FR-A846-45K	INV		
2921	インバータ	三菱電機	FR-A846-55K	INV		
2922	インバータ	三菱電機	FR-A846-75K	INV		
2923	インバータ	三菱電機	FR-A846-90K	INV		
2924	インバータ	三菱電機	FR-A846-110K	INV		
2925	インバータ	三菱電機	FR-A846-132K	INV		
2926						

- ② 「更新」をクリックします

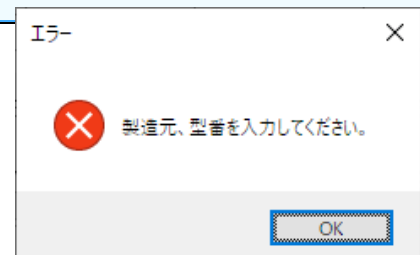
修正を取りやめたいときは「キャンセル」をクリックしてください。

行を選択してコピー、貼り付けはできません。

6-2.2 登録済み機器情報・付属品情報の内容を変更する

- ① 情報を修正します

編集の際、製品および付属品内の「製造元」
「型番」を空白にして更新をすることはできません。



② 「更新」をクリックします

修正を取りやめたいときは「キャンセル」をクリックしてください。

6-2.3 登録済み機器情報を削除する

① 削除したい機器を選択していることを確認して、製品欄の「削除」をクリックします

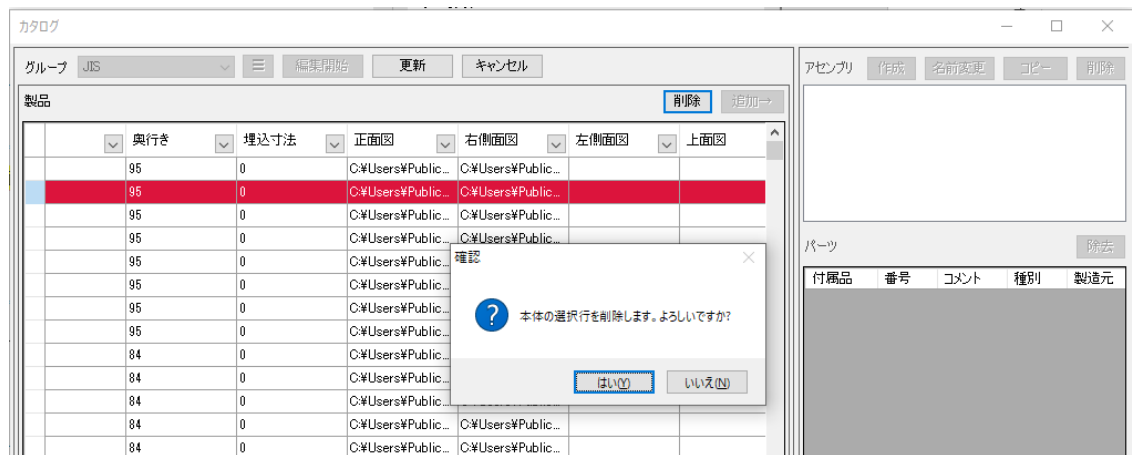


「Shift」キーでの複数行および「Ctrl」キーでの選択も可能です。

「確認」ダイアログが表示されます。

② 選択行が削除したい機器であることを確認後、「はい」をクリックします

削除予定の行が赤く表示されています。

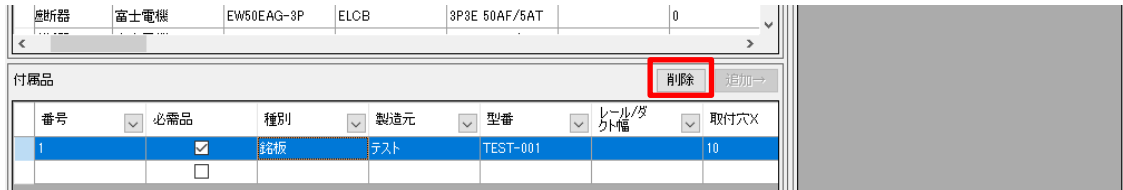


③ 「更新」をクリックします

修正を取りやめたいときは「キャンセル」をクリックします。

6-2.4 登録済みの付属品を削除する

- ① 削除したい付属品を選択していることを確認して、付属品欄の「削除」をクリックします

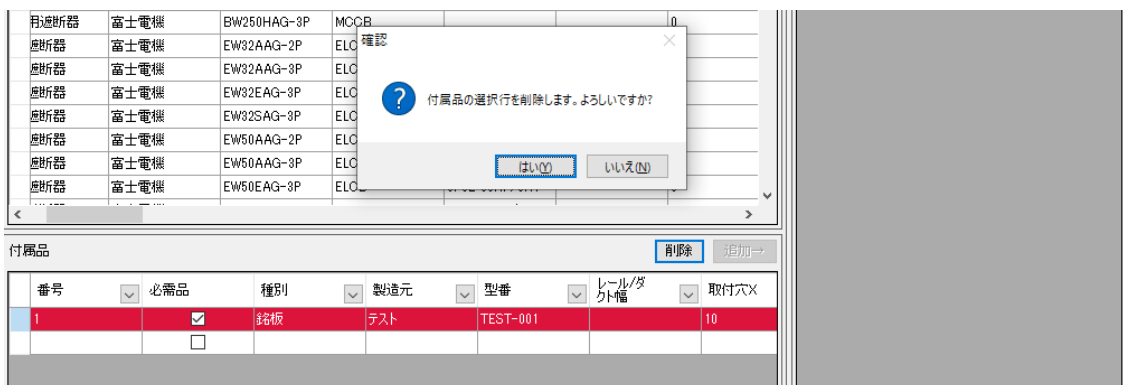


「Shift」キーでの複数行および「Ctrl」キーでの選択も可能です。

「確認」ダイアログが表示されます。

- ② 選択行が削除したい付属品であることを確認後、「はい」をクリックします

削除予定の行が赤く表示されています。



- ③ 「更新」をクリックします

修正を取りやめたいときは「キャンセル」をクリックします。

6-3. 付属品について

付属品は、アセンブリへ機器本体とセットで登録することで、帳票出力の部品表・部品集計表へ書き出すことができます。

製品情報と同様に事前に登録が必要となります。

カタログの「編集開始」からの登録、削除の操作になります。

付属品							追加→
番号	必需品	種別	製造元	型番	レール/ダ クト幅	取付	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05			
2	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05-E			
3	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05-PU			
4	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2R-05P			
5	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2R-057P			
6	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2R-05A			
7	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-08			
8	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-08-E			
9	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-08-PU			
10	<input type="checkbox"/>	取り付け金具	オムロン	P2R-P			

一番下の空白行にタイトル行に沿った内容の情報を入力して下さい。

番 号 : 自動発番されます。

必需品 : チェック付き : アセンブリに登録された際に必ず付属品となります。

: チェック無し : アセンブリに登録された際に、属性編集内で、機器の情報を「カタログとリンク」からアセンブリを選択した際に、「付属品設定」から付属品を「有無」を任意に設定可能となります。

次ページをご参照ください。

① カタログに以下のようなアセンブリが登録されている場合

カタログからアセンブリに以下のように登録されている機器を選択した場合。

The screenshot shows the IJCAD software interface with the following components:

カタログ (Catalog) - 製品 (Products)

番号	種別	製造元	型番	文字記号	接点情報	型式
1	配線用遮断器	富士電機	BW250EAG-2P	MCCB		
2	配線用遮断器	富士電機	BW250EAG-3P	MCCB		
3	配線用遮断器	富士電機	BW250JAG-2P	MCCB		
4	配線用遮断器	富士電機	BW250JAG-3P	MCCB		
5	配線用遮断器	富士電機	BW250RAG-2P	MCCB		
6	配線用遮断器	富士電機	BW250RAG-3P	MCCB		
7	配線用遮断器	富士電機	BW250HAG-2P	MCCB		
8	配線用遮断器	富士電機	BW250HAG-3P	MCCB		
9	漏電遮断器	富士電機	EW32AAG-2P	ELCB	2P2E 32AF/20AT	
10	漏電遮断器	富士電機	EW32AAG-3P	ELCB	3P3E 32AF/15AT	

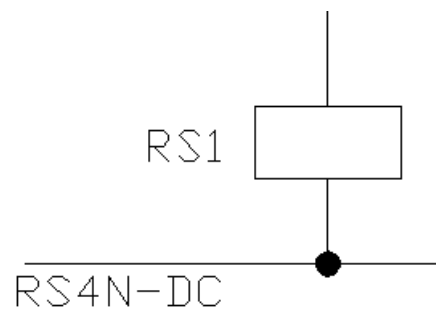
カタログ (Catalog) - 付属品 (Attachments)

番号	必需品	種別	製造元	型番	レール/ダクト外径	取付
1	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05		
2	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05-E		
3	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット				
4	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット				
5	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット				
6	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット				
7	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット				
8	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット				
9	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット				
10	<input type="checkbox"/>	取りつけ金具				

アセンブリ (Assembly) - 付属品 (Attachments)

付属品	番号	コメント	種別	製造元	型番	定数
いいえ	2623		ミニパワーリレー	オムロン	MY4	AC1
はい	1	必需品	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05	
はい	10		取り付け金具	オムロン	P2R-P	
はい	11		保持金具	オムロン	PYC-A1	
はい	18		端子カバー	オムロン	Y92A-48G	

② シンボルに上記①のアセンブリ「MY4」を選択します



「属性編集」ダイアログ内の右下の「付属品設定」ボタンがアクティブになります。

属性編集 (AXR_S1_H)

表示	属性名	属性値	高さ
<input checked="" type="checkbox"/>	器具番号	RS1	2.5
<input type="checkbox"/>	ロケーション	LOC1	2.5
<input type="checkbox"/>	メーカー	オムロン	2.5
<input type="checkbox"/>	型番	MY4	2.5
<input type="checkbox"/>	リファレンス		2.5
<input type="checkbox"/>	A接点数上限	4	2.5
<input type="checkbox"/>	A接点数上限2	0	2.5
<input type="checkbox"/>	B接点数上限	4	2.5
<input type="checkbox"/>	B接点数上限2	0	2.5
<input type="checkbox"/>	文字記号	SR	2.5
<input type="checkbox"/>	グループNo		2.5
<input type="checkbox"/>	接点モデル	型式4C	2.5
<input type="checkbox"/>	接点モデル2		2.5
<input type="checkbox"/>	端子リスト	P,13,14;C,9,1,5;C,10,2,6;C,11,...	2.5
<input type="checkbox"/>	端子リスト2		2.5
<input type="checkbox"/>	定格	AC100/110	2.5
<input checked="" type="checkbox"/>	端子番号01		1.5
<input checked="" type="checkbox"/>	端子番号02		1.5

Group	Index	種別	端子リスト
Coil1		コイル	13,14
Coil1	1	C接点(A)	9,1,5
Coil1	1	C接点(B)	9,1,5
Coil1	2	C接点(A)	10,2,6
Coil1	2	C接点(B)	10,2,6
Coil1	3	C接点(A)	11,3,7
Coil1	3	C接点(B)	11,3,7
Coil1	4	C接点(A)	12,4,8
Coil1	4	C接点(B)	12,4,8

プライマリー
 器具番号カウントアップ

③ 「付属品設定」をクリックします

「付属品設定」ダイアログが表示されます。

付属品設定

番号	必需品	あり	種別	製造元	型番	レール/ダクト幅	レール厚み
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05		
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	取り付け金具	オムロン	P2R-P		
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保持金具	オムロン	PYC-A1		
18	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	端子カバー	オムロン	Y92A-48G		

カタログ内（赤い矩形内）で、必須項目にチェックをいれた付属品は、横の「あり」項目にもチェックが入っており外せません。

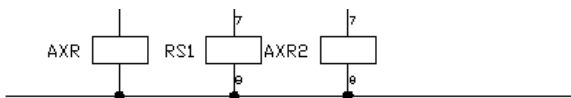
カタログ内で、必需品にチェック無しで、アセンブリに登録したもの（**オレンジの矩形内**）は、このダイアログ内で、「有無」の設定ができます。必要であればこの「付属品設定」ダイアログ内で「あり」にチェックをいれてください。

④ 「確定」をクリックします

「付属品設定」ダイアログ内での「付属品」の有無の設定が、できたら「確定」ボタンをクリックしてください。「属性編集」ダイアログに戻ります。

このようにアセンブリを登録しシンボルに割り当てることにより、カタログ登録されている付属品を帳票出力の「部品表」「部品集計表」で書き出す情報を登録することができます。

下図の例では、属性編集で「RS1」の3つチェックした付属品が、部品表作成で対象機器の下に3行分書き出されています。



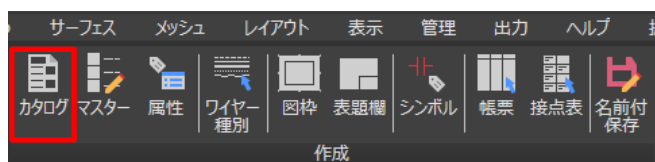
No	数	部品番号	ロケーション	メーカー	型番	定格
1	1	AXR		富士電機	RS4N-DY	DC5V
2	1	RS1		オムロン	MY4	AC24
3	1			オムロン	P2RF-Q5	
4	1			オムロン	P2R-P	
5	1			オムロン	PYC-A1	
6	1	AXR2		オムロン	LY2	AC12

6-4. アセンブリの作成

機器本体とセットで使用する付属品をアセンブリとして登録することができます。

事前に製品情報・付属品情報の登録が必要となります。

① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「カタログ」を選択します



「カタログ」ダイアログが表示されます。

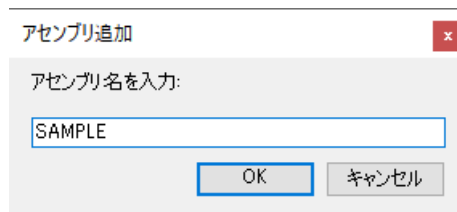
② アセンブリの「作成」をクリックします



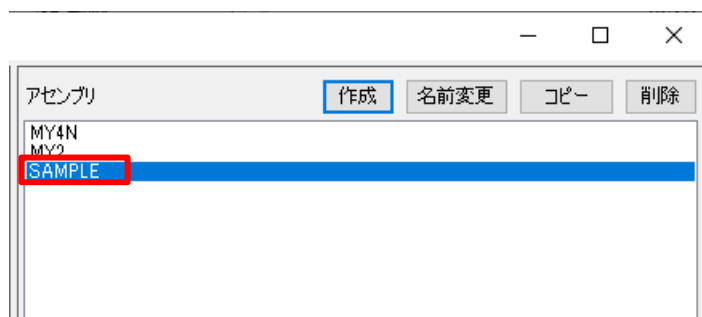
「アセンブリ追加」ダイアログが表示されます。

③ アセンブリ名を入力します

アセンブリ名を入力後、「OK」をクリックします。



アセンブリー一覧にアセンブリが新規追加されます。



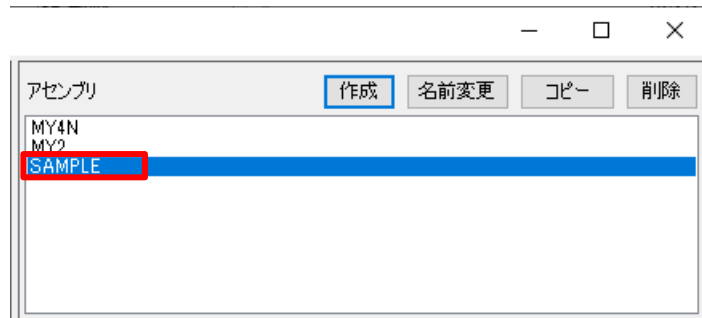
④ 製品・付属品情報を登録したいアセンブリ名を選択します

選択しているアセンブリ名が青く表示されます。

⑤ アセンブリに製品を追加します

1. アセンブリに追加したい製品を選択します。

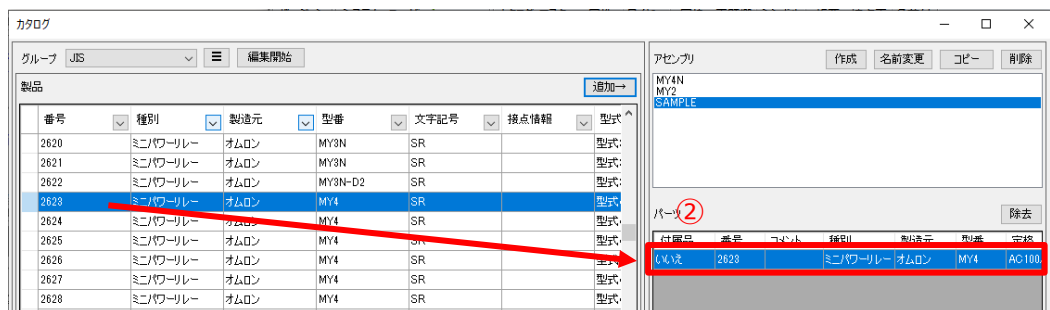
選択している行が青く表示されます。



2. 製品欄で、製造元や種別を絞り込み、対象の機器を選択①して青く表示させ「追加」をクリックします。

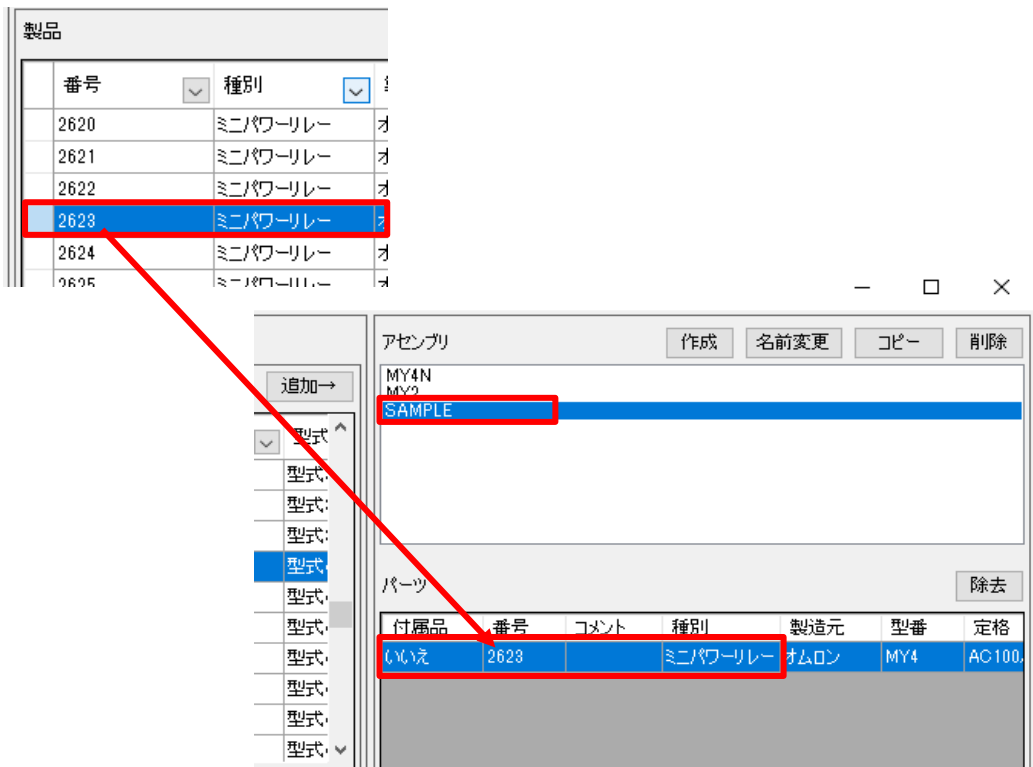


3. パーツの部分に追加した製品情報②が追加表示されます。



※アセンブリには製品を1つのみ登録できます。パーツ内の「付属品」項目では、「いいえ」と表示されます。

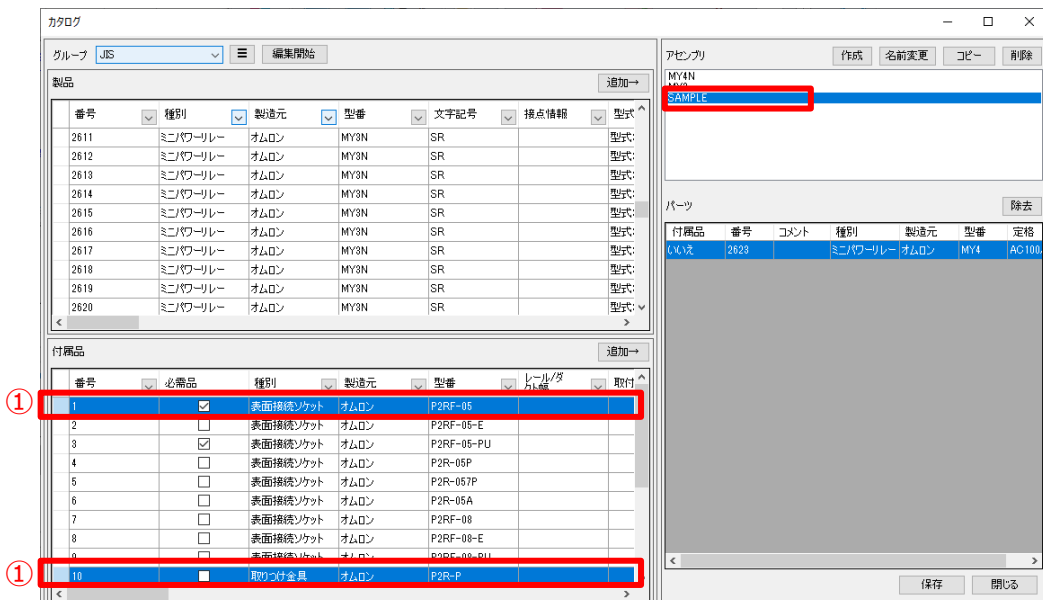
※「付属品」ではないので「いいえ」と表示しています。



⑥ アセンブリに付属品を追加します

1. 選択したアセンブリに追加したい付属品を選択します。

選択①している行が青く表示されます。



2. 付属品欄の「追加」をクリックします。

付属品							追加→
番号	必需品	種別	製造元	型番	レール/ダクト幅	取付	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05			
2	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05-E			
3	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05-PU			
4	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05P			

3. アセンブリで選択されているパーツ一覧の部分に追加した付属品②製品情報が追加表示されます。

カタログ

グループ JIS 編集開始

製品

番号	種別	製造元	型番	文字記号	接点情報	型式
2611	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:
2612	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:
2618	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:
2614	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:
2615	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:
2616	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:
2617	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:
2618	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:
2619	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:
2620	ミニパワーリレー	オムロン	MY3N	SR		型式:

付属品

番号	必需品	種別	製造元	型番	レール/ダクト幅	取付
1	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05		
2	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05-E		
3	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05-PU		
4	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05P		
5	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-057P		
6	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05A		
7	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-08		
8	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-08-E		
9	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	P2RF-08-PU		
10	<input checked="" type="checkbox"/>	取り付け金具	オムロン	P2R-P		

アセンブリ

MY4N
MY2
SAMPLE

パーツ

付属品	番号	コメント	種別	製造元	型番	定価
はい	1		表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05	
はい	10		取り付け金具	オムロン	P2R-P	

②

保存 閉じる

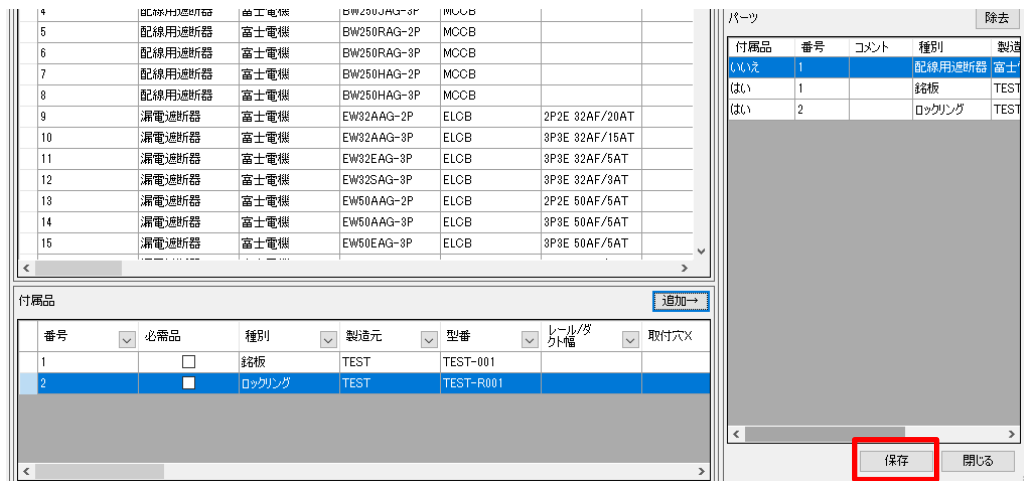
※付属品はアセンブリに複数登録することができます。パーツ内の「付属品」項目では、「はい」と表示されます。

※「付属品」ですので「はい」と表示しています。

付属品				
番号	必需品	種別	製造元	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	
2	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	
4	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	
5	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	
6	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	
7	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	
8	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	
9	<input type="checkbox"/>	表面接続ソケット	オムロン	
10	<input type="checkbox"/>	取りつけ金具	オムロン	

アセンブリ						
作成 名前変更 コピー 削除						
MY4N MY2						
SAMPLE						
パーツ 除去						
付属品	番号	コメント	種別	製造元	型番	定格
はい	2623		ミニパワーリレー	オムロン	MY4	AC10
はい	1		表面接続ソケット	オムロン	P2RF-05	
はい	10		取りつけ金具	オムロン	P2R-P	

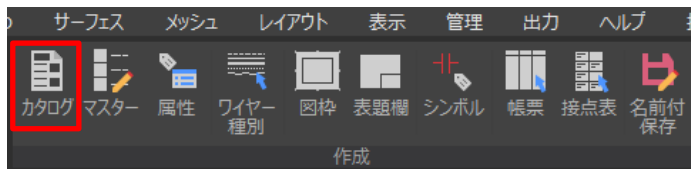
⑦ パーツ内容を登録後「保存」をクリックして、アセンブリを登録します



シンボル配置または属性編集などで、「カタログとリンク」からカタログ情報を選択する際に、アセンブリリストから選択することが可能となります。

6-5. 外部データのインポート

① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「カタログ」を選択します



「カタログ」ダイアログが表示されます。

② 「インポート」をクリックします

インポートする対象のグループを選択しておき「編集開始」の左のボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されるので、「インポート」を選択します。



「開く」ダイアログが表示されます。

③ インポートしたいデータファイルを選択します

「開く」ダイアログが表示されますので、ファイル名の右にあるファイルの種類を選択後、対象のファイルを選択して開きます。



- Sqlite3 ファイル (*.Sqlite3) : Sqlite3 ファイル形式で、データベースファイル
- Excel ファイル (*.xlsx, *.xls, *.xlsm) : EXCEL 形式で、表タイプのファイル

インポートするデータは、IJCAD Electrical 用の書式である必要があります。

また、エクスポートしたデータを編集する際には、下記の点にご注意ください。

IJCAD Electrical 用の書式列の削除

- ・ タイトル行の名称、シート名称の変更
- ・ 製造元、型番の未記入
- ・ 空白スペースの使用

インポート時にエラーとなり、データベースへの登録に失敗する原因となります。

データ内の「番号」は、既存データベース内に同じ番号があれば、その対象行は上書きされます。

「番号」が空白の場合は、データベースの末尾に追加で登録されます。

6-6. ダウンロードした機器のカタログデータ関連について

ダウンロードしてお使いいただける機器のカタログ関連は、ダウンロードしていただく
と圧縮ファイル内に IJE 用の外形図とカタログへのインポート用 EXCEL ファイルが保
存されています。

外形図 : 正面図や側面図などの外形図で、シンボルの保存先へ、①

EXCEL : カatalogデータベースへインポートしていただけるフォーマットファイル。②
外形図と共にカタログ情報もご利用の場合は、前頁 6-5 で、記述した手順で、
インポートしてください。

EXCEL データは、機器情報が一覧で記入されており、機器に外形図形がある
場合その保存先のパスも記入されています。

EXCEL 内に記載されている正面図用の保存先パスの例ですが、解凍した外形図データは、この記載の保存先パスにコピーしてください。

AR	
正面図	右側面図
C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\外形機器\オムロン\一般リレー\LY1F\LY1F_F.dwg	C:\Users\F
C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\外形機器\オムロン\一般リレー\LY1F\LY1F_F.dwg	C:\Users\F
C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\外形機器\オムロン\一般リレー\LY1F\LY1F_F.dwg	C:\Users\F
C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\外形機器\オムロン\一般リレー\LY1F\LY1F_F.dwg	C:\Users\F

外形図のコピー前、EXCEL データのインポート前

事前に、次頁の設定先にあるデータ①②をバックアップしてください。外形図については、更新している外形図形などがある場合で、対象になる可能性があるファイルなどをお願いします。

システム設定

パス設定 接頭語 図枠

データベース

マスター C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\IJE_Master.sql 参照

カタログ ② C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\IJE_Catalog.sql 参照

参照パス

シンボル ① C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\シンボル 参照

接点表 C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\接点表 参照

記入されているパスは、IJE を既定値でインストールした場合の既定値のパスとなっております。シンボルの保存先パスは、IJEConfig タブ>環境設定>システム設定>パス設定>シンボル参照パス の指定先パスです。

保存先を任意に変更されている場合は、お手数ですが、インポート前に EXCEL 内の外形図の登録先パスを、変更先のパスにしてからインポートを行い、外形図形のコピーを行ってください。

通常の既定値の外形図のコピー先は、

C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\外形機器

に各メーカー名のサブフォルダが作成されており、ツリー構造になります。

6-7. カタログ内各項目用途について

【製品】

- 番号：カタログの通し番号（自動発番）※行削すると抜け番になる。※1
- 種別：カタログ種別（押しボタン、遮断器、インバータ等の種類名称）
- 製造元：製造元（入力必須項目）※2
- 型番：製品型番、型式（入力必須項目）※2
- 文字記号：製品の文字記号（省略文字記号）
- 接点情報：接点構成や接点数等ある場合に記載。1a や 4a4b 等使用接点情報（任意）
- 型式：リレーに使用する場合の接点表型式名.dwg 名称を設定する（.拡張子不要）※3
- A 接点数上限：リレーで使用する場合の A 接点の使用可能上限数（半角数値）
- B 接点数上限：リレーで使用する場合の B 接点の使用可能上限数（半角数値）
- 端子リスト：リレー及び使用する場合の接点の端子番号をルールに従い記入する
 - 「P」続けて、端子番号をカンマで、区切り記入する。（半角英数）※4
- 型式 2：MS に使用する場合の接点表型式.dwg 名称を設定する（.拡張子不要）※3
- A 接点数上限 2：MS で使用する場合の補助 A 接点の使用可能上限数（半角数値）
- B 接点数上限 2：MS で使用する場合の補助 B 接点の使用可能上限数（半角数値）
- 端子リスト 2：MS 及び使用する場合の補助接点の端子番号をルールに従い記入する。
 - 「M」続けて、端子番号をカンマで、区切り記入する。（半角英数）※4
- レール/ダクト幅：機器シンボルのレール又はダクトシンボル配置時に、「カタログとリンク」を割り当てた際に、作図する幅。（半角数値）※5
- 取付穴 X：レール又はダクト作図時の挿入基点からの取り付け穴の X 座標値（半角数値）※5
- 取付穴 Y：レール又はダクト作図時の挿入基点からの取り付け穴の Y 座標地（半角数値）※5
- 取付穴直径：レール又はダクト作図時の取り付け穴の直径（円の作図のみ）※5
- 取付穴間隔：レール又はダクト作図時の取り付け穴の配置間隔※5
- 定格：製品の定格情報、任意（例：定格電圧（V））※6
- 定格 1：製品の定格情報、任意（例：定格電流（A））※6
- 定格 2：製品の定格情報、任意（例：容量）※6
- 定格 3：製品の定格情報、任意
- 定格 4：製品の定格情報、任意（例：極数）※6

- 定格 5：製品の定格情報、任意
- ユーザ定義 1～ユーザ定義 7：任意
- ユーザ定義 8：取付方法（例：ネジ取付、レール取付等）※6
- ユーザ定義 9：製品シリーズ内のカテゴリ※6
- ユーザ定義 10：製品シリーズ名※6
- 芯数：未使用
- 線色：未使用
- 信号名：未使用
- レール/ダクト厚み：未使用
- 幅：外形機器の正面配置時の幅（mm）※7
- 高さ：外形機器の高さ（mm）※7
- 奥行き：外形機器の正面から奥行（mm）※7
- 埋込寸法：外形機器の取り付け位置からの埋め込み寸法（mm）
 - 面取付時は「0」又は未記入※7
- 正面図：正面用の外形機器 dwg のフルパスを記入
- 右側面図：右側面用の外形機器 dwg のフルパスを記入※8
- 左側面図：左側面用の外形機器 dwg のフルパスを記入※8
- 上面図：正面用の外形機器 dwg のフルパスを記入※8
- 廃番：製造元等の廃盤情報が、解る場合は✓を付ける
- 回路図：回路シンボルまたはパターンファイルのパスを記入※9

※1：カタログエクスポート時にも書き出し対象で、インポート時に同じ番号行がある場合は、上書きされる。

※2：必須入力項目

※3：「IJEConfig>環境設定>システム設定」コマンド内の接点表参照パスに対象の接点表（型式用）dwg が、保存されていること。

※4：詳しくは、IJCAD_Electrical_2025_基本マニュアル内の 12-1. 接点表作成項を参照。記入、使用は任意。

※5：ダクト/レール幅～取付穴間隔については、シンボル配置時に「カタログとリンク」から設定されているカタログ製品を選択した場合にのみ機能する。

※6：ダウンロードカタログ内での記載項目。記入、使用は任意です。

- ※7： PRO 製品内で、回路シンボルに「カタログとリンク」から選択する対象情報に対して設定してある場合に、干渉チェック及び DB マネージャを使用して、筐体（作図オプション全作図として）、中板を作成。機器シンボル挿入の際に干渉チェックに使用する。
機器シンボル挿入の際に、配置した外形シンボルに側面図や上面図のフルパス指定が無い場合は、正面時を利用して、側面図や上面図の矩形を作画する。
- ※8： PRO 製品内で、回路シンボルに「カタログとリンク」から選択する対象情報に対して設定してある場合に、DB マネージャを使用し、筐体（作図オプション全作図として）、中板を作成。機器シンボル挿入の際に、配置した外形シンボルに側面図や上面図のフルパス指定がある場合は、正面図に対して側面図や上面図を自動配置する。
左右の側面のどちらかフルパス指定が無い場合は、フルパス指定されている図形を反転して配置する。
フルパス指定が無い場合は、※7 の設定値で矩形を作画する。
上面図も同様に、下面図のフルパス設定項目が無くても、筐体で作図オプション内の上面・下面を指示している場合は、上面図のフルパス有の場合は下面に反転して配置する。フルパス指定が無い場合は、※7 のサイズで、矩形を作画する。
- ※9： 筐体内の機器シンボルに属性編集でカタログとリンクし、回路図に回路シンボル又はパターンファイルのパスの設定がある場合、「IJE」タブ→「シンボル」→「機器参照」コマンドの実行で、登録されたリストから回路シンボルを配置することができる。

【付属品】（カタログとリンクから選択不可）

- 番号：カタログの通し番号（自動発番）※行削すると抜け番になる。※1
- 必需品：製品の必須付属品の場合にチェックする
- 種別：カタログ種別（取り付け金具、表面接続ソケット、フロントカバー等の種類名称）
- 製造元：製造元（入力必須項目）※2
- 型番：製品型番、型式（入力必須項目）※2
- レール/ダクト幅：任意、値は、製品同様での記入値、配置時に、この項目での作画は行わない
- 取付穴 X：任意、値は、製品同様での記入値、配置時に、この項目での作画は行わない
- 取付穴 Y：任意、値は、製品同様での記入値、配置時に、この項目での作画は行わない
- 取付穴直径：任意、値は、製品同様での記入値、配置時に、この項目での作画は行わない
- 取付穴間隔：任意、値は、製品同様での記入値、配置時に、この項目での作画は行わない
- 定格：定格電圧（V）などの記載がある場合記入※3
- ユーザ定義 1：製品シート「ユーザ定義 10」のシリーズ名※3
- ユーザ定義 2：機器本体の型番名（シリーズの中で特定の機器本体のみ使用している場合、機器本体の型番名を入力）※3
- ユーザ定義 3：取付方法、任意※3
- ユーザ定義 4～ユーザ定義 10：任意

- 芯数：未使用
- 線色：未使用
- 信号名：未使用
- レール/ダクト厚み：未使用
- 幅：製品との合体サイズの幅がわかる場合は記入※4
- 高さ：製品との合体サイズの高さがわかる場合は記入※4
- 奥行き：製品との合体サイズの奥行きがわかる場合は記入※4
- 埋込寸法：製品との合体サイズの埋め込み寸法がわかる場合は記入※4
- 正面図：製品との合体した正面用の外形機器 dwg がある場合はフルパスを記入※5
- 右側面図：製品との合体した右側面図用の外形機器 dwg がある場合はフルパスを記入※5
- 左側面図：製品との合体した左側面図用の外形機器 dwg がある場合はフルパスを記入※5
- 上面図：製品との合体した正面用の外形機器 dwg がある場合はフルパスを記入※5
- 廃番：製造元等の廃盤情報がわかる場合は✓を付ける

※1： カタログエクスポート時にも書き出し対象で、インポート時に同じ番号行がある場合は上書きされる

※2： 必須入力項目

※3： ダウンロードカタログ内での記載項目。記入、使用は任意※4： アセンブリに設定されており、かつ製品のサイズが未記入の場合は、反映

※5： アセンブリに設定されており、かつ製品のフルパスが未記入の場合は、反映

7. マスター

マスター（データベース）に、グループ（プロジェクトの作成時に使用）、文字記号（シンボル用）、図面種別（図面作成時用）、コメント（現在未使用）の情報を登録して専用コマンドで、参照できるようにします。

マスター（データベース）は、IJCAD Electrical の機能を使用するためには必ず必要なデータベースファイルです。

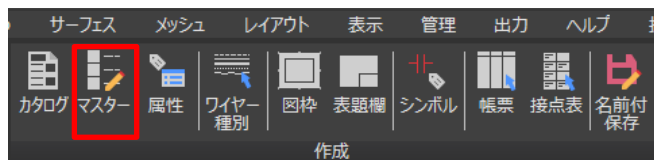
絶対に削除しないでください。

既定の保存先は以下になります。更新作業前に必ずバックアップを作成してください。

C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥IJE_Master.sqlite3

7-1. マスターの登録・編集

① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「マスター」を選択します



「マスター」ダイアログが表示されます。



各ボタンをクリックすると対象の項目の登録内容画面が表示されます。

各マスター内の各項目の登録、編集方法は共通となりますので、以下をご参照いただきそれぞれの情報を登録・編集してください。

各マスター内の情報が表示されたら、

追加登録する場合：空白行をダブルクリックして、入力可能状態にして追加する情報を入力してください。

登録内容を編集する場合：記入済み行をダブルクリックして、内容を編集してください。

行自体が不要な場合：不要な行を選択しておいて、キーボードの「DEL」キーを押すと行自体が削除されます。

登録する場合：各項目供、編集すると右下に「登録」ボタンがアクティブ化されますのでクリックして登録の実行を行ってください。マスター（データベース）に登録されます。

継続して他のマスター項目を編集する場合：「登録」後に、その他のマスター項目ボタンをクリックして引き続き行ってください。（「登録」ボタンをクリックせずに、他の項目をクリックすると確認画面が表示され、「はい」とすれば、編集項目は、破棄されます。）

終わる場合：「閉じる」ボタンをクリックするとマスター画面が終了し登録作業が終了します。

7-2. グループの登録・編集

プロジェクト作成時のグループ（規格）用リストです。

プロジェクト設定

プロジェクト設定 線番 形式 接点表

名称

図面保存先 C:\Users\test-user\Documents\IJCAD Electrical\IJE勉強会

既存プロジェクトから設定をコピー

属性

基本属性 花丸電機

属性情報 基本

属性 属性値

グループ

JIS

JIS

IEC

説明

① 「グループ」をクリックします

登録内容一覧が表示されます。

マスター

StandardName

JIS

IEC

グループ

文字記号

図面種別

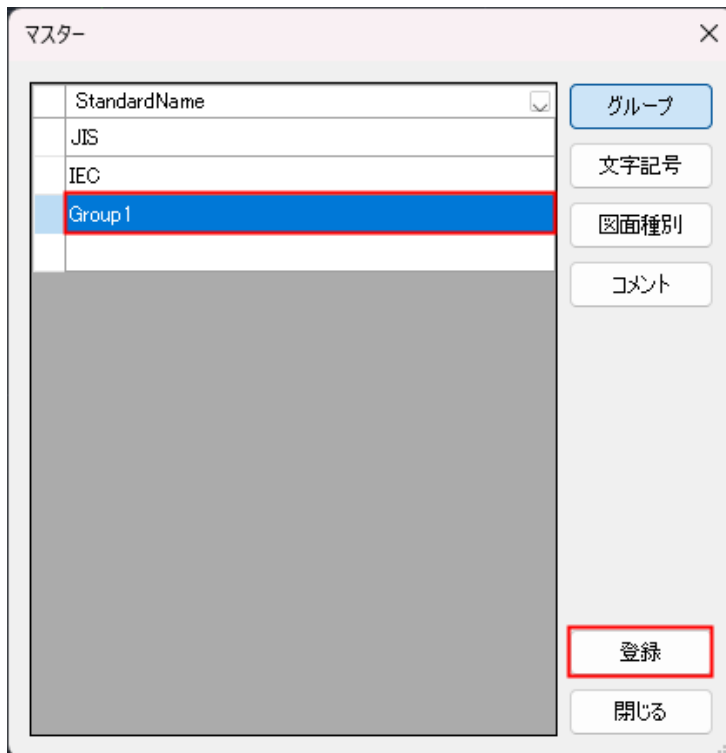
コメント

登録

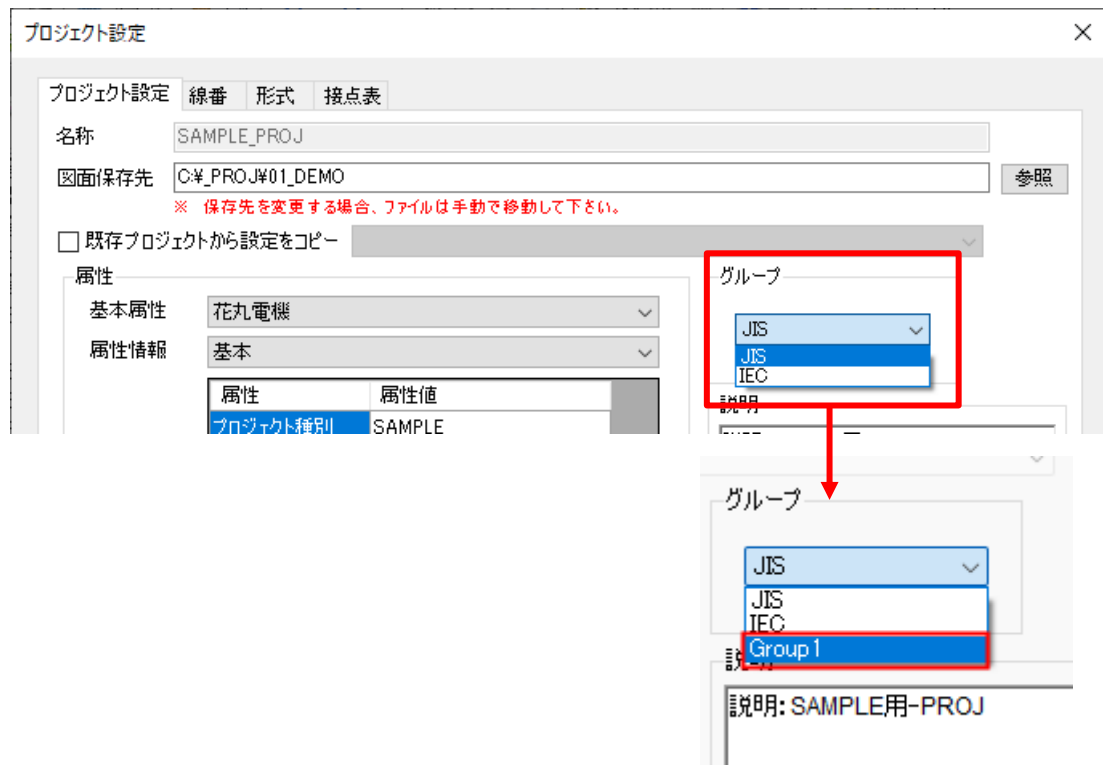
閉じる

② 「グループ」を登録、編集します

必要な操作を行い登録してください。

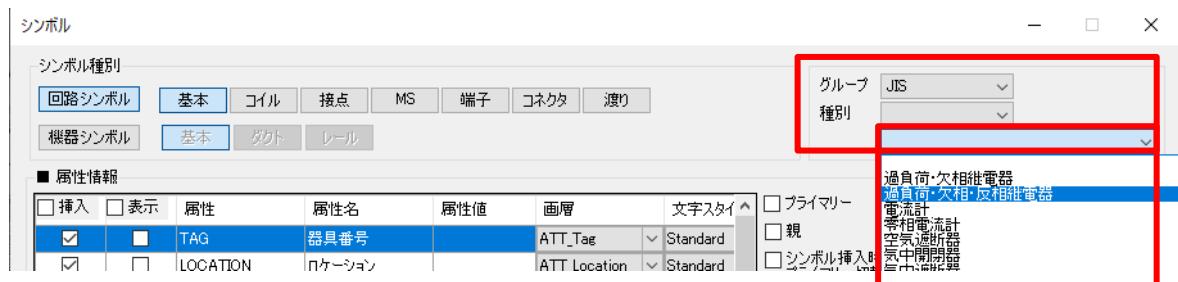


使用先は、プロジェクトの「グループ」エリアのリストになります。



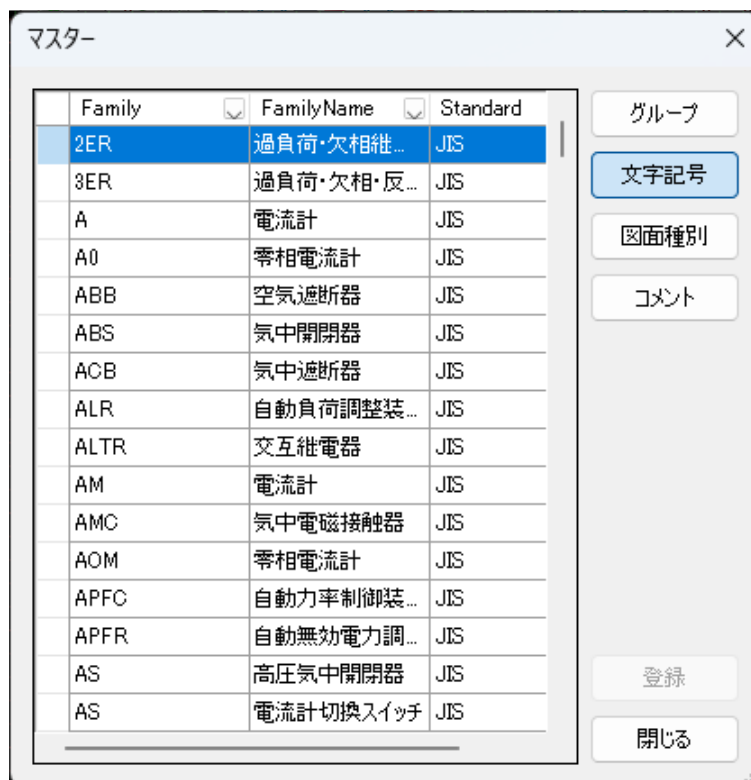
7-3. 文字記号の登録・編集

シンボル作成の文字記号用リストです。



① 「文字記号」を選択します

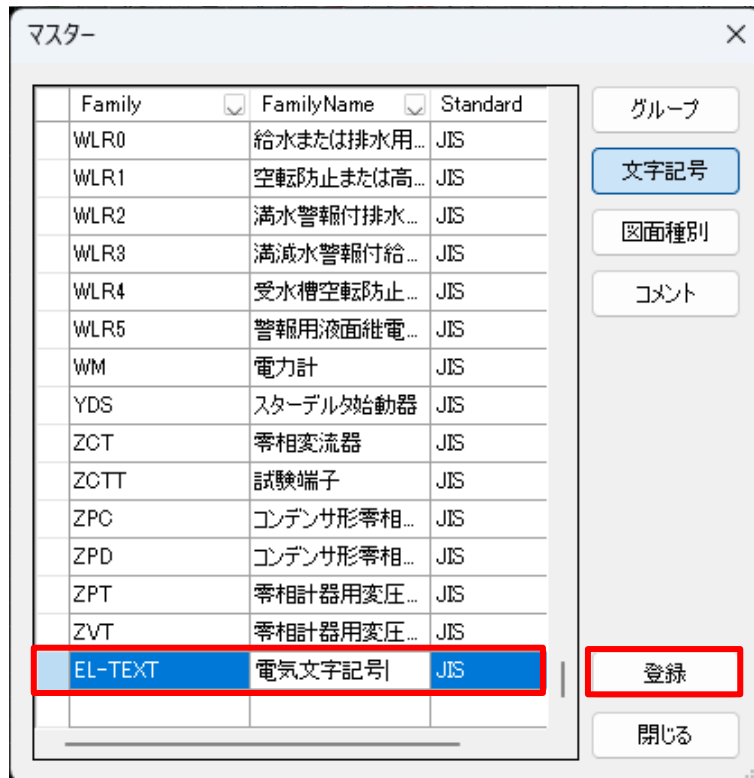
登録内容一覧が表示されます。



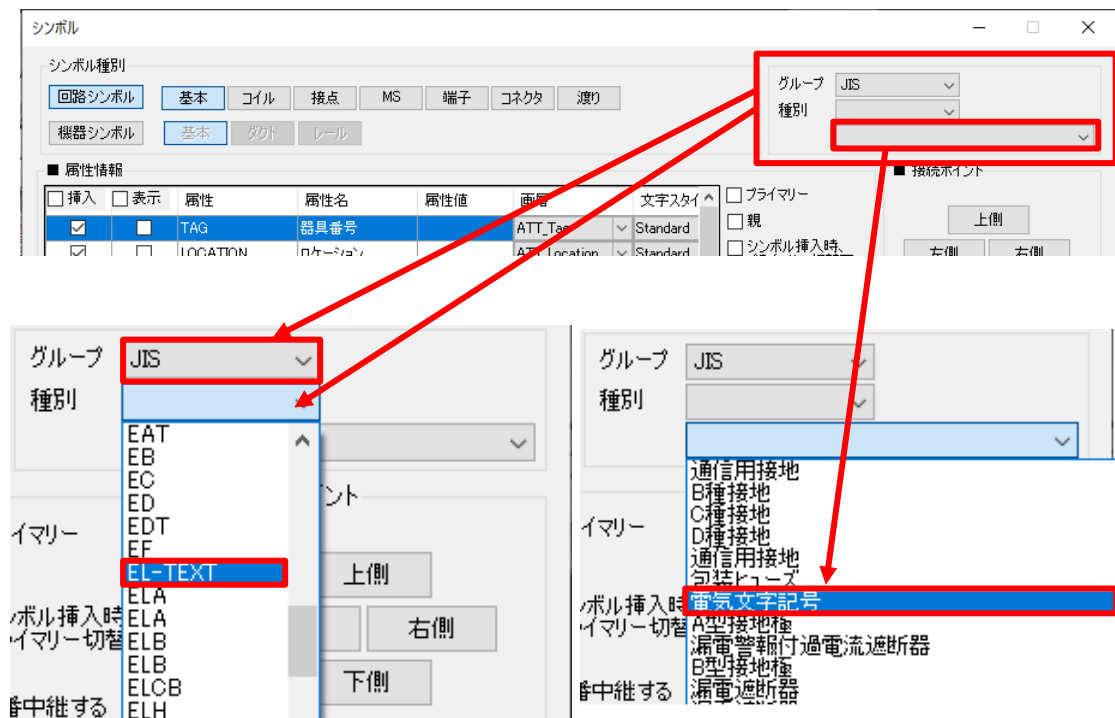
- Family : シンボル種別の識別子 (電気用文字記号)
- FamilyName : シンボル種別の種類 (電気用文字記号の日本語名称)
- Standard : 規格種類 (JIS : 日本工業規格/IEC : 国際電気標準会議など)

② 「文字記号」を登録、編集します

必要な操作を行い登録してください。

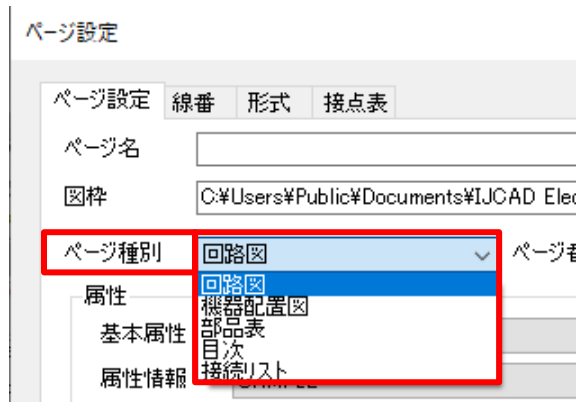


使用先は、シンボル登録時のシンボルの「グループ」「種別」エリアの「文字記号」リストになります。



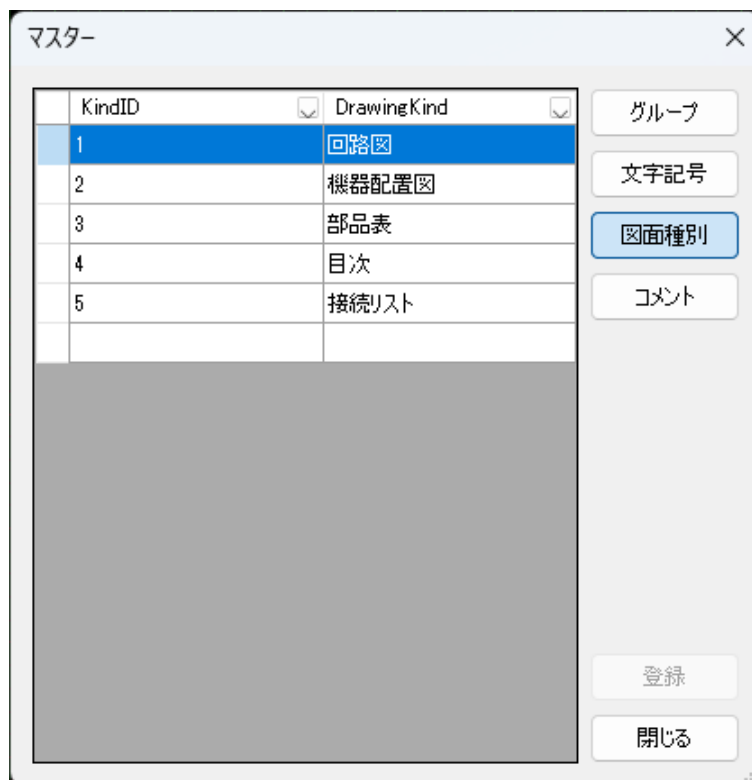
7-4. 図面種別の登録・編集

ページ設定内の図面の種類用リストです。



① 「図面種別」を選択します

登録内容一覧が表示されます。



- KindID : 図面種別（ページ設定内の「ページ種別」）に割り振られる番号。AutoNo ではないので、既存番号と重複しない番号を任意に記入してください。
- DrawingKind : 図面種別名、記入済以外の名称で登録して下さい。

② 「図面種別」を登録、編集します

必要な操作を行い登録してください。

※プロジェクトのファイル作成後に、既存の登録内容を変更しないでください。ファイルに、以下の情報が付加されるためです。

また、既定値で登録されている「KindID」5までは、システム内でも使用しているため「KindID」の番号、「DrawingKind」登録名称の登録位置の変更、内容の変更はしないでください。

ここでは、追加のみを行ってください。

「KindID」は自動発番しませんので、追番を記入の上で「DrawingKind」を設定してください。

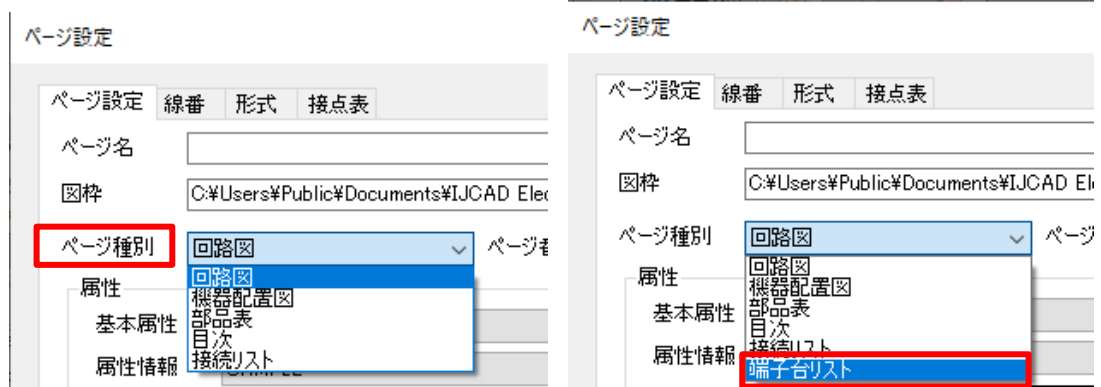
マスター

KindID	DrawingKind
1	回路図
2	機器配置図
3	部品表
4	目次
5	接続リスト
6	端子台リスト

グループ
文字記号
図面種別
コメント

登録
閉じる

登録した面種別は、プロジェクトのページ設定「ページ種別」欄で使用することができます。



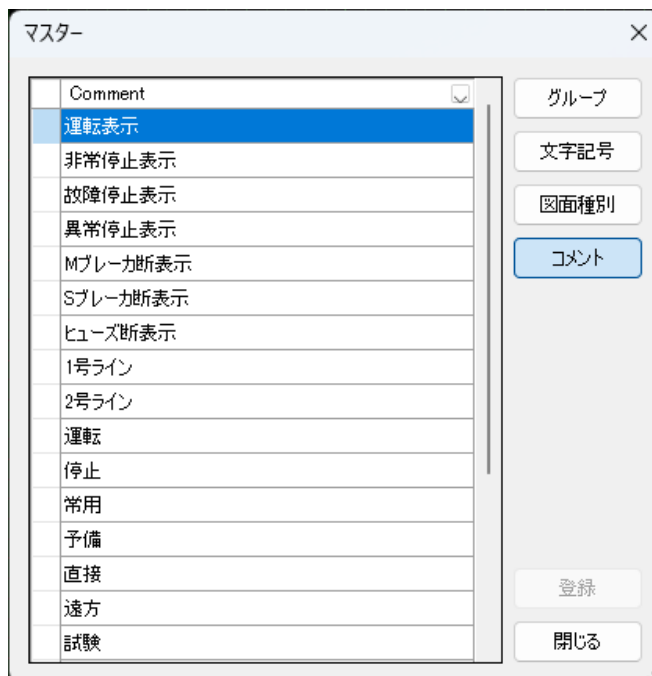
7-5. コメントの登録・編集

コメントを登録します。

現在の IJCAD Electrical では、適用される機能はありません。

① 「コメント」を選択します

登録内容一覧が表示されます。



Comment : 使用頻度の多い文字列を登録して下さい。

8. 属性

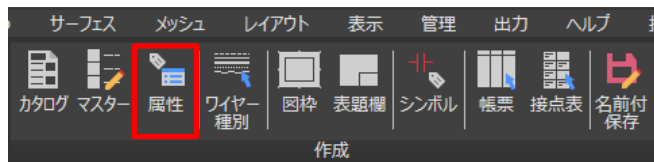
IJCAD Electrical では、プロジェクトやページを管理する上で必要な情報や、図枠の表題欄に転記するため、属性定義を設定します。

ここで設定された内容がプロジェクトやページを新規で作成した時に表示されます。

この設定は、C:\%Users%\Public\Documents\IJCAD Electrical\IJE_Master.sqlite3 に保存されます。編集前に一度バックアップを作成されることをお勧めいたします。

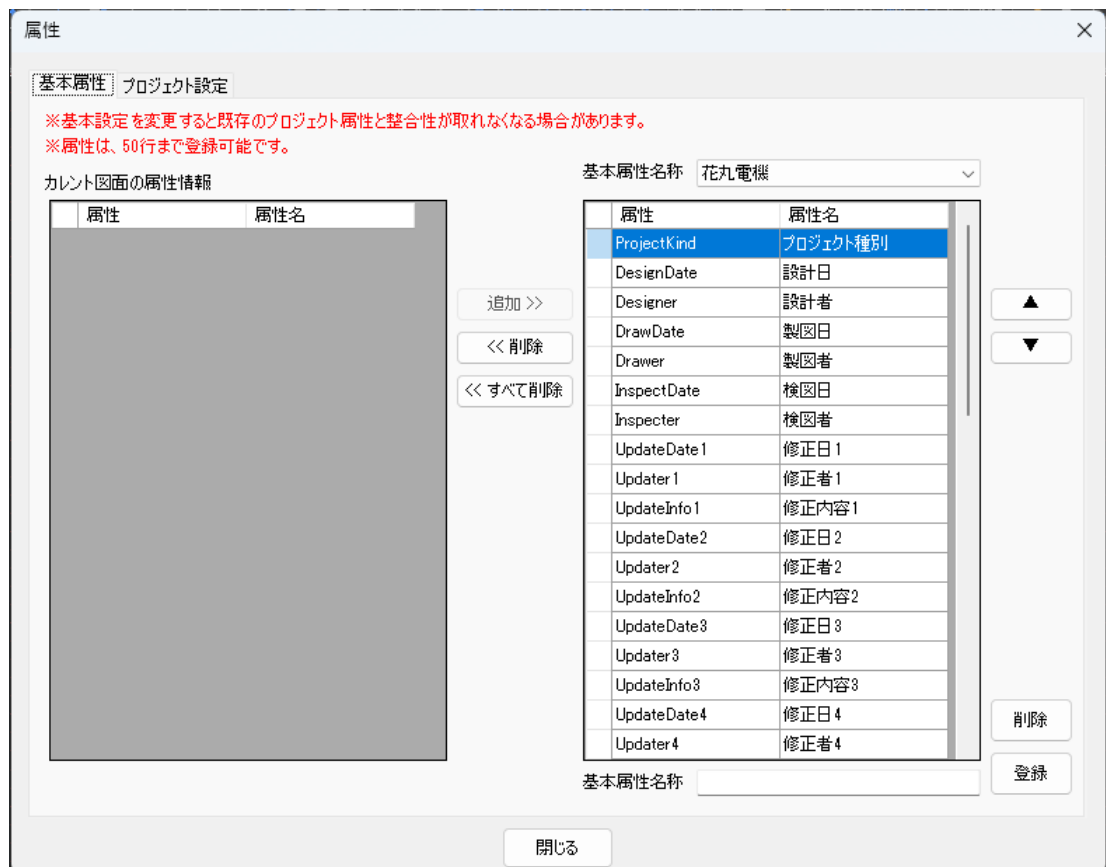
8-1. 属性 > 基本属性

① 「IJEConfig」タブ → 「作成」 → 「属性」を選択します



「属性」ダイアログが表示されます。

図枠で、使用する基本属性やプロジェクト、ページ作成時のそれぞれの情報の入力用の属性の登録、編集を行います。



② 「属性」ダイアログ内の「基本属性」タブ→「カレント図枠の属性情報」

「カレント図面の属性情報」エリアは、既存図枠を表示させて本コマンドを実行した際に、その図枠に配置されている属性が表示されます。

通常は「Drawing*.dwg」等の状態で、コマンドを実行すると何も表示されません。

以下は、図枠を開いて表示させコマンドを実行させた例ですが、IJCAD Electrical 用の専用図枠属性以外（例：赤枠内）があった場合でもその属性が表示され、右のリストに追加して登録することで、その属性を利用することができるようになります。



IJCAD Electrical 用以外の属性が付加されていて、その属性も利用したい場合は、左側に表示されている属性を選択して [追加>>] ボタンを選択します。必要なものは、順次これを繰り返し右側のリストへ追加します。

一番下に、追加されます。不要な属性は、右のリストを選択して [<<削除] または、 [<<すべて削除] で、削除します。



③ 「属性」ダイアログ内の「基本属性」タブ→「基本属性名称」

「基本属性名称」エリアは、IJCAD Electrical 用の既定の図枠属性一覧で、デフォルトのサンプルとして、「花丸電機」「三角電機」という名称が登録されています。

表示されている「属性（半角英数文字）」「属性名（半角全角の一般的な文字）」については、右側のスライダーを下にスライドすると「ユーザ定義 25」までの既定値の属性をご利用いただけます。

- 属性：属性名称で、IJCAD Electrical 用の既定値の属性であり、変更不可。
- 属性名：属性プロンプトで、任意に変更可能。

※登録属性数が 50 を超えると登録できません。

50 行以内で登録をお願いします。

セルのコピーは、属性と属性名の個別セルに記入した文字のコピー→貼り付けを行うと 1 セルに 2 セル分が貼り付けられます。コピーの際は行全体を対象にコピーしてから、貼り付け先の行全体を選択して貼り付けてください。

属性と属性名の行は、対象の行全体を選択して、キーボードの「DEL」キーで削除可能です。

既存の名称に追加する場合は、ダイアログ上部の基本属性名称リストの表示を確認し、下側の基本属性名称入力フィールドに同じ名称を記入後「登録」ボタンを押します。基本属性名称として、新しい名称を登録する場合は、右下にある基本属性名称の入力フィールドに名称（下記画像「社名-A」の位置）を入力して「登録」ボタンを押します。

UpdateDate2	修正日2
Updater2	修正者2
UpdateInfo2	修正内容2
UpdateDate3	修正日3
Updater3	修正者3
UpdateInfo3	修正内容3
UpdateDate4	修正日4
Updater4	修正者4

基本属性名称

削除 登録

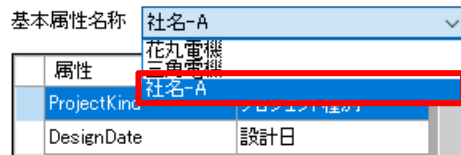
閉じる

名称を新規登録すると、上側の基本属性名称のリストにも追加されます。

「削除」ボタンを選択すると、上側の基本属性名称の入力フィールドに記入されている基本属性名称自体が削除されます。復活や元に戻す等を行う機能は有りませんので、注意して操作をお願いします。

また、「削除」で上側の基本属性名称を削除すると、既存のプロジェクトで削除した基本属性名称を使用している場合に、登録されている最上位の基本属性名称が割り当てられます。

プロジェクト設定を起動時、「OK」する前であれば、最上位以外への再設定は可能ですが、一度「OK」すると以降の変更は行えません。削除後の操作の際には、十分ご注意ください。



この基本属性を元に「プロジェクト設定」タブで、設定を行います。

8-2. 属性>プロジェクト設定

① 「プロジェクト設定」タブ

「プロジェクト設定」タブ内では、「基本属性」タブ内で設定した「基本属性」をリスト①から選択します。

①を切り替えることにより表内の「基本属性」②は、「基本属性」タブ内で設定した「基本属性名称」の各登録内容に切り替わります。

③は、プロジェクト設定用またはページ設定用で、使用する属性を設定します。

属性

基本属性 プロジェクト設定

基本属性 花丸電機 ①

属性名称

追加 削除 登録

基本属性 ②

プロジェクト設定 ③

基本属性	PAGE【基本】	PROJECT【基本】
プロジェクト種別	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
設計日	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
設計者	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
製図日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
製図者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
検図日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
検図者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正日1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正者1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正内容1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正日2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正者2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正内容2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正日3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正者3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正内容3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正日4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正者4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正内容4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正日5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正者5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正内容5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ユーザ定義01	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ユーザ定義02	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ユーザ定義03	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ユーザ定義04	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ユーザ定義05	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ユーザ定義06	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

閉じる

既存プロジェクトから設定をコピー

属性

基本属性 花丸電機

属性情報 基本

属性	属性値
プロジェクト種別	勉強会
設計日1	2021.07.01
設計者1	SMX
製図日	2021.07.02
製図者	基本の製図者
コメント	基本のコメント1
コメント2	基本のコメント2

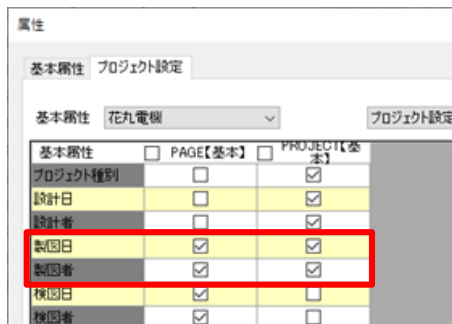
属性

属性	属性値
プロジェクト種別	勉強会
設計日1	2021.07.01
設計者1	SMX
製図日	2021.07.02
製図者	基本の製図者
コメント	基本のコメント1
コメント2	基本のコメント2

「①花丸電機」の設定で、プロジェクト設定時に使用可能な属性は、上図の赤枠内の属性となります。

(右図) 実際のプロジェクト設定画面

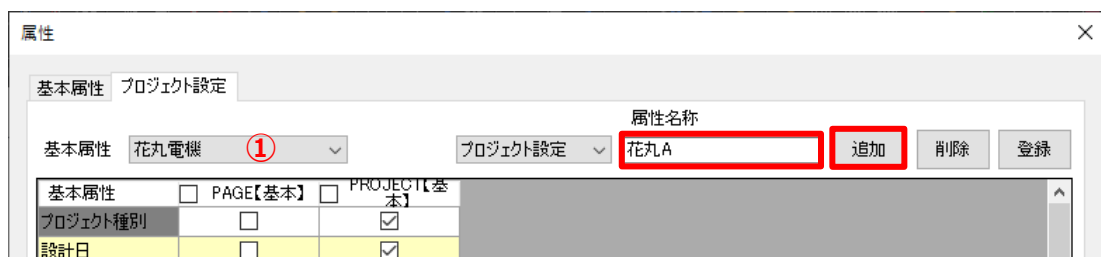
ページ設定時に使用可能な属性は、左下図の赤枠内の属性となります。
 (右下図) 実際のページ設定画面



サンプルの「花丸電機」の場合は、「プロジェクト設定」と「ページ設定」で、「製図日」「製図者」を共通で使用することができます。

登録している基本属性に「プロジェクト設定」または「ページ設定」を追加して、種類を増やす場合は、①の「基本属性」で「花丸電機」を選択しておき、属性名称に追加する名称を記入します。

プロジェクト設定 (またはページ設定) を選択後、[追加] ボタンを押します。



追加したプロジェクト設定、またはページ設定が追加されます。

属性

基本属性 プロジェクト設定

基本属性 花丸電機

属性名称 花丸A

追加 削除 登録

基本属性	<input type="checkbox"/> PAGE【基本】	<input type="checkbox"/> PROJECT【基本】	<input type="checkbox"/> PROJECT【花丸A】
プロジェクト種別	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設計日	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設計者	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
製図日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
製図者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
検図日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
検図者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

必要な属性にチェックし、「登録」ボタンを押して、終了します。

属性

基本属性 プロジェクト設定

基本属性 花丸電機

属性名称 花丸A

追加 削除 登録

基本属性	<input type="checkbox"/> PAGE【基本】	<input type="checkbox"/> PROJECT【基本】	<input type="checkbox"/> PROJECT【花丸A】
プロジェクト種別	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
設計日	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
設計者	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
製図日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
製図者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
検図日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
検図者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
修正日1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
修正者1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
修正内容1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
修正日2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
修正者2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
修正内容2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
修正日3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

登録後、プロジェクトマネージャ内のプロジェクト設定画面で追加されたリストが選択できるようになり、該当の基本属性内で使い分けが可能になります。

属性

基本属性 花丸電機

属性情報

基本

花丸A

プロジェクト種別	勉強会
設計日	2021.07.01
設計者	SMX
製図日	2021.07.02
製図者	基本の製図者
ユーザ定義01	基本のコメント1
ユーザ定義02	基本のコメント2

属性

基本属性 花丸電機

属性情報 花丸A

属性	属性値
プロジェクト種別	勉強会
設計日	2021.07.01
設計者	SMX
修正日1	
修正者1	
修正内容1	
修正日2	
修正者2	
修正内容2	

「ページ設定」も同様に、ページ設定画面で追加されたリストが選択できるようになり、該当の基本属性内で使い分けが可能になります。

基本属性を新規登録した場合、初期状態ではプロジェクト/ページの属性設定が登録されません。

追加した基本属性名称に対して、「プロジェクト設定」「ページ設定」の属性名称を決め、それぞれを「追加」ボタンから登録してください。

基本属性名称に対して、属性名を新規で登録している場合は、その属性も使用可能になります。

(※属性名の新規登録については、[8-1.②「属性」ダイアログ内の「基本属性」タブ→「カレント図枠の属性情報」](#)をご参照ください。)



「プロジェクト設定」「ページ設定」の用途に応じて「属性名称」欄を記入し、「追加」ボタンを押します。

The screenshot shows the '属性' (Properties) dialog box with the following details:

- Tab: 基本属性 (Basic Properties)
- Sub-tab: プロジェクト設定 (Project Settings)
- 基本属性 (Basic Property): 社名-A (Company Name-A)
- ページ設定 (Page Setting): 基本 (Basic)
- 属性名称 (Property Name): 基本 (Basic)
- Buttons: 追加 (Add), 削除 (Delete), 登録 (Register)
- Table columns: 基本属性 (Basic Property), PROJECT【基本】 (PROJECT [Basic]), PAGE【基本】 (PAGE [Basic])
- Table rows (partially visible):
 - プロジェクト種別 (Project Type)
 - 設計日 (Design Date)
 - 設計者 (Designer)
 - 製図日 (Drawing Date)
 - 製図者 (Drawer)
 - 検図日 (Check Date)
 - 検図者 (Checker)
 - 竣工日 (Completion Date)
 - 竣工者 (Completer)
 - ユーザ定義24 (User Defined 24)
 - ユーザ定義25 (User Defined 25)
 - IJCAD用名称1 (IJCAD User Name 1)
 - IJCAD用名称2 (IJCAD User Name 2)

追加した「プロジェクト設定」「ページ設定」で実際に必要となる属性にチェックを入れて「登録」ボタンを押し、終了してください。

この設定が完了した後、使用する図面枠で「IJEConfig」タブ→「作成」→「図枠」を実行し、さらに「表題欄」から、必要な属性を配置してください。

9. ワイヤー種別

IJCAD Electrical では盤内配線の配線情報（線種、被覆色、線径）を線番の属性として入力します。

各ワイヤー種別は予め名称をつけ、被覆色(線色)、線種、線の太さ(線径)をグループ化しておくことができます。

被覆色(線色)、線種、線の太さ(線径)を指定する事で帳票内に情報を表示できます。

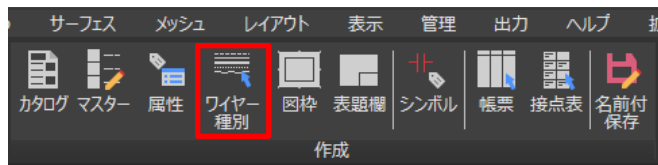
ここで設定された内容が線番やワイヤー種別編集など関連のコマンドで、利用することができます。

名称	被覆色	線種	線の太さ	説明
1 4	BLK	EE	2.5	
2 Wire001	BLK	A	0.5	Wire001の説明
3 Wire01	BLK	A	0.5	
4 Wire02	RED	B	0.1	
5 Wire2	RED	B	0.1	
6 Wire3	GRN	C	2.5	
7 Wire04	BLK	EE	2.5	
8 Wire4	RED	B	10	
9 Wire010	YEL	ZZ	5.0	
10 Wire11	YEL	ZZ	5.0	
11 Wire22	GRY	YY	0.1	
12 Wire33	BLU	XX	0.05	
13				

削除 登録 開じる

既定の保存先は以下になります。更新作業前に必ずバックアップを作成してください。
 C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥IJE_Master.sqlite3

① 「IJEConfig」タブ→「作成」→「ワイヤー種別」を選択します

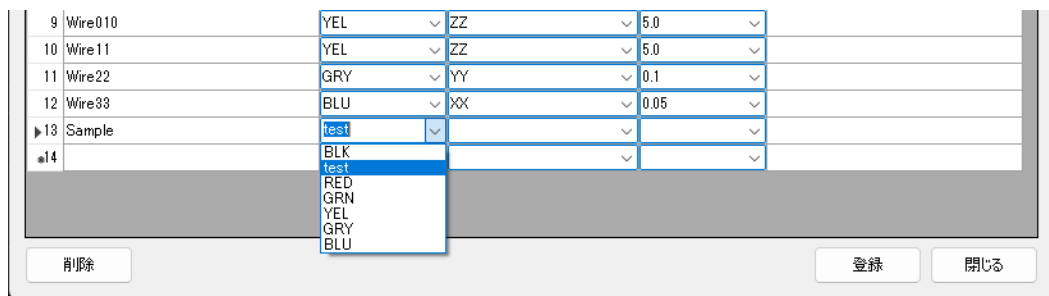


「ワイヤー種別」ダイアログが表示されます。

② 「名称」を決めて各情報を設定します。

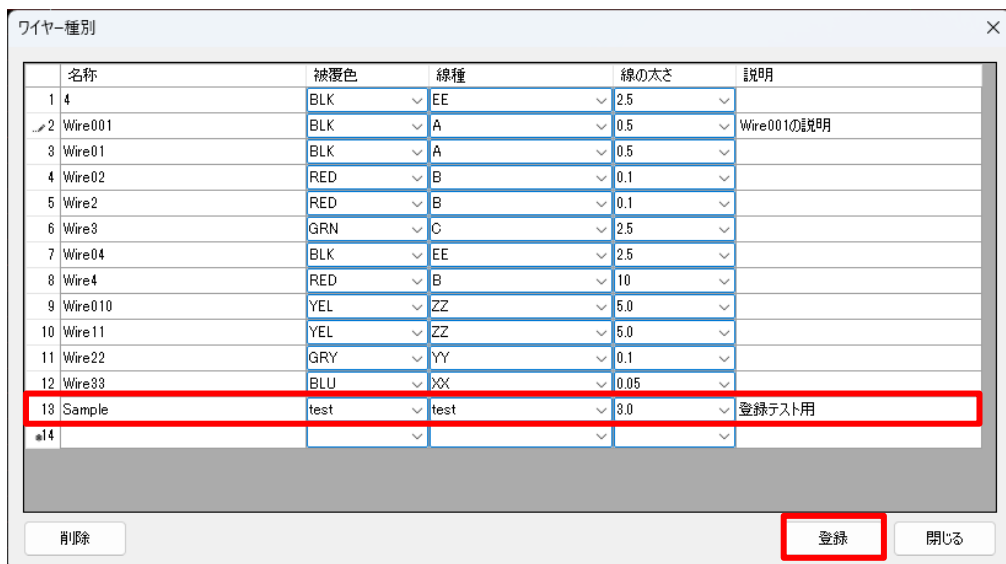
一番下の空白行の「名称」項目に「ワイヤー種別」で、選択する名称を入力し、「被覆色」等を設定、記入します。リストから選択するか、リストにない場合は、情報をキー入力します。登録以降でリストから選択可能になります。

登録内容を編集する場合は、対象行の内容を編集してください。



③ 「登録」ボタンをクリックします

情報が整ったら「登録」ボタンをクリックして登録します。



マスターデータベースに登録されます。

④ 登録名称を「削除」します

登録名称で、不要になった場合は、対象行のどれかの項目を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

⑤ 確認画面の表示

削除の確認画面が表示されるので、「OK」を選択します。

マスターデータベースから削除されます。

既定の保存先は以下になります。更新作業前に必ずバックアップを作成してください。

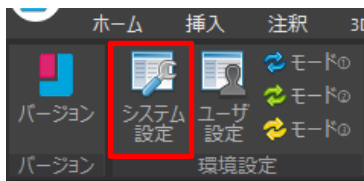
C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥IJE_Master.sqlite3

10. システム設定 マスタデータ登録先（シンボル、DB、パターン等）

IJCAD Electrical でプロジェクトやページの管理上必要なデータベース、シンボル、図枠、パターンボックスなどの登録先について、本項で解説します。

各機能の詳細については、「IJCAD_Electrical_基本マニュアル」をご参照ください。

① IJCAD Electrical のシステム設定から設定できる登録先



「IJEConfig」タブ→「環境設定」→「システム設定」の「パス設定」タブから、各機能で使用されるマスタデータ登録先の確認、変更が可能です。



- マスターデータベース (IJE_Master.sqlite3)
- カタログデータベース (IJE_Catalog.sqlite3)
- スペックホルダ (IJE_SpecHolder.sqlite3)

上記は、IJCAD Electrical の機能を使用するためには必ず必要なデータベースファイルです。

絶対に削除しないでください。（削除された場合、IJCAD Electrical の再インストールが必要となり、登録された内容が全て初期化されます。）

各マスタデータを編集する際は、更新作業前に必ずバックアップを作成してください。また、PC のトラブルに備え、定期的なバックアップを取ることをお奨めいたします。

② その他の登録先

1. カタログ
⇒C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥IJE_Catalog.sqlite3
2. マスター/属性/ワイヤー種別
⇒C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥IJE_Master.sqlite3
3. パターンボックス/スペックホルダ
⇒C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical¥IJE_SpecHolder.sqlite3
4. 各帳票で表示されるデータ内容
⇒C:¥Users¥(PC ユーザ名)¥AppData¥Roaming¥IJCAD Electrical¥ReportColumnSettings.xml

※ReportColumnSettings.xml はデフォルト時には存在していません。
帳票マスタデータの属性を挿入した際に自動作成されます。
5. プロファイル（「システム設定」で使用している既定値の保存先とファイル名）
⇒C:¥Users¥(PC ユーザ名)¥AppData¥Roaming¥IJCAD Electrical¥Profile¥System.Profile

これらのファイルを使用する各機能からデータを編集する際にも、更新作業前に必ずバックアップを作成してください。

また、PC のトラブルに備え、定期的なバックアップを取ることをお奨めいたします。

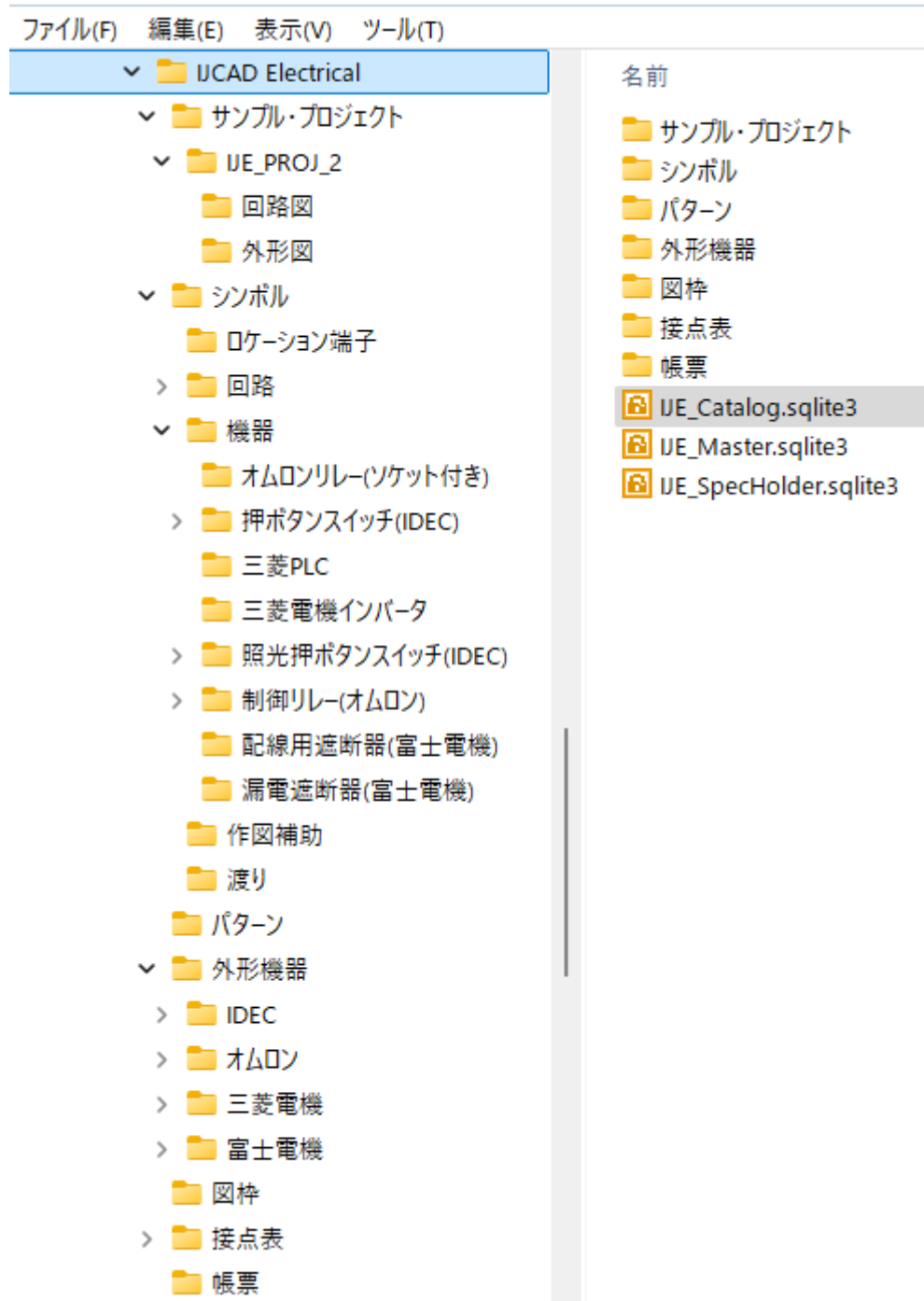
③ IJCAD Electrical 用サンプルのインストール先の階層構造

シンボル、図枠、パターンボックスなどのインストール先フォルダ構成

- C:¥Users¥Public¥Documents¥IJCAD Electrical : データベース等保存先
 - ¥サンプル・プロジェクト : プロジェクトマネージャに表示のサンプル用のプロジェクト
 - ¥シンボル : IJCAD Electrical 用サンプル用シンボル保存先
 - ¥パターン : IJCAD Electrical 用パターン登録用の既定値フォルダ
 - ¥外形機器 : IJCAD Electrical 用 Web サイトからダウンロードした場合の外形機器用の保存先で、インポート用カタログ内の設定パス指定先

- ¥図枠：IJCAD Electrical 用図枠保存先
- ¥接点表：IJCAD Electrical 用接点表保存先
- ¥帳票：IJCAD Electrical 用帳票フォーム用保存先

以下、ツリー構成イメージ



11. IJCAD Electrical 用システム使用テンプレート

IJCAD Electrical 内において、システム上で使用しているテンプレートファイルは以下となります。

① 線番、交点などの IJCAD Electrical 用のテンプレート用シンボル保存先

C:\¥Program Files¥ITJP¥IJCAD Electrical <バージョン-グレード> ¥Template¥DWG

- ケーブル定義 用の配線情報用 : Cable.dwg (※編集不可) (PRO 製品で、帳票出力> ケーブルリストでも使用)
- 整合性チェックの引き出し線 : CheckResultLeader.dwg (※編集不可) (PRO 製品機能)
- 交点 (接続点) : CircleNode.dwg
- 配線作図時の接続用マーク : ConnectionPoint.dwg (※編集不可)
- 接点表のデフォルト用 : DefaultContactTable.dwg
- 線番-横配線上用 : LineNumber_0.dwg
- 線番-縦配線-配線の左用 : LineNumber_90.dwg
- 線番-縦配線-配線の右用 : LineNumber_270.dwg
- 複線-配線選択時のスタート位置 : LineSelectionPoint.dwg (※編集不可)
- プロジェクトマネージャ-新規ページ作成用 : Template.dwg

線番シンボルなどを自社用に編集される場合は、バックアップを行ったうえで、任意に編集して上書きします。ただし、ファイル名を変更したり、該当フォルダからファイルを削除してしまうとプログラムが機能しなくなりますので、ご注意ください。

線番シンボルの使用文字スタイルについて
属性の文字スタイル名は「WRENO」(名前の変更不可)です。

線番の文字フォントを変更されたい場合は、このスタイル内のフォントを変更され、テンプレート用の「Template.dwg」「gcadiso.dwt」も同様にスタイル名とフォントの設定をお奨めいたします。

C:\¥Program Files¥ITJP フォルダは、通常は読み取り専用フォルダです。
編集時は一旦デスクトップなどへコピーしてからファイルを編集し、完了したファイルを管理者権限で貼り付けてください。エラーメッセージが表示される場合は、管理者様に貼付けをご依頼頂くか、管理者として貼り付けを実行してください。

補足：IJCAD の「新規作成」コマンドで使用しているテンプレート（dwt）の保存先



- ・クイックアクセスツールバー内の「新規作成」
- ・IJCAD アイコンをクリックして表示されるプルダウンメニュー内の「新規作成」
- ・「NEW」コマンド

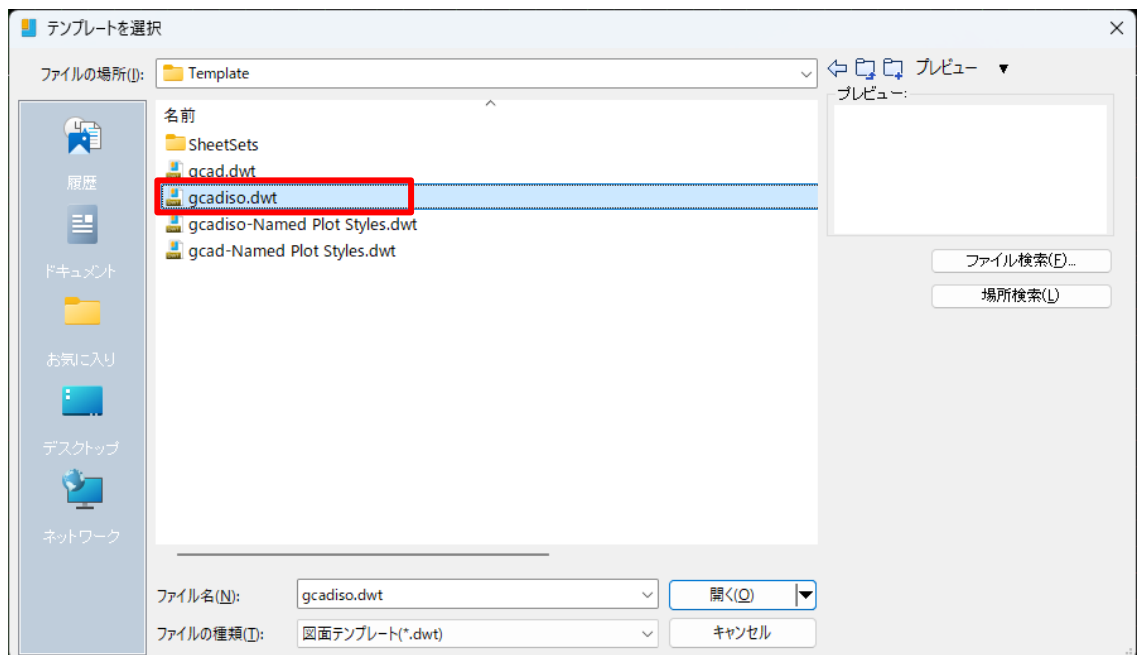
これらの操作から新規図面を作成する場合、テンプレートファイル保存先のフォルダが開かれます。

以下のフォルダが、IJCAD 用のテンプレートファイル保存先（隠しフォルダ）の既定値となります。

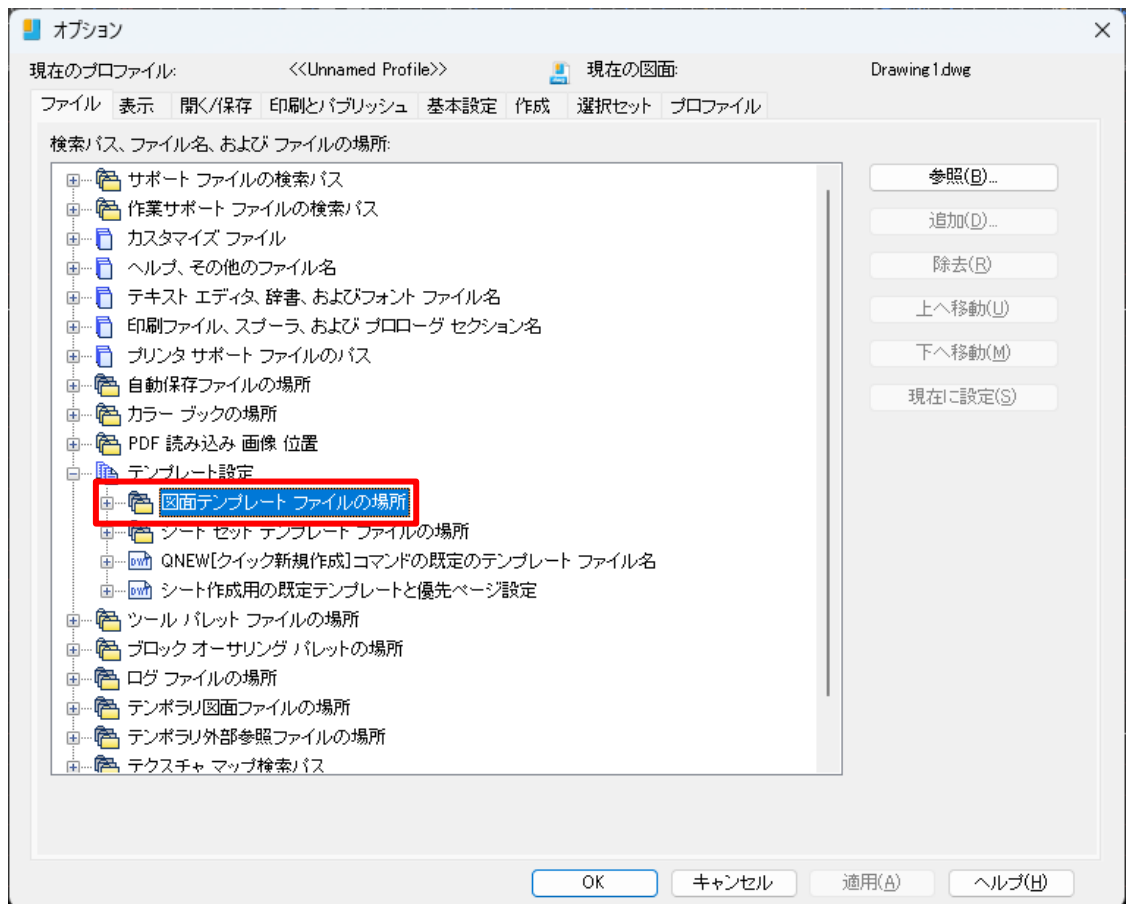
C:\Users\% (PC ユーザ名) \AppData\Local\IntelliJapan\IJCAD Electrical <グレード> (LT 又は PRO) \<バージョン> \ja-JP\template\

IJCAD Electrical 起動直後の「Drawing1 (.dwg)」は、この中の「gcadiso.dwt」をテンプレートファイルとして使用します。

マスタデータ作成用の新規図面にテンプレートファイルに使用することにより、独自のスタイル設定などを流用することが可能です。



この設定は、IJCAD のオプションコマンド内でもご確認頂けます。



①での IJCAD Electrical 起動時の「Drawing1.dwg」で使用している「Template.dwg」と内容を合わせておくと、同じ設定のテンプレートとしてもご使用頂くことが可能になります。

12. IJCAD Electrical 用メニューと保存先

IJCAD Electrical 内において、使用している IJCAD Electrical 用のメニューのファイル名、保存先は以下となります。

① メニュー名 : IJEMenu.cuix

メニュー名は、以下となります。

- IJEMenu.cuix (編集不可)

② メニューファイル保存先 :

保存先は以下で、このフォルダは、読み取り専用となっております。

- C:\Program Files\ITJP\IJCAD Electrical バージョン名 LT (又は PRO) Subscription

③ メニューイメージ :

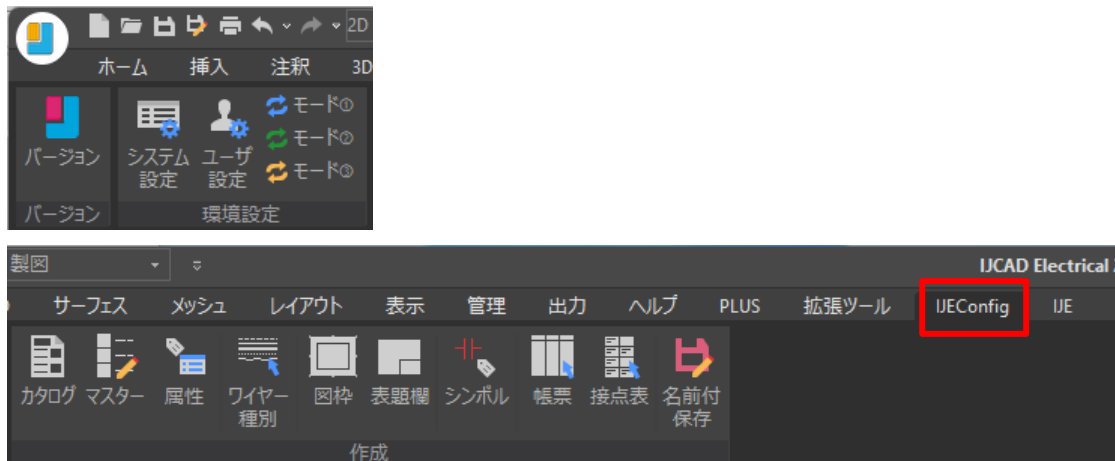
タブは、2種類あり、以下は「IJE」タブになります。

(各パネルの最長表示を区切って配置しています。ディスプレイサイズにより、アイコンのみになる場合もあります。)

- 「IJE」タブ



■ 「IJEConfig」 タブ



④ メニューロードの手順：

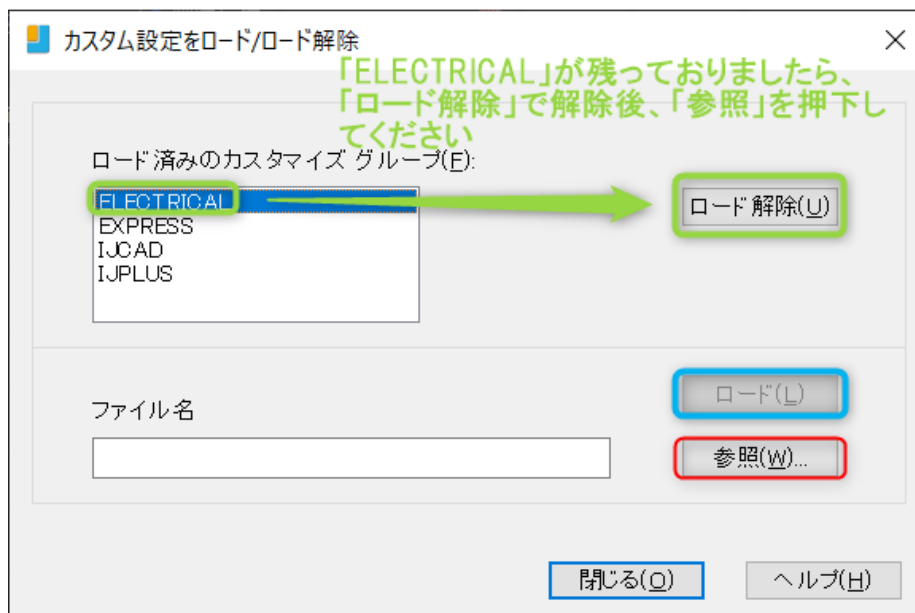
コマンドラインから、以下のコマンドをキーボード入力してください。

■ CUILOAD

CUILOAD コマンドを実行し、以下の赤枠「参照」ボタンより、以下のパスを指定し、その後青枠の「ロード」ボタンよりロードをお願いいたします。

※画像内にも記載いたしましたが、「ELECTRICAL」が表示されているにもかかわらず IJE Config や IJE タブが表示されていない場合は、一度「ロード解除」にて解除した状態でお試してください。

C:\Program Files\ITJP\IJCAD Electrical バージョン名 LT (又は PRO) Subscription Subscription\IJEMenu.cuix



⑤ 注意事項：**IJCAD Electrical 用の IJE Config や IJE タブが表示されていない場合**

IJCAD Electrical 起動時にリボンのメニュータブが表示されていない場合、以下のことが考えられます。

よくある事例として、IJCAD Electrical 初回起動時に、デスクトップアイコンやスタートメニューから起動すると、リボンメニュータブが表示されない現象が起こる場合があります。

初回起動時には必ず、**デスクトップアイコンを右クリックし「管理者として実行」**から IJCAD Electrical を起動してください。

詳しくは以下のリンクより詳細をご確認いただけます。リンクが開かない場合は、お使いのブラウザにて以下の URL から直接ページを開きご確認ください。

また、上記④の操作を試しても解決されない場合は、お手数ですが弊社 [ヘルプセンター](#) までお問い合わせください。

■管理者として実行

<お問い合わせ前にご確認ください>

初回起動時「管理者として実行」は行っていますでしょうか。「管理者として実行」を行っていない場合は、以下の記事を参考に起動をお試しください。

参考：[IJCAD 起動に関する注意点：「管理者として実行」](#)

<https://support.ijcad.jp/hc/ja/articles/360000226242?source=search>